# FULLBACK Manager Pro

## for Network

FMP-03 Release 1.04

ユーザーズマニュアル

サンケン電気株式会社

**‼ご注意‼**

(1) 本ソフトウェアおよび本書の一部または全部を弊社に無断で転載する事は禁止されています。

(2) 本ソフトウェアの仕様および本書に記載されている事柄は、将来予告なしに変更する事がありますのでご了承ください。

(3) 本製品の内容につきましては万全を期していますが、ご不審の点や誤り、本書の記載漏れなど、お気付きの点がございましたら、弊社までご連絡ください。

(4) 本製品を使用した事によりシステムや機器に万一トラブルや故障が発生しても弊社は原因の如何に関わらず一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

## 登録商標について

- Windows ロゴは、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- その他すべての商標、製品名、および社名はそれぞれの会社の所有物であり、ここでは情報のみの目的で使用させて頂いております。

# ソフトウェア使用許諾契約書

本契約はサンケン電気株式会社（以下「サンケン」という）が提供するソフトウェア、ソフトウェアに付随するマニュアルおよび関連資料等（以下「本件ソフトウェア」という）に関し、お客様（以下「使用者」という）に対する使用許諾についての条件を定めるものです。サンケンのホームページ上でダウンロードする場合は下記の「同意する」ボタンをクリックすることで、DVD－ROM の形態で提供した場合にには本件ソフトウェアのプログラムをインストールすることで、使用者は本契約の条件に合意したものとします。なお、一般の個人消費者の方による本件ソフトウェアの使用は予定されておりませんので、本件ソフトウェアの利用はご遠慮下さい。

第１条(サンケンの権利)

A. 本件ソフトウェアに関し、日本国内外の著作権その他の知的財産権に関する法令および条約等諸規則により保護される一切の権利はサンケンが保有しています。

B. サンケンは、時期を問わず独自の判断でかつ使用者に対する事前の通知なしに本件ソフトウェアに含まれるプログラムのバージョンアップその他本件ソフトウェアの仕様、内容または記載の変更、修正または改訂等を行うことがありますが、本条A項に定める権利は、かかる変更後の本件ソフトウェアについても及ぶものとします。

第２条(使用許諾)

A. サンケンは、本契約に定める条件の下に、使用者に対し本件ソフトウェアの非独占的な使用権を許諾するものとします。

B. 使用者は、本契約に基づき、特定の 1 台のサンケン製無停電電源装置に電気的に接続されているコンピュータ端末上で本件ソフトウェアに含まれるプログラムを使用することができるものとします。なお、本件ソフトウェアの入手または購入時にサンケンがライセンス数を指定した場合には、その許諾したライセンス数の範囲内で使用することができるものとします。

C. 使用者は、本件ソフトウェアの一部でも有償無償を問わず、また期間の長短を問わず、いかなる第三者にも配布、貸与または譲渡することはできません。本条 A 項に定める使用権は、第三者に使用権を再許諾する権利を含むものではありません。

D. 使用者は、本件ソフトウェアの一部でも複製することはできません。但し、使用者は、自己の使用を目的としたバックアップ用に限り本件ソフトウェアに含まれるプログラムの複製物を1部作成する事ができます。また当該複製物についても本契約が適用されます。

E. 使用者は、本件ソフトウェアに関わる全ての著作権、商標権その他の知的財産権および所有権等の表示ならびに本件ソフトウェアに含まれるプログラム内の使用目的などの表示を除去または改変することはできません。

F. 使用者は本件ソフトウェアに含まれるプログラムの修正、翻案、リバースエンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブルを行うことはできません。

第３条(保証)

A. サンケンは、本件ソフトウェアおよびこれに含まれるプログラムの動作、性能または特定目的への適合性、使用結果についての的確性または信頼性、第三者の権利侵害および瑕疵の不存在につき、明示か黙示かを問わず何らの保証もいたしません。

B. サンケンは、本件ソフトウェアに関する如何なる瑕疵、その使用に起因するデータの喪失もしくは欠陥、第三者の権利侵害またはこれらにより生じた損害(利益の逸失を含む)について、原因の如何を問わず、また直接的か間接的かを問わず、何らの責任も負うものではありません。
C. 前Ｂ項にかかわらずサンケンが賠償責任を負う場合においても、サンケンは本件ソフトウェアに支払われた対価（無償で提供された場合はサンケンの想定販売価格）を越える賠償責任を負うものではありません。

第４条(譲渡の禁止)
　使用者は、サンケンの書面による同意のある場合を除き、本契約に基づく権利義務を第三者に譲渡し、または使用者の本契約上の地位を第三者に移転する事はできません。

第５条(解除)
A. サンケンは使用者が本契約に違反した場合、または解除する合理的な理由があるとサンケンが判断した場合は何らの通知を行うことなく直ちに本契約を解除し、本件ソフトウェアの使用を終了させる事ができるものとします。使用者は、理由の如何を問わず、本契約の終了についてサンケンに対しいかなる名目でも金銭の支払を請求することはできないものとします。
B. 使用者は本契約が解除された場合は本件ソフトウェアに含まれるプログラムをアンインストールの上、その複製物がある場合はそれと共に廃棄するものとします。

第６条(輸出等)
　使用者が本件ソフトウェアを日本国外へ持ち出す場合は、日本国および関係する諸外国の輸出管理法令を遵守するものとします。

第７条(準拠法)
　本契約に係る準拠法は日本法とし、本契約に関連してサンケンと使用者間で紛争が生じた場合には、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

# 目　次

# 1. はじめに

## 1.1. はじめに

この度は UPS 管理ソフト「FULLBACK Manager Pro for Network」（製品形式：FMP-03）をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本製品は、UPS に装着したインターフェースボードと組み合わせて使用する電源管理ソフトウェアです。
本製品は、インターフェースボード と連携してコンピュータの停止（シャットダウン）を行います。
これにより、停電発生時のコンピュータ自動停止やコンピュータのスケジュール運用が可能となります。
また、UPS の状態監視機能により UPS のメンテナンスを容易にします。
本製品の機能を充分にご理解のうえ、電源障害対策のツールとしてご利用ください。

## 1.2. マニュアルの表記法

**注意！** 設定内容や選択内容、および操作をおこなう上で、設定を間違えた場合動作が不定になるような場所に表されています。

Point 設定内容や選択内容、および操作をおこなう事で便利に利用できる事などの説明場所に表されています。

Check 内容を確認していただく場所に表されています。

## 1.3. パッケージの内容

・インストールマニュアル　1 冊
・インストールメディア（DVD-ROM）　1 枚
・ライセンス証書　1 枚

## 1.4. 使用条件

| | |
|---|---|
| CPU | x86 あるいは x64 プロセッサ相当の CPU を搭載した PC/AT 互換機<br>(1.4GHz 以上を推奨) |
| メモリ | 2.0GB 以上推奨 |
| ハードディスク | 1.0GB 以上の空き容量(ログファイルサイズの設定により異なります。) |
| モニタ | 1024×768 以上 |
| 対応 OS | インストールマニュアルまたは以下の URL を参照してください。<br>http://www.sanken-ele.co.jp/prod/powersp/ups/support/os.htm |
| 対応インターフェースボード | FNA-03/13/23/03S/13S/03SV/13SV |
| 推奨ブラウザ | Internet Explorer 8.0 以降 |
| OS からの要件 | 各 OS が要求するシステム要件以上であること |

**使用環境条件**

| 項目 |
|---|
| コンピュータに固有の IP アドレスが割り当てられていること |
| ネットワークの環境であること |
| 下記表のネットワークポートが使用できること |

**使用するネットワークポート**

| FMP-03 をインストールしたコンピュータで使用するポート番号 | 通信相手 | 相手先のポート番号 | 用途 |
|---|---|---|---|
| UDP　9003～9009<br>UDP　9018～9023<br>UDP　9027～9031 | インターフェースボード | UDP　161 | UPS 管理通信 |
| UDP　162(デフォルト) | | UDP　ANY | |
| UDP　9100～9105 | | UDP　7050 | |
| TCP　18080(デフォルト) | ブラウザ端末 | TCP　ANY | WEB アクセス(HTTP) |
| TCP　18443(デフォルト) | | | WEB アクセス(HTTPS) |
| TCP　ANY | メールサーバ | TCP　25 | 平文メール |
| | | TCP　467 | SSL/TLS メール |
| | | TCP　587 | StartTLSメール |
| TCP　7401～7405 | SSH サーバ | TCP　22 | SSH シャットダウン |
| UDP　7050～7051 | － | － | UPS 管理通信 |
| TCP　18005 | | | |
| TCP　ANY(ループバック通信) | | | |

**インターフェースボードに登録できる FMP-03 の台数**

| インターフェースボードへの登録方法 | FMP-03 最大登録台数 |
|---|---|
| シャットダウンソフトとして登録 | 20 台 |
| SNMP マネージャとして登録 | 5 台 |

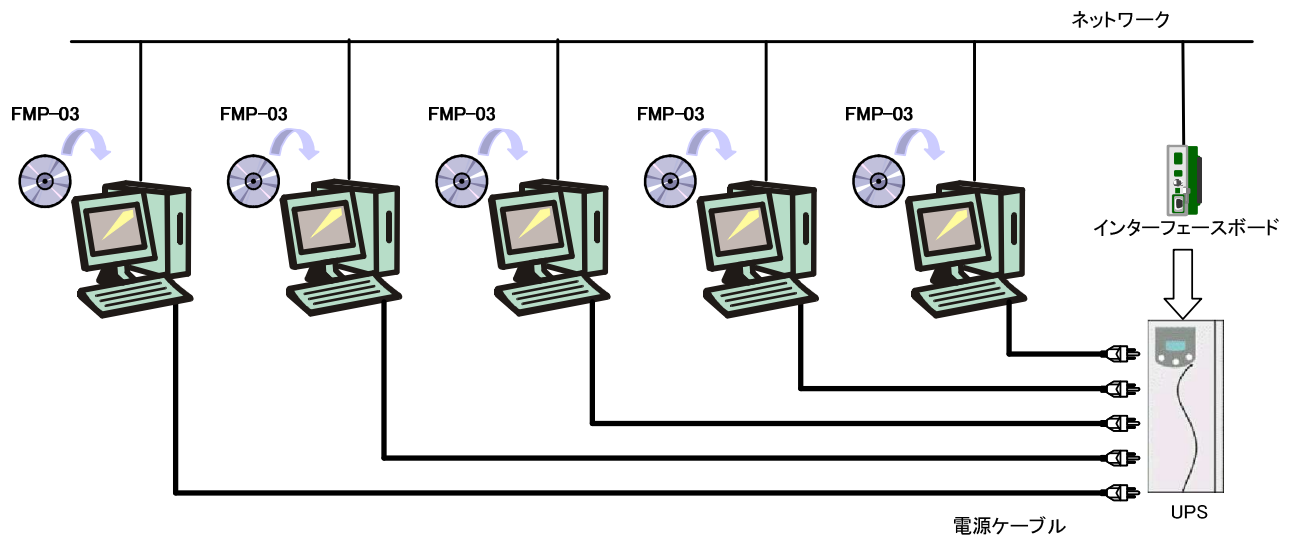
インストール、アンインストール、アップグレードは管理者権限でおこなってください。

本製品では、日本語共通基盤を推進する独立行政法人　情報処理推進機構の IPA フォントを「IPA ライセンス V1．0」第3条（制限事項）の条件に従って再配布しています。

本製品では、以下のソフトウェアの使用条件に従って
著作権法表示と免責事項表示を保持しています。
Apache License、Mozilla Public License、Eclipse Public License

ブラウザに FireFox などを使用したときに、Web 画面の表示が崩れる場合があります。

# 2. 基本構成

本製品は、インターフェースボードと組み合わせて使用する電源管理ソフトです。
インターフェースボードに登録できる台数までのコンピュータをシャットダウンすることができます。

# 3. インストールの手順

FMP-03 のインストール手順を説明します。
インターフェースボードのタイプに応じて、以下の手順で行ってください。
インターフェースボードタイプの確認は「3.3.インターフェースボードタイプの確認方法」を参照してください。

## 3.1. FNA-03S/13S/03SV/13SV を使用する場合

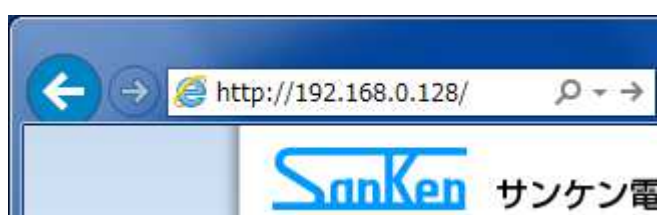
「4.FMP-03 のインストール(FNA-03S/13S/03SV/13SV)」を参照してください。

## 3.2. FNA-03/13/23 を使用する場合

「5.FMP-03 のインストール(FNA-03/13/23)」を参照してください。

## 3.3. インターフェースボードタイプの確認方法

インターフェースボードタイプ（FNA-03/13/23/03S/13S/03SV/13SV）が分からない場合の確認方法です。
Web ブラウザからインターフェースボードにアクセスして確認します。

①アドレスバーにインターフェースボードの IP アドレスを入力します。
例）http://192.168.0.128

インターフェースボードに設定された IP アドレスにアクセスできる
Web ブラウザを持つマシンであればネットワーク上に存在する既存の
マシンを使用して設定が行なえます。

インターフェースボードの詳細設定については、インターフェースボード
の取扱説明書を参照してください。

②Web ブラウザでインターフェースボードに接続すると、ユーザ名とパスワードの入力画面が表示されます。インターフェースボードに設定されているユーザ名とパスワードを入力してください。

注意！

プロキシサーバを使用していると接続できない場合が有ります。
この場合は管理者の指示に従って、Web ブラウザの設定を変更してください。

③タイトル部分で確認できます。

| インターフェースボード | タイトル |
|---|---|
| FNA-03/13/23 | FULLBACK NetAgent III |
| FNA-03S/13S | FULLBACK NetAgent III　S |
| FNA-03SV/13SV | FULLBACK NetAgent III　SV |

・FNA-03/13/23

・FNA-03S/13S

・FNA-03SV/13SV

# 4. FMP-03 のインストール(FNA-03S/13S/03SV/13SV)

インストール手順は以下の順のとおりです。

①「4.1. コンピュータと UPS(インターフェースボード)の接続」

②「4.2. FMP-03 インストール」

Windows OS の場合：

「4.2.1. Windows OS」

Linux/AIX OS および VMware ESX の場合：

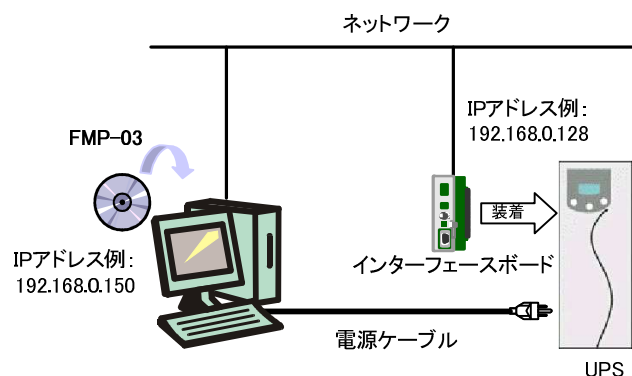
「4.2.2. Linux/AIX OS および VMware ESX」

VMware ESXi の場合：

「4.2.3. VMware ESXi」

③「4.3. FNA-03S/13S/03SV/13SV の設定」

## 4.1. コンピュータと UPS(インターフェースボード)の接続

コンピュータと UPS(インターフェースボード)を以下のように接続します。

## 4.2. FMP-03 インストール

FMP-03 のインストール手順について説明します。

### 4.2.1. Windows OS

①FMP-03 の DVD-ROM をドライブにセットします。

②FMP-03 のセットアッププログラムを起動します。
ご使用の OS に合わせて、下記に指定されたフォルダのセットアッププログラムを起動してください。

| ディレクトリ | ファイル名 | 説明 |
|---|---|---|
| Win32 | setup.exe | Windows 32bit OS 用インストールプログラム |
| Win64 | setup.exe | Windows 64bit OS 用インストールプログラム |

③画面で[日本語]が選択されたままで、[OK]ボタンを左クリックします。

④画面のメッセージを確認し、[次へ(N)]ボタンを左クリックします。

⑤ユーザ名および会社名を入力する画面が表示されます。ユーザ名と会社名を入力して[次へ(N)]ボタンを左クリックします。

⑥インストール先を選択する画面が表示されます。インストール先を変更しない場合は、[次へ(N)]ボタンを左クリックします。インストール先を変更する場合は、[参照(R)]ボタンを左クリックし、フォルダを指定してください。

**注意！**

インストール先のドライブは必ずローカルディスクを指定してください。

⑦インストールするマシンの IP アドレスの入力画面が表示されます。IP アドレスは自動取得されますので、[次へ(N)]ボタンを左クリックします。IP アドレスが自動取得されない場合、IP アドレスを変更する場合は再入力をして[次へ(N)]ボタンを左クリックします。

⑧Web アクセス方法を選択してください。
デフォルトでHTTPSが選択されているので変更がない場合は[次へ(N)]ボタンを左クリックします。
変更したい場合は「HTTP/HTTPS」を選択して[次へ(N)]ボタンを左クリックします。

（1）HTTPS を選択した場合

デフォルトのHTTPSポート番号「18443」で変更がない場合は[次へ(N)]ボタンを左クリックします。

変更したい場合はポート番号を再入力して[次へ(N)]ボタンを左クリックします。

（2）HTTP/HTTPS を選択した場合

デフォルトのHTTPポート番号「18080」、HTTPSポート番号「18443」で変更がない場合は[次へ(N)]ボタンを左クリックします。

変更したい場合はポート番号を再入力して[次へ(N)]ボタンを左クリックします。

⑨接続先UPSのタイプを設定してください。

デフォルトは「FNA−03S/13S」の設定です。[次へ(N)]ボタンを左クリックします。

**注意！**

接続先 UPS のタイプが分からない場合は「今は選択しない」を選択してインストール後に Web 画面から選択してください。

⑩接続先 UPS（インターフェースボード）の IPv4アドレスを入力してください。

⑪SNMP v3 のユーザ名の設定を行ってください。
ユーザ名は「username」に設定して[次へ(N)]ボタンを左クリックしてください。

⑫SNMP v3 の認証アルゴリズムの選択を行ってください。
認証アルゴリズムは「SHA」を選択して[次へ(N)]ボタンを左クリックします。

⑬SNMP v3 の認証パスワードの設定を行ってください。

認証パスワードは「authpassword」に設定して[次へ(N)]ボタンを左クリックします。

⑭SNMP v3 の暗号化アルゴリズムの選択を行ってください。

推奨の暗号化アルゴリズム「AES」を選択して[次へ(N)]ボタンを左クリックします。

⑮SNMP v3 の暗号化パスワードの設定を行ってください。

暗号化パスワードは「privpassword」に設定して、[次へ(N)]ボタンを左クリックしてください。

⑯インストールの終了画面が表示されます。[完了]ボタンを左クリックします。
FMP-03 を今すぐ起動しない場合は、「FULLBACK Manager Pro for Network を実行する」のチェックを外し、[完了]ボタンを左クリックします。

以上でインストールは完了です。

## 4.2.2. Linux/AIX OS および VMware ESX

①FMP-03 の DVD-ROM をドライブにマウントします。

②インストールスクリプトを起動します。

root権限で次の操作をおこなってください。

# cd　ドライブマウントポイント　マウントポイントに移動します。

# ./install.sh　　　　　　　　インストールスクリプトを実行します。

③FULLBACK Manager Pro for Network install start

Install start? (y/n):[y]

FMP-03のインストールを開始します。

Enter キー（Return キー）または「y」を押してください。

④The default install path for this software is /usr/fmpn

Do you want to change the install path? (y/n):[n]

インストール先のpath名を指定します。デフォルトでは[/usr/fmpn]が設定されています。

変更がない場合はEnter キー（Return キー）または「n」を押してください。

変更する場合は「y」を押します。

**注意！**　インストール先のドライブはローカルディスクを指定してください。

⑤Please select language type

(1)Japanese

(2)English

Please enter code number [1]:

使用する言語を選択します。

デフォルトでは「1」が選択されているので、変更がない場合はEnterキー（Returnキー）を押してください。

⑥Please enter the IPv4 Address of the installed machine [192.168.0.153] :

インストールをおこなっているコンピュータのIPアドレスを登録します。

デフォルトでは自動的にIPアドレスを読みだして表示しています。

複数のIPアドレスを持っている場合は1番目のIPアドレスが表示されます。

変更がない場合はEnterキー(Returnキー)を押してください。

変更したい場合はIPアドレスを入力してEnterキー(Returnキー)を押してください。

⑦Please select the access method to Web.
Please select 'HTTP/HTTPS' when it is uncertain.
(1)　HTTPS (Recommendation)
(2)　HTTP/HTTPS
Please enter code number [1] :

Webのアクセスプロトコルを選択します。
デフォルトでは(1)が選択されているので変更がない場合はEnterキー(Returnキー)を押してください。
変更したい場合は「2」を入力してEnterキー(Returnキー)を押してください。
(1)を選んだときは⑧へ、(2)を選んだときは⑨へ移ります。

⑧Please input the HTTPS port number accessed Web [18443] :

HTTPSのポート番号を入力します。
変更がない場合はEnterキー(Returnキー)を押してください。
変更したい場合はポート番号を入力してEnterキー(Returnキー)を押してください。
⑩へ移ります。

⑨Please input the HTTP port number accessed Web [18080] :
Please input the HTTPS port number accessed Web [18443] :

HTTPSとHTTPのポート番号を入力します。
変更がない場合はEnterキー(Returnキー)を押してください。
変更したい場合はポート番号を入力してEnterキー(Returnキー)を押してください。

⑩Please select Type of connection UPS(Interface board).
Please set it later when you select 'It doesn't select it now.'.
(1)　FNA-03/13/23
(2)　FNA-03S/13S
(3)　FNA-03SV/13SV
(4)　It doesn't set it now.
Please enter code number [2] :

UPS(インターフェースボード)を選択します。
デフォルトでは「2」が選択されているので、変更がない場合はEnterキー(Returnキー)を押してください。

---

**注意！**

接続先 UPS のタイプが分からない場合は「(4)　It doesn't set it now.」を選択してインストール後に Web 画面から選択してください。

---

⑪Please enter the IPv4 Address of connection UPS :

UPS（インターフェースボード）のIPアドレスを入力してEnterキー(Returnキー)を押してください。

⑫UserName of SNMP V3 must use the one-byte character of '0'-'9'
and 'A'-'Z' and 'a'-'z' from one by 16 bytes.
Please enter UserName of SNMP V3 [username] :

SNMP v3のユーザ名は「username」を入力してEnterキー(Returnキー)を押してください。

⑬Please select authentication of SNMP V3.

(1) None
(2) MD5
(3) SHA (Recommendation)

Please enter code number [3] :

SNMP v3の認証アルゴリズムは「3」を入力してEnterキー(Returnキー)を押してください。

⑭Authentication Password must use the one-byte character of '0'-'9'
and 'A'-'Z' and 'a'-'z' from eight by 16 bytes.
Please enter Authentication password of SNMP V3 [authpassword] :

SNMP v3の認証パスワードは「authpassword」を入力してEnterキー(Returnキー)を押してください。

⑮Please select encryption of SNMP V3.

(1) None
(2) DES
(3) AES (Recommendation)

Please enter code number [3] :

SNMP v3の暗号化アルゴリズムは「3」を入力してEnterキー(Returnキー)を押してください。

⑯Encryption Password must use the one-byte character of '0'-'9'
and 'A'-'Z' and 'a'-'z' from eight by 16 bytes.
Please enter Encryption Password of SNMP V3 [privpassword] :

SNMP v3の暗号化パスワードは「privpassword」を入力してEnterキー(Returnキー)を押してください。

⑰-----------------------------------------------------------------------------------------------

IPv4 Address of the installed machine : 192.168.0.150
Web access : HTTPS
HTTPS port number : 18443
UPS(Interface board) Type : FNA-03S/13S
IPv4 Address of connection UPS : 192.168.0.128
UserName of SNMP V3 : username
Authentication of SNMP V3 : SHA
Authentication password of SNMP V3 : authpassword
Encryption of SNMP V3 : AES
Encryption password of SNMP V3 : privpassword

-----------------------------------------------------------------------------------------------

Are you ready ?(y|n)
Enterキー(Returnキー)か「y」を押してください。

⑱Start daemon by now ? (y/n):[y]
今すぐ起動するかどうかを選択します。

⑲-----------------------------------------------------------------------------------------------

FULLBACK Manager Pro for Network was succesully installed on your system.

-----------------------------------------------------------------------------------------------

正常にインストールが終了すると上記のメッセージが表示されます。

以上でインストールは完了です。

**注意！** VMware ESX Server の場合はインストール時に自動的にフィルタ設定をおこなっています。

### 4.2.3. VMware ESXi

VMware ESXiには、VMware ESX のようなサービスコンソール(COS) が存在しないため、ESXi上の管理用ゲスト OSであるvMA(VMware vSphere Management Assistant)にFMP-03をインストールします。

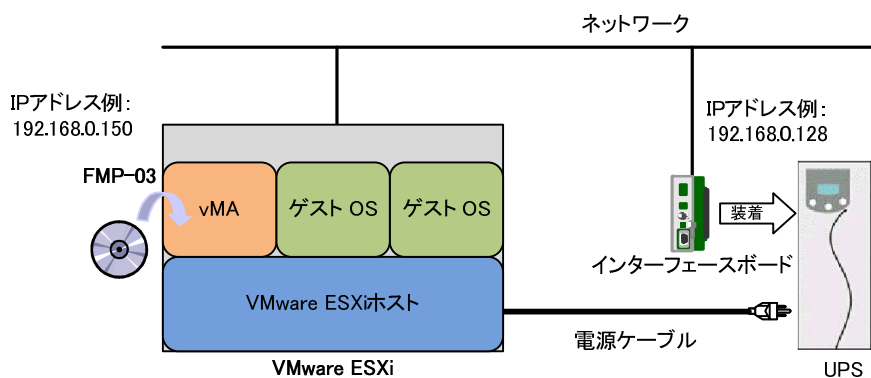
停電時などの自動シャットダウンは、vMA 上のFMP-03からVMware ESXi に対しシャットダウン命令を発行します。ゲスト OS はvCenter Server 経由の仮想マシン起動シャットダウン設定により、シャットダウンタイミングを決定します。

ゲスト OSの起動はvCenter Server 経由の仮想マシン起動シャットダウン設定により、起動時の動作を決定します。

**注意！**

本設定を行う前に、VMware ESXi 上に vMA のインストール、ゲスト OS に VMware Tools を導入しておく必要があります。
導入の際は、VMware 社のガイドをご確認の上、あらかじめ適用してください。

**注意！**

FMP-03 をインストールした vMA のファイアウォール設定は無効としてください。

VMware ESXi 環境における UPS シャットダウンシステムの構成図

#### 4.2.3.1. VMware vSphere Client への設定

① VMware vSphere Client を起動します。

② ESXi ホストの IP アドレス、ユーザー名(root)、パスワード(root のパスワード)を入力してログインします。

③ 右ウィンドウの[構成]を選択して、
[ソフトウェア]の一覧より[仮想マシン起動／シャットダウン]を選択します。

④ 右ウィンドウの右上にある[プロパティ]をクリックして設定画面を表示します。

⑤ 「システムに連動した仮想マシンの自動起動および停止を許可する。」にチェックを入れます。

⑥ 「vSphere Management Assistant (v」を選択して「上へ移動」ボタンを数回クリックして「手動での起動」から「自動起動」に移動してください。その他の仮想マシンも ESXi ホストの電源投入後に仮想マシンを自動起動する場合は「自動起動」に移動してください。「自動起動」に設定した場合、仮想マシンは「自動起動」の上から順に起動されます。

⑦「ゲストシャットダウン」を選択します。

⑧ 仮想マシンのデフォルトの起動遅延時間を設定します。

ここで設定した時間がすべての仮想マシンのデフォルトの起動遅延時間となります。

---

すべての仮想マシンの起動が一斉でも構わない場合(順次起動が必要ない)場合には、「デフォルトの起動遅延時間」を「0」秒に設定してください。

---

⑨ 仮想マシンのデフォルトのシャットダウン遅延時間を設定します。

ここで設定した時間がすべての仮想マシンのデフォルトのシャットダウン遅延時間となります。

すべての仮想マシンのシャットダウンが一斉でも構わない場合(順次停止が必要ない)場合には、「デフォルトのシャットダウン遅延時間」を「0」秒に設定してください。

⑩ 仮想マシンごとに起動／シャットダウン遅延時間を設定したい場合に行ってください。

⑧、⑨項で設定したデフォルトの遅延時間で仮想マシンを動作させる場合には設定する必要はありません。

変更する仮想マシンを選択して「編集」ボタンをクリックします。

「指定された設定の使用」を選択して、起動／シャットダウン遅延時間を設定してください。
「OK」ボタンを選択して保存します。

⑪ 「OK」ボタンを選択して保存します。

### 4.2.3.2. vMA への FMP-03 インストール

①FMP-03 の DVD-ROM をドライブにマウントします。

②インストールスクリプトを起動します。

root権限で次の操作をおこなってください。

# cd　ドライブマウントポイント　マウントポイントに移動します。

# ./install.sh　インストールスクリプトを実行します。

③FULLBACK Manager Pro for Network install start

Install start? (y/n):[y]

FMP-03のインストールを開始します。

Enter キー（Return キー）または「y」を押してください。

④The default install path for this software is /usr/fmpn

Do you want to change the install path? (y/n):[n]

インストール先のpath名を指定します。デフォルトでは[/usr/fmpn]が設定されています。

変更がない場合はEnter キー（Return キー）または「n」を押してください。

変更する場合は「y」を押します。

**注意！**　インストール先のドライブはローカルディスクを指定してください。

⑤Please select language type

(1)Japanese

(2)English

Please enter code number [1]:

使用する言語を選択します。

デフォルトでは「1」が選択されているので、変更がない場合はEnterキー（Returnキー）を押してください。

⑥Please enter the IPv4 Address of the installed machine [192.168.0.153] :

インストールをおこなっているコンピュータのIPアドレスを登録します。

デフォルトでは自動的にIPアドレスを読みだして表示しています。

複数のIPアドレスを持っている場合は1番目のIPアドレスが表示されます。

変更がない場合はEnterキー(Returnキー)を押してください。

変更したい場合はIPアドレスを入力してEnterキー(Returnキー)を押してください。

⑦Please select the access method to Web.
Please select 'HTTP/HTTPS' when it is uncertain.
(1)　HTTPS (Recommendation)
(2)　HTTP/HTTPS
Please enter code number [1] :
Webのアクセスプロトコルを選択します。
デフォルトでは(1)が選択されているので変更がない場合はEnterキー(Returnキー)を押してください。
変更したい場合は「2」を入力してEnterキー(Returnキー)を押してください。
(1)を選んだときは⑧へ、(2)を選んだときは⑨へ移ります。

⑧Please input the HTTPS port number accessed Web [18443] :
HTTPSのポート番号を入力します。
変更がない場合はEnterキー(Returnキー)を押してください。
変更したい場合はポート番号を入力してEnterキー(Returnキー)を押してください。
⑩へ移ります。

⑨Please input the HTTP port number accessed Web [18080] :
Please input the HTTPS port number accessed Web [18443] :
HTTPSとHTTPのポート番号を入力します。
変更がない場合はEnterキー(Returnキー)を押してください。
変更したい場合はポート番号を入力してEnterキー(Returnキー)を押してください。

⑩Please select Type of connection UPS(Interface board).
Please set it later when you select 'It doesn't select it now.'.
(1)　FNA-03/13/23
(2)　FNA-03S/13S
(3)　FNA-03SV/13SV
(4)　It doesn't set it now.
Please enter code number [2] :
UPS(インターフェースボード)を選択します。
デフォルトでは「2」が選択されているので、変更がない場合はEnterキー(Returnキー)を押してください。

**注意！**
接続先 UPS のタイプが分からない場合は「(4)　It doesn't set it now.」を選択してインストール後に Web 画面から選択してください。

⑪Please enter the IPv4 Address of connection UPS :
UPS(インターフェースボード)のIPアドレスを入力してEnterキー(Returnキー)を押してください。

⑫UserName of SNMP V3 must use the one-byte character of '0'-'9'
and 'A'-'Z' and 'a'-'z' from one by 16 bytes.
Please enter UserName of SNMP V3 [username] :
SNMP v3のユーザ名は「username」を入力してEnterキー(Returnキー)を押してください。

⑬Please select authentication of SNMP V3.
(1) None
(2) MD5
(3) SHA (Recommendation)
Please enter code number [3] :
SNMP v3の認証アルゴリズムは「3」を入力してEnterキー(Returnキー)を押してください。

⑭Authentication Password must use the one-byte character of '0'-'9'
and 'A'-'Z' and 'a'-'z' from eight by 16 bytes.
Please enter Authentication password of SNMP V3 [authpassword] :
SNMP v3の認証パスワードは「authpassword」を入力してEnterキー(Returnキー)を押してください。

⑮Please select encryption of SNMP V3.
(1) None
(2) DES
(3) AES (Recommendation)
Please enter code number [3] :
SNMP v3の暗号化アルゴリズムは「3」を入力してEnterキー(Returnキー)を押してください。

⑯Encryption Password must use the one-byte character of '0'-'9'
and 'A'-'Z' and 'a'-'z' from eight by 16 bytes.
Please enter Encryption Password of SNMP V3 [privpassword] :
SNMP v3の暗号化パスワードは「privpassword」を入力してEnterキー(Returnキー)を押してください。

⑰Please enter the IPv4 Address of the ESXi host :
ESXi ホストの IP アドレスを入力して Enter キー(Return キー)を押してください。

⑱Please enter root's password of ESXi host :
ESXi ホストの root パスワードを入力して Enter キー(Return キー)を押してください。

⑲Please enter vi-admin's password of vMA :
vMA の vi-admin パスワードを入力して入力して Enter キー(Return キー)を押してください。

⑳------------------------------------------------------------------------

IPv4 Address of the installed machine : 192.168.0.150
Web access : HTTPS
HTTPS port number : 18443
UPS(Interface board) Type : FNA-03S/13S
IPv4 Address of connection UPS : 192.168.0.128
UserName of SNMP V3 : username
Authentication of SNMP V3 : SHA
Authentication password of SNMP V3 : authpassword
Encryption of SNMP V3 : AES
Encryption password of SNMP V3 : privpassword
IPv4 Address of ESXi host : 192.168.0.154
root's password of ESXi host : passw0rd
vi-admin's password of vMA : passw0rd

------------------------------------------------------------------------

Are you ready ?(y|n)
Enterキー(Returnキー)か「y」を押してください。

㉑Start daemon by now ? (y/n):[y]
今すぐ起動するかどうかを選択します。

㉒------------------------------------------------------------------------

FULLBACK Manager Pro for Network was succesully installed on your system.

------------------------------------------------------------------------

正常にインストールが終了すると上記のメッセージが表示されます。

以上でインストールは完了です。

## 4.3. FNA-03S/13S/03SV/13SV の設定

インターフェースボードへの設定手順は以下の順のとおりです。

①「4.3.1. Web ブラウザからインターフェースボードへ接続」
②「4.3.2. インターフェースボードのパラメータ設定」
③「4.3.3. インターフェースボードへの FMP-03 登録」

### 4.3.1. Web ブラウザからインターフェースボードへ接続

インターフェースボードは、Web ブラウザを使用して設定します。

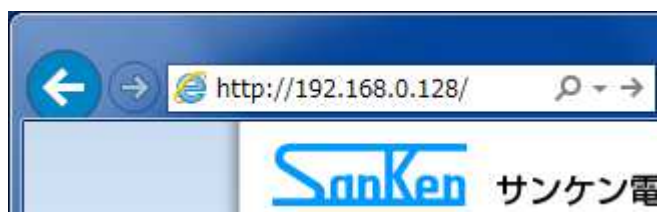
①アドレスバーにインターフェースボードの IP アドレスを入力します。

例）http://192.168.0.128

インターフェースボードに設定された IP アドレスにアクセスできる Web ブラウザを持つマシンであればネットワーク上に存在する既存のマシンを使用して設定が行なえます。

インターフェースボードの詳細設定については、インターフェースボードの取扱説明書を参照してください。

②Web ブラウザでインターフェースボードに接続すると、ユーザ名とパスワードの入力画面が表示されます。インターフェースボードに設定されているユーザ名とパスワードを入力してください。

注意！

プロキシサーバを使用していると接続できない場合が有ります。この場合は管理者の指示に従って、Web ブラウザの設定を変更してください。

## 4.3.2. インターフェースボードのパラメータ設定

### 4.3.2.1. 計画 UPS 停止時間

「◇計画シャットダウンシーケンス設定」により、手動操作やスケジュールで行なうときのシャットダウン動作を設定します。

①計画 UPS 停止時間

計画シャットダウンを開始してから UPS を停止するまでの時間です。

シャットダウン動作に要する時間は、ご使用マシンのスペックや OS、動作しているアプリケーションなどにより異なりますので、シャットダウン動作に要する時間を確認して計画 UPS 停止時間を決めてください。

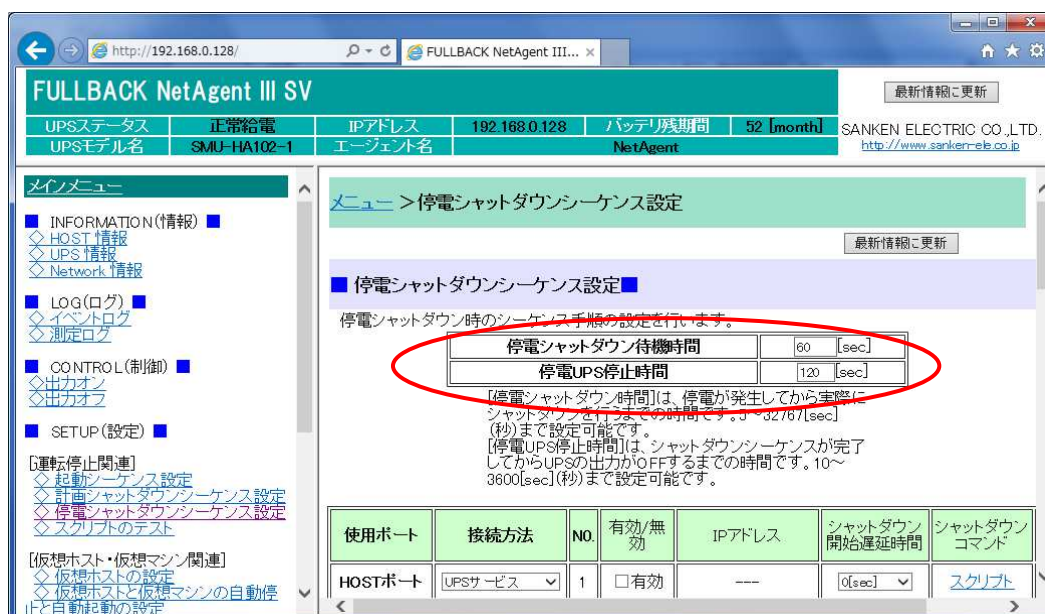
| 設定項目 | 工場出荷時設定 | 設定範囲 |
|---|---|---|
| 計画 UPS 停止時間 ［秒］ | 120 | 10～3600 |

**注意！**

計画 UPS 停止時間の設定はインターフェースボードで設定してください。
FMP-03 では設定値を表示するだけで、設定変更はおこなえませんので注意してください。

②[設定]ボタンをクリックします。

## 4.3.2.2. 停電シャットダウン待機時間/停電 UPS 停止時間

「◇停電シャットダウンシーケンス設定」により、停電時に行うときのシャットダウン動作を設定します。

| 設定項目 | 工場出荷時設定 | 設定範囲 |
|---|---|---|
| 停電シャットダウン待機時間［秒］ | 60 | 5～32767 |
| 停電 UPS 停止時間［秒］ | 120 | 10～3600 |

①停電シャットダウン待機時間

停電が発生してからシャットダウン動作を開始するまでの時間です。

シャットダウン動作を開始する前に復電した場合は通常状態に戻ります。

シャットダウン動作を開始した後に復電した場合はシャットダウン動作を継続します。

UPS のバックアップ能力、負荷容量、シャットダウンに要する時間から停電シャットダウン待機時間を決めてください。

②停電 UPS 停止時間

停電シャットダウンを開始してから UPS を停止するまでの時間です。

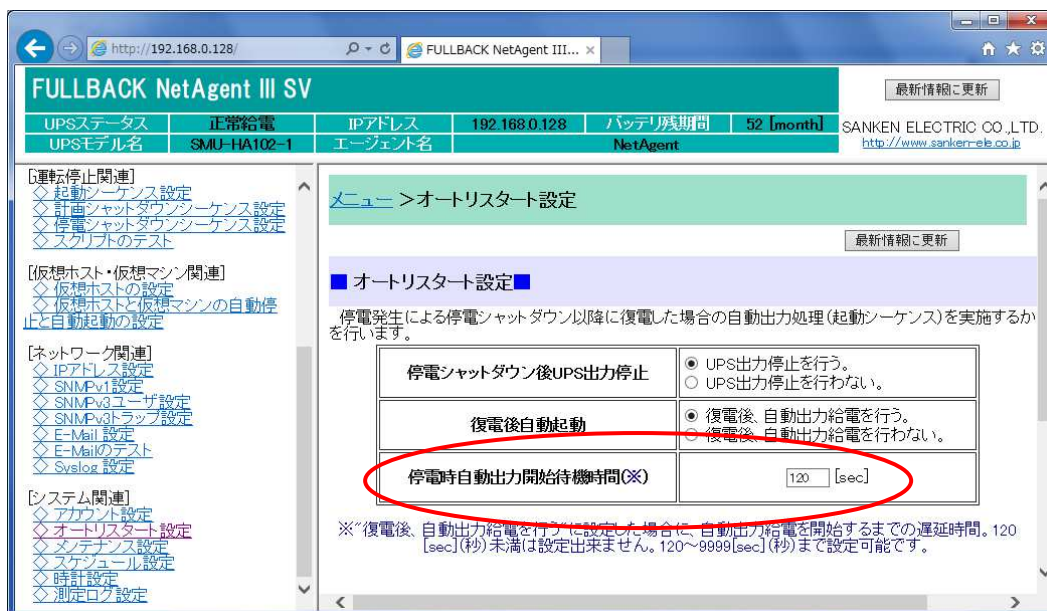
シャットダウン動作に要する時間は、ご使用マシンのスペックや OS、動作しているアプリケーションなどにより異なりますので、シャットダウン動作に要する時間を確認して停電 UPS 停止時間を決めてください。

**注意！**

停電シャットダウン待機時間と停電 UPS 停止時間の設定はインターフェースボードで設定してください。FMP-03 では設定値を表示するだけで、設定変更はおこなえませんので注意してください。

③[設定]ボタンをクリックします。

### 4.3.2.3. 停電時自動出力開始待機時間

「◇オートリスタート設定」により停電時の UPS 停止、および復電時の UPS 起動の設定を行ないます。

①「停電時自動出力開始待機時間」は、復電から UPS を起動するまでの待機時間の設定です。最小値は 120 秒となります。
設定が完了したら画面下部の「設定」ボタンをクリックします。

| 設定項目 | 工場出荷時設定 | 設定範囲 |
|---|---|---|
| 停電時自動出力開始待機時間［秒］ | 120 | 120～9999 |

Check 停電時自動出力開始待機時間中に停電が発生した場合は、次の復電時に待機時間のカウントを初めからやり直します。

## 4.3.3. インターフェースボードへの FMP-03 登録

「故障」や「出力過負荷」などの UPS のアラーム監視が必要な場合は、インターフェースボードへ FMP-03 を登録します。
不要な場合は、インターフェースボードへの登録は必要ありません。

インターフェースボードへの FMP-03 登録方法は、以下の 2 通りの方法があります。
シャットダウンソフトとして登録する方法：「4.3.3.1. FMP-03 をシャットダウンソフトとして登録」
SNMP マネージャとして登録する方法：「4.3.3.2. FMP-03 を SNMP マネージャとして登録」

**インターフェースボードに登録できる FMP-03 の台数**

| インターフェースボードへの登録方法 | FMP-03 最大登録台数 |
| --- | --- |
| シャットダウンソフトとして登録 | 20 台 |
| SNMP マネージャとして登録 | 5 台 |

インターフェースボードタイプが FNA-03S/13S/03SV/13SV の場合、
インターフェースボードへの FMP-03 登録を行わなくても、停電時に
自動的にシャットダウンができます。

### 4.3.3.1. FMP-03 をシャットダウンソフトとして登録

①停電シャットダウンシーケンス設定をクリックします。

②シャットダウンソフトの設定を入力します。

| 設定項目 | 説明 |
|---|---|
| シャットダウンソフトの有効/無効 | "有効"をチェックしてください。 |
| シャットダウンソフトのIPアドレス | FMP-03 の IP アドレスを入力してください。 |

③SNMP トラップポート番号の設定を入力します。

| 設定項目 | 説明 |
|---|---|
| ポート番号 | 162 を設定してください。<br>FMP-03 の SNMP トラップ受信ポート番号を変更した場合は同じポート番号に設定してください。 |

④[設定]ボタンをクリックします。

**注意！**

「シャットダウンソフトの設定」と「SNMPトラップポート番号の設定」は、停電シャットダウンシーケンスと計画シャットダウンシーケンスで同一の設定となります。

### 4.3.3.2. FMP-03 を SNMP マネージャとして登録

SNMPv1 の設定を行います。

①SNMPv1 設定をクリックします。

②SNMPv1 設定の各項目を入力します。

| 設定項目 | 説明 |
|---|---|
| トラップ形式 | トラップ形式は”UPS-MIB”を選択してください。 |
| 有効/無効 | SNMP マネージャの“有効”を設定します。 |
| IP アドレス | FMP-03 の IP アドレスを入力してください。 |
| コミュニティ | SNMP マネージャとのアクセスに使用するコミュニティを設定します。”public”を設定してください。 |
| アクセスタイプ | “read/write”を選択してください。 |
| トラップ | トラップ送信の”有効”を設定します。 |
| トラップポート番号 | 162 に設定してください。<br>FMP-03 のトラップ受信ポート番号を変更した場合は同じポート番号に変更して下さい。 |

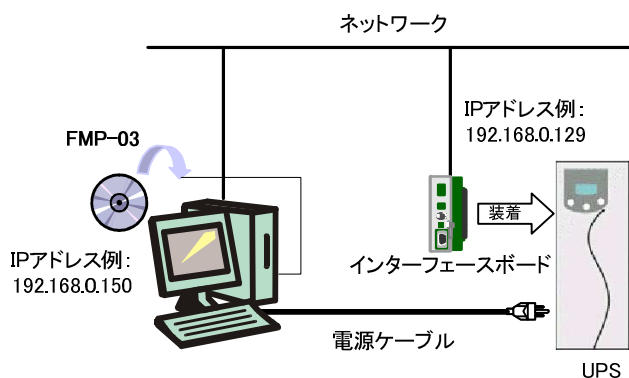
③設定が完了したら画面下部の「設定」ボタンをクリックします。

# 5. FMP-03 のインストール(FNA-03/13/23)

インストール手順は以下の順のとおりです。

①「5.1. コンピュータと UPS(インターフェースボード)の接続」
②「5.2 FNA-03/13/23 の設定」
③「5.3. FMP-03 インストール」
Windows OS の場合：
「5.3.1. Windows OS」
Linux/AIX OS および VMware ESX の場合：
「5.3.2. Linux/AIX OS および VMware ESX」
VMware ESXi の場合：
「5.3.3. VMware ESXi」

## 5.1. コンピュータと UPS(インターフェースボード)の接続

コンピュータと UPS(インターフェースボード)を以下のように接続します。

## 5.2. FNA-03/13/23 の設定

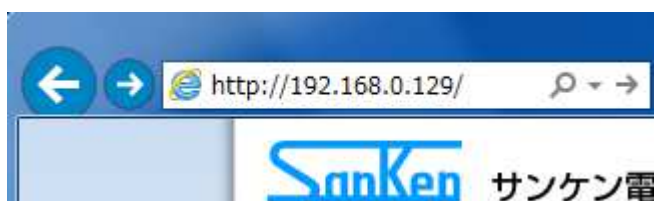
インターフェースボードへの設定手順は以下の順のとおりです。

①「5.2.1. Web ブラウザからインターフェースボードへ接続」
②「5.2.2. インターフェースボードのパラメータ設定」
③「5.2.3. インターフェースボードへの FMP-03 登録」

### 5.2.1. Web ブラウザからインターフェースボードへ接続

インターフェースボードは、Web ブラウザを使用して設定します。

①アドレスバーにインターフェースボードの IP アドレスを入力します。

例）http://192.168.0.129

インターフェースボードに設定された IP アドレスにアクセスできる Web ブラウザを持つマシンであればネットワーク上に存在する既存のマシンを使用して設定が行なえます。

インターフェースボードの詳細設定については、インターフェースボードの取扱説明書を参照してください。

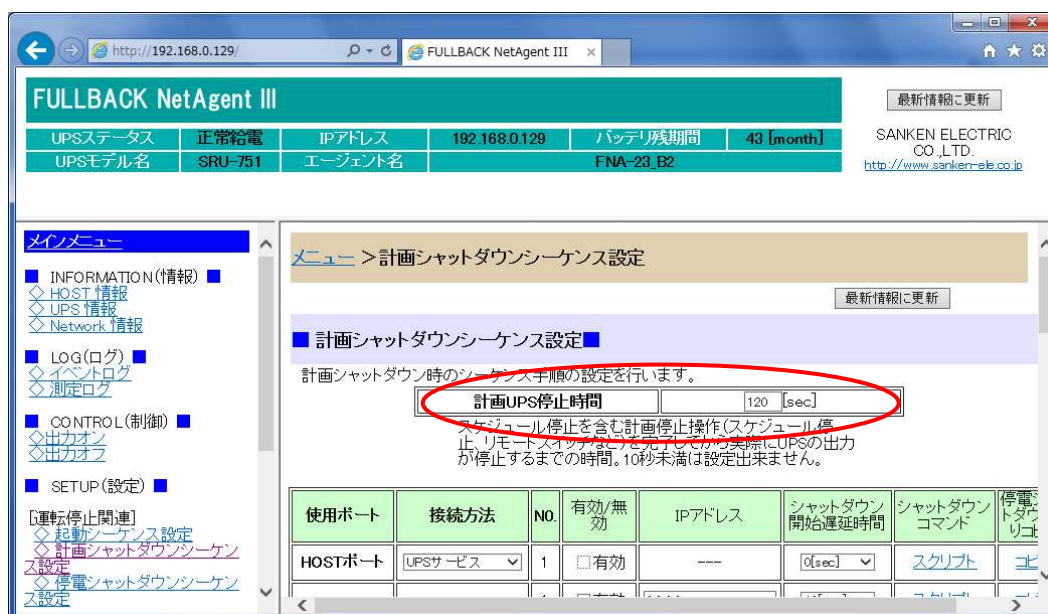
②Web ブラウザでインターフェースボードに接続すると、ユーザ名とパスワードの入力画面が表示されます。
インターフェースボードに設定されているユーザ名とパスワードを入力してください。

注意！

プロキシサーバを使用していると接続できない場合が有ります。
この場合は管理者の指示に従って、Web ブラウザの設定を変更してください。

## 5.2.2. インターフェースボードのパラメータ設定

### 5.2.2.1. 計画 UPS 停止時間

「◇計画シャットダウンシーケンス設定」により、手動操作やスケジュールで行なうときのシャットダウン動作を設定します。

| 設定項目 | 工場出荷時設定 | 設定範囲 |
|---|---|---|
| 計画 UPS 停止時間［秒］ | 120 | 10～3600 |

①計画 UPS 停止時間

計画シャットダウンを開始してから UPS を停止するまでの時間です。

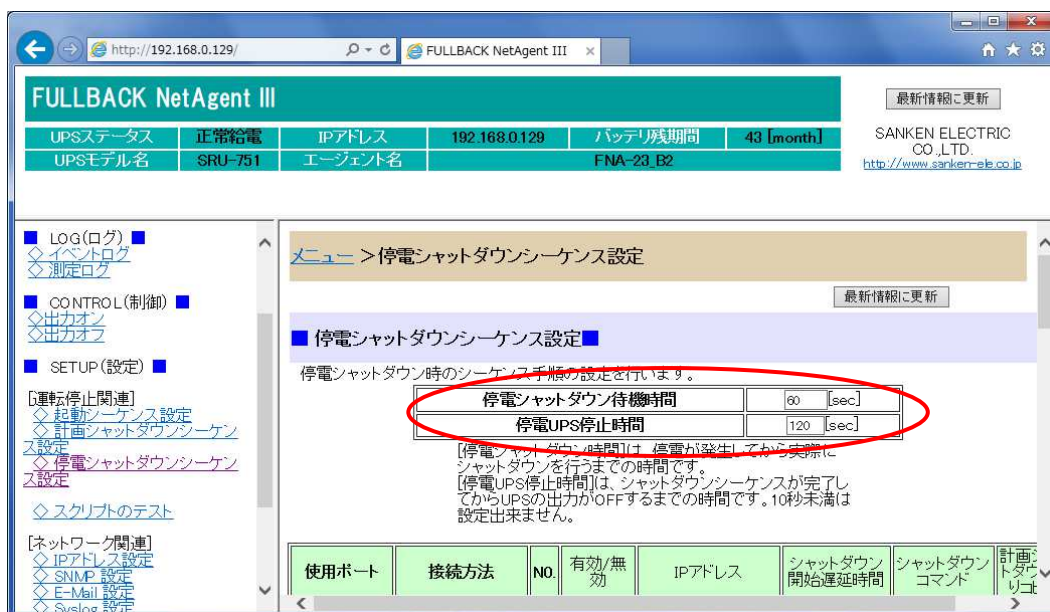
シャットダウン動作に要する時間は、ご使用マシンのスペックや OS、動作しているアプリケーションなどにより異なりますので、シャットダウン動作に要する時間を確認して計画 UPS 停止時間を決めてください。

**注意！**

計画 UPS 停止時間の設定はインターフェースボードで全て設定してください。FMP-03 では設定値を表示するだけで、設定変更はおこなえませんので注意してください。

② ［設定］ボタンをクリックします。

## 5.2.2.2. 停電時自動出力停止開始時間/停電シャットダウン待機時間

「◇停電シャットダウンシーケンス設定」により、停電時に行うときのシャットダウン動作を設定します。

| 設定項目 | 工場出荷時設定 | 設定範囲 |
|---|---|---|
| 停電シャットダウン待機時間［秒］ | 60 | 5～32767 |
| 停電 UPS 停止時間［秒］ | 120 | 10～3600 |

①停電シャットダウン待機時間

停電が発生してからシャットダウン動作を開始するまでの時間です。

シャットダウン動作を開始する前に復電した場合は通常状態に戻ります。

シャットダウン動作を開始した後に復電した場合はシャットダウン動作を継続します。

UPS のバックアップ能力、負荷容量、シャットダウンに要する時間から停電シャットダウン待機時間を決めてください。

②停電 UPS 停止時間

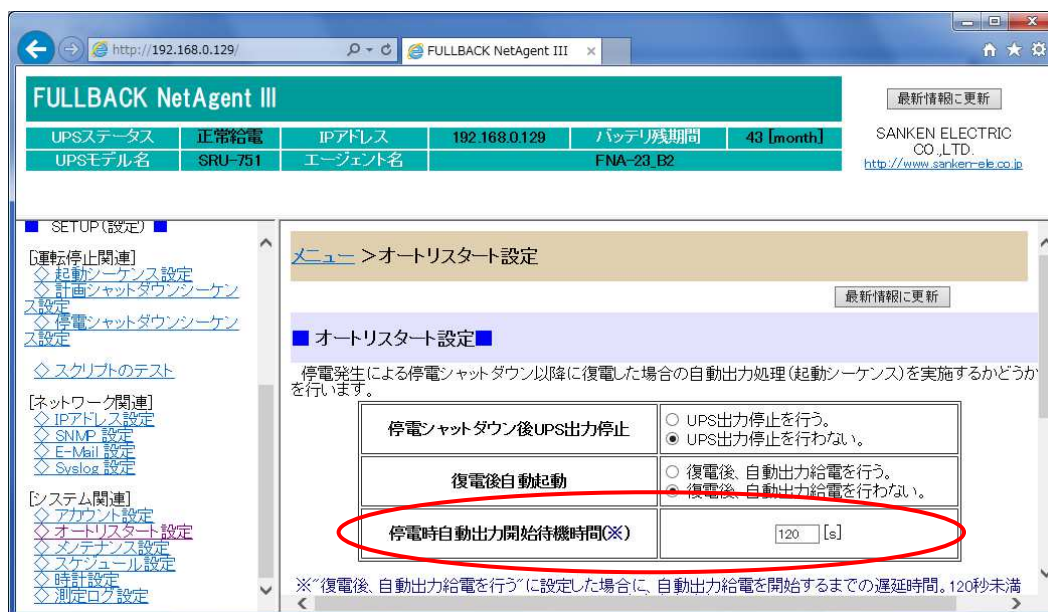
停電シャットダウンを開始してから UPS を停止するまでの時間です。

シャットダウン動作に要する時間は、ご使用マシンのスペックや OS、動作しているアプリケーションなどにより異なりますので、シャットダウン動作に要する時間を確認して停電 UPS 停止時間を決めてください。

停電シャットダウン待機時間と停電 UPS 停止時間の設定はインターフェースボードで全て設定してください。FMP-03 では設定値を表示するだけで、設定変更はおこなえませんので注意してください。

③[設定]ボタンをクリックします。

### 5.2.2.3. UPS の自動起動の設定

「◇オートリスタート設定」により停電時の UPS 停止、および復電時の UPS 起動の設定を行ないます。

①「停電時自動出力開始待機時間」は、復電から UPS を起動するまでの待機時間の設定です。最小値は 120 秒となります。

設定が完了したら画面下部の「設定」ボタンをクリックします。

| 設定項目 | 工場出荷時設定 | 設定範囲 |
|---|---|---|
| 停電時自動出力開始待機時間［秒］ | 120 | 120～9999 |

停電時自動出力開始待機時間中に停電が発生した場合は、次の復電時に待機時間のカウントを初めからやり直します。

## 5.2.3. インターフェースボードへの FMP-03 登録

インターフェースボードへの FMP-03 登録方法は、以下の 2 通りの方法があります。

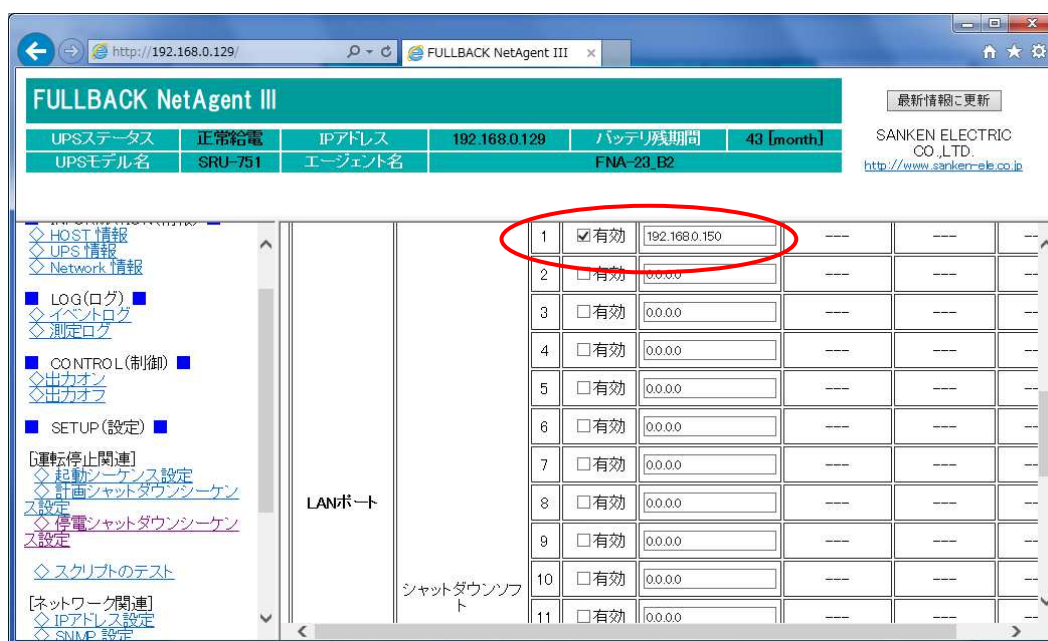
シャットダウンソフトとして登録する方法：「5.2.3.1. FMP-03 をシャットダウンソフトとして登録」

SNMP マネージャとして登録する方法：「5.2.3.2. FMP-03 を SNMP マネージャとして登録」

**インターフェースボードに登録できる FMP-03 の台数**

| インターフェースボードへの登録方法 | FMP-03 最大登録台数 |
|---|---|
| シャットダウンソフトとして登録 | 20 台 |
| SNMP マネージャとして登録 | 5 台 |

### 5.2.3.1. FMP-03 をシャットダウンソフトとして登録

FNA-03/13/23 に FMP-03 をインストールするコンピュータの IP アドレスの登録をします。「◇停電シャットダウンシーケンス設定」画面から設定をお願いします。

①停電シャットダウンシーケンス設定をクリックします。

②シャットダウンソフトの設定を入力します。

| 設定項目 | 説明 |
|---|---|
| シャットダウンソフトの有効/無効 | “有効”をチェックしてください。 |
| シャットダウンソフトのIPアドレス | FMP-03 の IP アドレスを入力してください。 |

③[設定]ボタンをクリックします。

注意！

「シャットダウンソフトの設定」は、停電シャットダウンシーケンスと計画シャットダウンシーケンスで同一の設定となります。

### 5.2.3.2. FMP-03 を SNMP マネージャとして登録

SNMPv1 の設定を行います。

①SNMP 設定をクリックします。

②SNMPv1 設定の各項目を入力します。

| 設定項目 | 説明 |
|---|---|
| トラップ形式 | トラップ形式は”UPS-MIB”を選択してください。 |
| 有効/無効 | SNMP マネージャの“有効”を設定します。 |
| IP アドレス | FMP-03 の IP アドレスを入力してください。 |
| コミュニティ | SNMP マネージャとのアクセスに使用するコミュニティを設定します。”public”を設定してください。 |
| アクセスタイプ | “read/write”を選択してください。 |
| トラップ | トラップ送信の”有効”を設定します。 |

③設定が完了したら画面下部の「設定」ボタンをクリックします。

## 5.3. FMP-03 インストール

FMP-03 インストール手順について説明します。

### 5.3.1. Windows OS

①FMP-03 の DVD-ROM をドライブにセットします。

②FMP-03 のセットアッププログラムを起動します。
ご使用の OS に合わせて、下記に指定されたフォルダのセットアッププログラムを起動してください。

| ディレクトリ | ファイル名 | 説明 |
|---|---|---|
| Win32 | setup.exe | Windows 32bit OS 用インストールプログラム |
| Win64 | setup.exe | Windows 64bit OS 用インストールプログラム |

③画面で[日本語]が選択されたままで、[OK]ボタンを左クリックします。

④画面のメッセージを確認し、[次へ(N)]ボタンを左クリックします。

⑤ユーザ名および会社名を入力する画面が表示されます。ユーザ名と会社名を入力して[次へ(N)]ボタンを左クリックします。

⑥インストール先を選択する画面が表示されます。インストール先を変更しない場合は、[次へ(N)]ボタンを左クリックします。インストール先を変更する場合は、[参照(R)]ボタンを左クリックし、フォルダを指定してください。

---

**注意！**　　インストール先のドライブは必ずローカルディスクを指定してください。

---

⑦インストールするマシンの IP アドレスの入力画面が表示されます。IP アドレスは自動取得されますので、[次へ(N)]ボタンを左クリックします。IP アドレスが自動取得されない場合、IP アドレスを変更する場合は再入力をして[次へ(N)]ボタンを左クリックします。

⑧Web アクセス方法を選択してください。

デフォルトでHTTPSが選択されているので変更がない場合は[次へ(N)]ボタンを左クリックします。

変更したい場合は「HTTP/HTTPS」を選択して[次へ(N)]ボタンを左クリックします。

(1)HTTPS を選択した場合

デフォルトのHTTPSポート番号「18443」で変更がない場合は[次へ(N)]ボタンを左クリックします。

変更したい場合はポート番号を再入力して[次へ(N)]ボタンを左クリックします。

(2)HTTP/HTTPS を選択した場合

デフォルトのHTTPポート番号「18080」、HTTPSポート番号「18443」で変更がない場合は[次へ(N)]ボタンを左クリックします。

変更したい場合はポート番号を再入力して[次へ(N)]ボタンを左クリックします。

⑨接続先UPSのタイプを設定してください。

デフォルトは「FNA-03S/13S」の設定です。「FNA-03/13/23」に選択を変更して[次へ(N)]ボタンを左クリックします。

接続先 UPS のタイプが分からない場合は「今は選択しない」を選択してインストール後に Web 画面から選択してください。

⑩接続先 UPS（インターフェースボード）の IPv4アドレスを入力してください。

⑪SNMP v1 のコミュニティの設定を行ってください。

コミュニティは「public」に設定して[次へ(N)]ボタンを左クリックします。

⑫インストールの終了画面が表示されます。[完了]ボタンを左クリックします。
FMP-03 を今すぐ起動しない場合は「FULLBACK Manager Pro for Network を実行する」のチェックを外し、[完了]ボタンを左クリックします。

以上でインストールは完了です。

## 5.3.2. Linux/AIX OS および VMware ESX

①FMP-03 の DVD-ROM をドライブにマウントします。

②インストールスクリプトを起動します。

root権限で次の操作をおこなってください。

# cd　メディアマウントポイント　マウントポイントに移動します。

# ./install.sh　　　　　　　　　インストールスクリプトを実行します。

③FULLBACK Manager Pro for Network install start

Install start? (y/n):[y]

FMP-03のインストールを開始します。

Enter キー（Return キー）または「y」を押してください。

④The default install path for this software is /usr/fmpn

Do you want to change the install path? (y/n):[n]

インストール先のpath名を指定します。デフォルトでは[/usr/fmpn]が設定されています。

変更がない場合はEnter キー（Return キー）または「n」を押してください。

変更する場合は「y」を押します。

**注意！**　インストール先のドライブはローカルディスクを指定してください。

⑤Please select language type

(1)Japanese

(2)English

Please enter code number [1]:

使用する言語を選択します。

デフォルトでは(1)が選択されているので、変更がない場合はEnterキー（Returnキー）を押してください。

⑥Please enter the IPv4 Address of the installed machine [192.168.0.153] :

インストールをおこなっているコンピュータのIPアドレスを登録します。

デフォルトでは自動的にIPアドレスを読みだして表示しています。

複数のIPアドレスを持っている場合は1番目のIPアドレスが表示されます。

変更がない場合はEnterキー(Returnキー)を押してください。

変更したい場合はIPアドレスを入力してEnterキー(Returnキー)を押してください。

⑦Please select the access method to Web.
Please select 'HTTP/HTTPS' when it is uncertain.
(1)　HTTPS (Recommendation)
(2)　HTTP/HTTPS
Please enter code number [1] :
Webのアクセスプロトコルを選択します。
デフォルトでは(1)が選択されているので変更がない場合はEnterキー（Returnキー）を押してください。
変更したい場合は「2」を入力してEnterキー(Returnキー)を押してください。
(1)を選んだときは⑧へ、(2)を選んだときは⑨へ移ります。

⑧Please input the HTTPS port number accessed Web [18443] :
HTTPSのポート番号を入力します。
変更がない場合はEnterキー(Returnキー)を押してください。
変更したい場合はポート番号を入力してEnterキー(Returnキー)を押してください。
⑩へ移ります。

⑨Please input the HTTP port number accessed Web [18080] :
Please input the HTTPS port number accessed Web [18443] :
HTTPSとHTTPのポート番号を入力します。
変更がない場合はEnterキー(Returnキー)を押してください。
変更したい場合はポート番号を入力してEnterキー(Returnキー)を押してください。

⑩Please select Type of connection UPS(Interface board).
Please set it later when you select 'It doesn't select it now.'.
(1)　FNA-03/13/23
(2)　FNA-03S/13S
(3)　FNA-03SV/13SV
(4)　It doesn't set it now.
Please enter code number [2] :1
UPS(インターフェースボード)を選択します。
「1」を入力してEnterキー（Return）を押してください。

**注意！**　接続先 UPS のタイプが分からない場合は「(4)　It doesn't set it now.」を選択してインストール後に Web 画面から選択してください。

⑪Please enter the IPv4 Address of connection UPS :
UPS（インターフェースボード）のIPアドレスを入力してEnterキー(Returnキー)を押してください。

⑫Community of SNMP V1 must use the one-byte character of '0'-'9'
and 'A'-'Z' and 'a'-'z' from one by 20 bytes.
Please enter Community of SNMP V1 [public] :

SNMP v1のコミュニティは「public」を入力してEnterキー(Returnキー)を押してください。

⑬-----------------------------------------------------------------------------

IPv4 Address of the installed machine : 192.168.0.150
Web access : HTTPS
HTTPS port number : 18443
UPS(Interface board) Type : FNA-03/13/23
IPv4 Address of connection UPS : 192.168.0.129
Community of SNMP V1 : public

-----------------------------------------------------------------------------

Are you ready ?(y|n)
Enterキー(Returnキー)か「y」を押してください。

⑭Start daemon by now ? (y/n):[y]
今すぐ起動するかどうかを選択します。

⑮-----------------------------------------------------------------------------

FULLBACK Manager Pro for Network was succesully installed on your system.

-----------------------------------------------------------------------------

正常にインストールが終了すると上記のメッセージが表示されます。

以上でインストールは完了です。

**注意！** VMware ESX Server の場合はインストール時に自動的にフィルタ設定をおこなっています。

### 5.3.3. VMware ESXi

VMware ESXiには、VMware ESX のようなサービスコンソール(COS) が存在しないため、ESXi上の管理用ゲスト OSであるvMA(VMware vSphere Management Assistant)にFMP-03をインストールします。

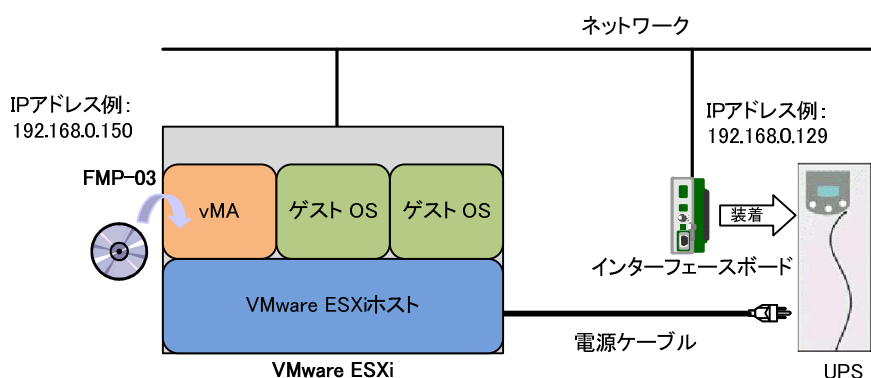
停電時などの自動シャットダウンは、vMA 上のFMP-03からVMware ESXi に対しシャットダウン命令を発行します。ゲスト OS はvCenter Server 経由の仮想マシン起動シャットダウン設定により、シャットダウンタイミングを決定します。

ゲスト OSの起動はvCenter Server 経由の仮想マシン起動シャットダウン設定により、起動時の動作を決定します。

**注意！**

本設定を行う前に、VMware ESXi 上に vMA のインストール、ゲスト OS に VMware Tools を導入しておく必要があります。
導入の際は、VMware 社のガイドをご確認の上、あらかじめ適用してください。

**注意！**

FMP-03 をインストールした vMA のファイアウォール設定は無効としてください。

VMware ESXi 環境における UPS シャットダウンシステムの構成図

### 5.3.3.1. VMware vSphere Client への設定

① VMware vSphere Client を起動します。

② ESXi ホストの IP アドレス、ユーザー名(root)、パスワード(root のパスワード)を入力してログインします。

③ 右ウィンドウの[構成]を選択して、
[ソフトウェア]の一覧より[仮想マシン起動／シャットダウン]を選択します。

④ 右ウィンドウの右上にある[プロパティ]をクリックして設定画面を表示します。

⑤「システムに連動した仮想マシンの自動起動および停止を許可する。」にチェックを入れます。

⑥ 「vSphere Management Assistant (v」を選択して「上へ移動」ボタンを数回クリックして「手動での起動」から「自動起動」に移動してください。その他の仮想マシンも ESXi ホストの電源投入後に仮想マシンを自動起動する場合は「自動起動」に移動してください。「自動起動」に設定した場合、仮想マシンは「自動起動」の上から順に起動されます。

⑦ 「ゲストシャットダウン」を選択します。

⑧ 仮想マシンのデフォルトの起動遅延時間を設定します。
ここで設定した時間がすべての仮想マシンのデフォルトの起動遅延時間となります。

すべての仮想マシンの起動が一斉でも構わない場合(順次起動が必要ない)場合には、「デフォルトの起動遅延時間」を「0」秒に設定してください。

⑨ 仮想マシンのデフォルトのシャットダウン遅延時間を設定します。
ここで設定した時間がすべての仮想マシンのデフォルトのシャットダウン遅延時間となります。

すべての仮想マシンのシャットダウンが一斉でも構わない場合(順次停止が必要ない)場合には、「デフォルトのシャットダウン遅延時間」を「0」秒に設定してください。

⑩ 仮想マシンごとに起動／シャットダウン遅延時間を設定したい場合に行ってください。
⑧、⑨項で設定したデフォルトの遅延時間で仮想マシンを動作させる場合には設定する必要はありません。
変更する仮想マシンを選択して「編集」ボタンをクリックします。

「指定された設定の使用」を選択して、起動／シャットダウン遅延時間を設定してください。
「OK」ボタンを選択して保存します。

⑪ 「OK」ボタンを選択して保存します。

### 5.3.3.2. vMA への FMP-03 インストール

①FMP-03 の DVD-ROM をドライブにマウントします。

②インストールスクリプトを起動します。

root権限で次の操作をおこなってください。

# cd　ドライブマウントポイント　マウントポイントに移動します。

# ./install.sh　インストールスクリプトを実行します。

③FULLBACK Manager Pro for Network install start

Install start? (y/n):[y]

FMP-03のインストールを開始します。

Enter キー（Return キー）または「y」を押してください。

④The default install path for this software is /usr/fmpn

Do you want to change the install path? (y/n):[n]

インストール先のpath名を指定します。デフォルトでは[/usr/fmpn]が設定されています。

変更がない場合はEnter キー（Return キー）または「n」を押してください。

変更する場合は「y」を押します。

**注意！**

インストール先のドライブはローカルディスクを指定してください。

⑤Please select language type

(1)Japanese

(2)English

Please enter code number [1]:

使用する言語を選択します。

デフォルトでは「1」が選択されているので、変更がない場合はEnterキー（Returnキー）を押してください。

⑥Please enter the IPv4 Address of the installed machine [192.168.0.153] :

インストールをおこなっているコンピュータのIPアドレスを登録します。

デフォルトでは自動的にIPアドレスを読みだして表示しています。

複数のIPアドレスを持っている場合は1番目のIPアドレスが表示されます。

変更がない場合はEnterキー(Returnキー)を押してください。

変更したい場合はIPアドレスを入力してEnterキー(Returnキー)を押してください。

⑦Please select the access method to Web.
Please select 'HTTP/HTTPS' when it is uncertain.
(1)　HTTPS (Recommendation)
(2)　HTTP/HTTPS
Please enter code number [1] :

Webのアクセスプロトコルを選択します。
デフォルトでは(1)が選択されているので変更がない場合はEnterキー（Returnキー）を押してください。
変更したい場合は「2」を入力してEnterキー(Returnキー)を押してください。
(1)を選んだときは⑧へ、(2)を選んだときは⑨へ移ります。

⑧Please input the HTTPS port number accessed Web [18443] :

HTTPSのポート番号を入力します。
変更がない場合はEnterキー(Returnキー)を押してください。
変更したい場合はポート番号を入力してEnterキー(Returnキー)を押してください。
⑩へ移ります。

⑨Please input the HTTP port number accessed Web [18080] :
Please input the HTTPS port number accessed Web [18443] :

HTTPSとHTTPのポート番号を入力します。
変更がない場合はEnterキー(Returnキー)を押してください。
変更したい場合はポート番号を入力してEnterキー(Returnキー)を押してください。

⑩Please select Type of connection UPS(Interface board).
Please set it later when you select 'It doesn't select it now.'.
(1)　FNA-03/13/23
(2)　FNA-03S/13S
(3)　FNA-03SV/13SV
(4)　It doesn't set it now.
Please enter code number [2] :1

UPS(インターフェースボード)を選択します。
「1」を入力してEnterキー（Return）を押してください。

**注意！**　接続先 UPS のタイプが分からない場合は「(4)　It doesn't set it now.」を選択してインストール後に Web 画面から選択してください。

⑪Please enter the IPv4 Address of connection UPS :

UPS（インターフェースボード）のIPアドレスを入力してEnterキー(Returnキー)を押してください。

⑫Community of SNMP V1 must use the one-byte character of '0'-'9'
and 'A'-'Z' and 'a'-'z' from one by 20 bytes.
Please enter Community of SNMP V1 [public] :

SNMP v1のコミュニティは「public」を入力してEnterキー(Returnキー)を押してください。

⑬Please enter the IPv4 Address of the ESXi host :

ESXi ホストの IP アドレスを入力して Enter キー(Return キー)を押してください。

⑭Please enter root's password of ESXi host :

ESXi ホストの root パスワードを入力して Enter キー(Return キー)を押してください。

⑮Please enter vi-admin's password of vMA :

vMA の vi-admin パスワードを入力して入力して Enter キー(Return キー)を押してください。

⑯---------------------------------------------------------------------------

IPv4 Address of the installed machine : 192.168.0.150
Web access : HTTPS
HTTPS port number : 18443
UPS(Interface board) Type : FNA-03/13/23
IPv4 Address of connection UPS : 192.168.0.129
Community of SNMP V1 : public
IPv4 Address of ESXi host : 192.168.0.154
root's password of ESXi host : passw0rd
vi-admin's password of vMA : passw0rd

---------------------------------------------------------------------------

Are you ready ?(y|n)
Enterキー(Returnキー)か「y」を押してください。

⑰Start daemon by now ? (y/n):[y]

今すぐ起動するかどうかを選択します。

⑱---------------------------------------------------------------------------

FULLBACK Manager Pro for Network was succesully installed on your system.

---------------------------------------------------------------------------

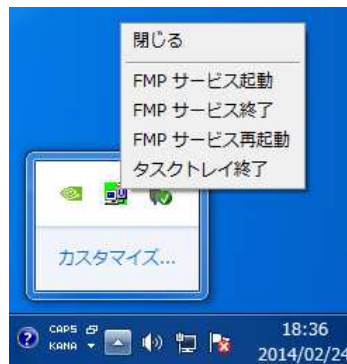
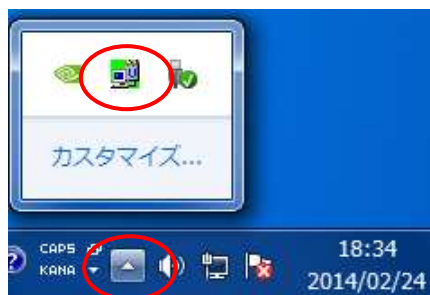
正常にインストールが終了すると上記のメッセージが表示されます。

以上でインストールは完了です。

# 6. 操作方法

FMP-03 を起動/停止/再起動する方法は、以下になります。

【Windows OS】

タスクトレイに FMP-03 のアイコンが表示されます。このアイコンを右クリックしてプルダウンメニューから選択します。タスクトレイが終了している場合（タスクトレイにアイコンがない場合）は、スタートアップメニューまたはデスクトップ上の「FULLBACK Manager Pro for Network」にて起動してください。

注意！

サービス終了状態でタスクトレイが実行中の状態の場合、スタートアップメニューまたはデスクトップ上の「FULLBACK Manager Pro for Network」を実行してもサービスは起動されません。

【Linux/AIX OS 又は VMware ESX/ ESXi】

FMP-03 起動操作

root 権限で次の操作を行ってください。

# cd /usr/fmpn　　　インストールディレクトリに移動します。

# ./fmpnstart.sh　　　FMP-03 を起動します。

FMP-03 停止操作

root 権限で次の操作を行ってください。

# cd /usr/fmpn　　　インストールディレクトリに移動します。

# ./fmpnstop.sh　　　FMP-03 を停止します。

FMP-03 再起動操作

root 権限で次の操作を行ってください。

# cd /usr/fmpn　　　インストールディレクトリに移動します。

# ./fmpnrestart.sh　　　FMP-03 を再起動します。

## 6.1. ログイン

FMP-03 へのログイン方法を以下に示します。

①FMP-03 をインストールした PC からログインする場合を以下に示します。

Web ブラウザに、次の URL を入力して更新ボタンを左クリックして下さい。

HTTPS　：https://インストールした PC の IP アドレス:ポート番号（デフォルト: 18443）/fmp

HTTP　：http://インストールした PC の IP アドレス:ポート番号（デフォルト: 18080）/fmp

Check

Windows OS の場合、タスクトレイにある FMP-03 のアイコンを左クリックすると FMP-03 の Web 画面が立ち上がります。

注意！

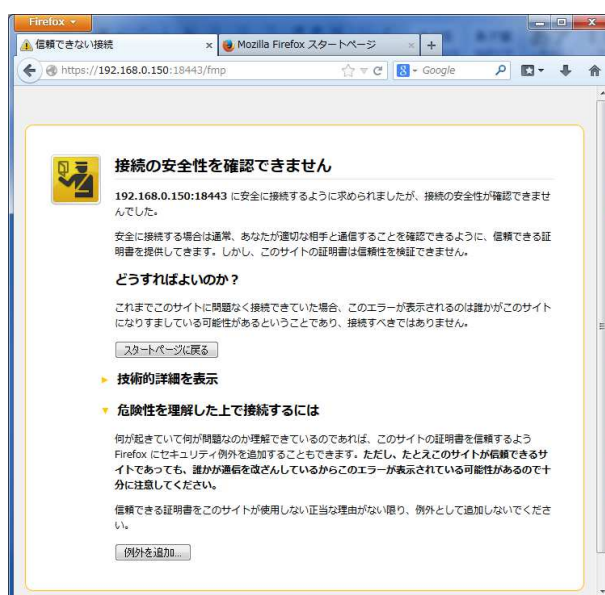
遠隔の PC から接続する場合はネットワーク状態やファイアウォールの状態を確認してください。

注意！

Windows マシンに管理者権限のないユーザでログインした場合は、タスクトレイは表示されませんが、停電ポップアップ表示や停電シャットダウンなどは動作します。

②HTTPS で FMP-03 の Web 画面にログインする時に、警告メッセージが表示される場合があります。

・Internet Explorer の場合

・FireFox の場合

このメッセージを表示されせたくない場合は、ご使用している Web ブラウザに FMP-03 の証明書を登録するようにお願いします。登録方法は、Web ブラウザの種類により異なりますので、「9.6.よくある質問」を参考にして登録を行ってください。

③ユーザ名とパスワードを入力し、ログインボタンを左クリックします。

| ユーザ種類 | ユーザ名 | 初期パスワード |
|---|---|---|
| 管理者権限 | admin | magic |
| 一般ユーザ権限 | user | magic |

表 6-1 ログインユーザ

ユーザ別メニューは「9.1.メニュー一覧」を参照してください。

Check ユーザのパスワードはログイン後に『アカウント設定』で変更ができます。

## 6.2. ログアウト

FMP−03 のログアウト方法を以下に示します。

『ログアウト』を左クリックします。

# 6.3. UPSの情報表示

## 6.3.1. UPSの状況

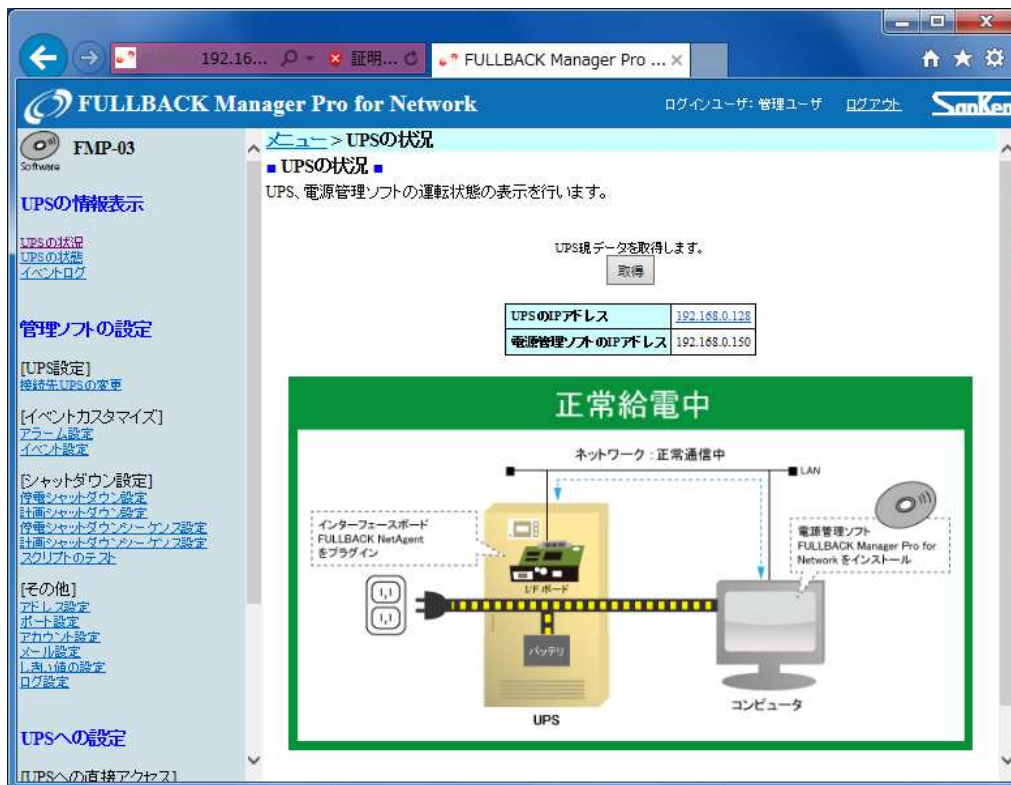
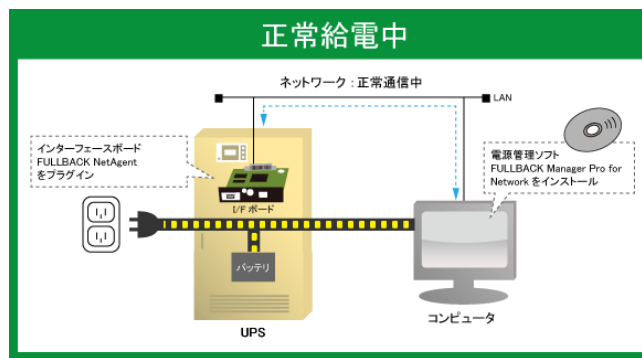
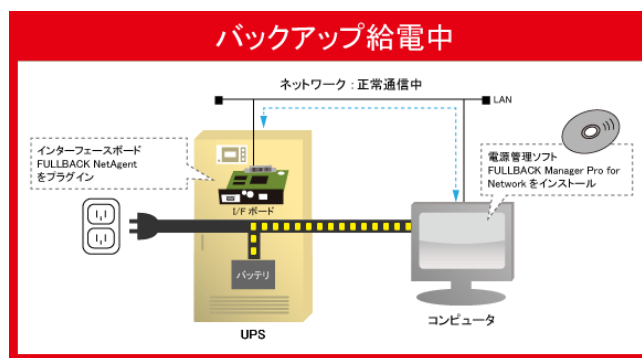
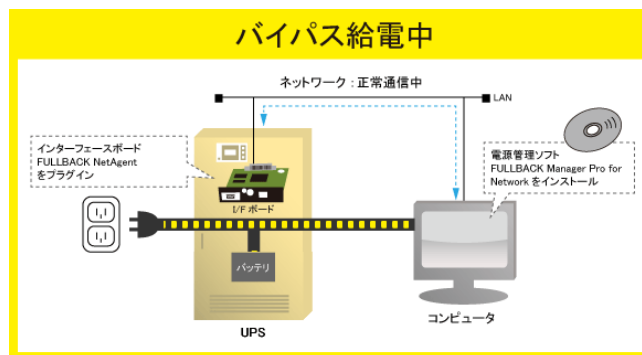
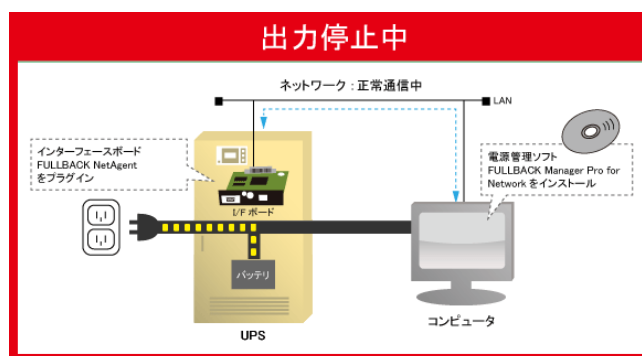
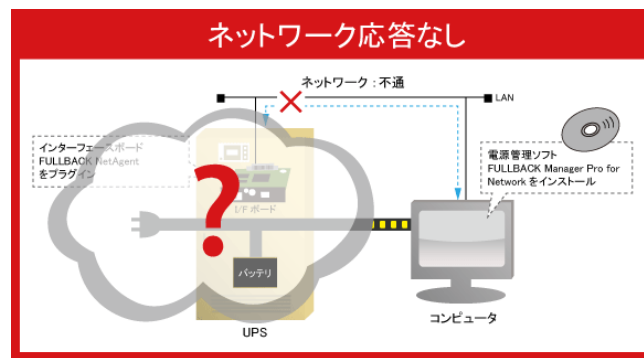
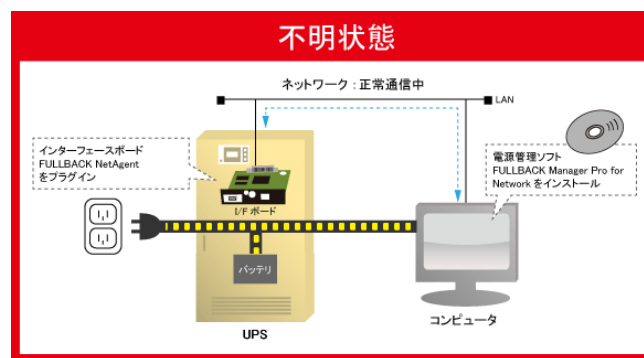
メインメニュー画面から[UPSの状況]を左クリックするとUPSの状況画面に切り替わります。

| メニュー | 説明 |
|---|---|
| 取得 | 状態が更新されます。 |

表 6-2 ボタン

Check

UPS の IP アドレスを左クリックすると WEB 接続ができます。

①正常給電時の表示

②バックアップ時の表示

③バイパス時の表示

④出力なし時の表示

⑤ネットワーク 切断時の表示

⑥不明時の表示

## 6.3.2. UPSの状態

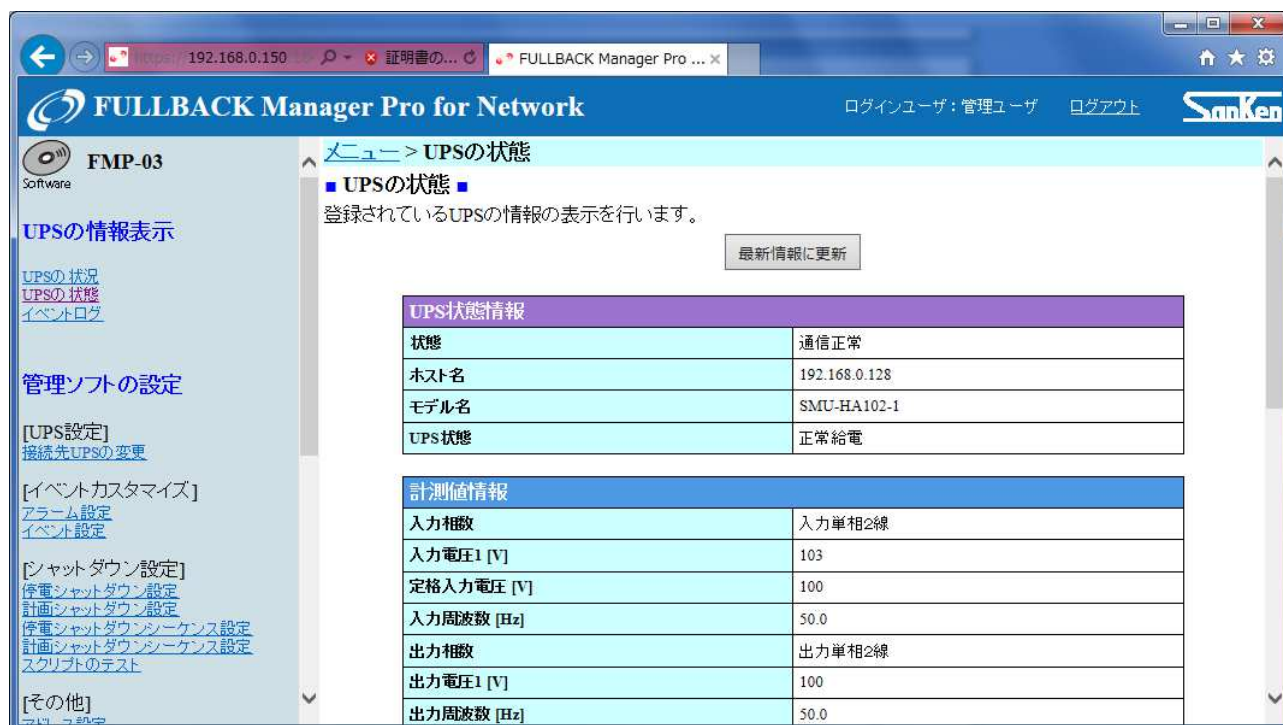
メインメニュー画面から[UPSの状態]を左クリックするとUPSの状態画面に切り替わります。

| メニュー | 説明 |
|---|---|
| 状態 | FMP-03 とUPS（インターフェースボード）の通信状態を表示します。 |
| ホスト名 | UPS（インターフェースボード）のIPアドレスを表示します。 |
| モデル名 | UPSのモデル名を表示します。 |
| UPS状態 | UPSの状態を表示します。 |

表 6-3 UPS状態情報メニュー

| メニュー | 説明 |
|---|---|
| インターフェースボードソフトバージョン | インターフェースボードのバージョンを表示します。 |
| UPSファームウェアバージョン | UPSファームウェアのバージョンを表示します。 |
| UPSシリアル番号 | UPSシリアル番号を表示します。 |

表 6-4 UPSバージョン情報メニュー

| メニュー | 説明 |
|---|---|
| 最新情報に更新 | 最新情報に更新されます。 |

表 6-5 ボタン

<table>
<tr><th>相数</th><th>入力側</th><th>出力側</th></tr>
<tr><td>単相2線</td><td>入力電圧 1:L-N 間<br>入力電圧 2:-<br>入力電圧 3:-</td><td>出力電圧 1:L-N 間<br>出力電圧 2:-<br>出力電圧 3:-<br><br>出力電流 1:L 相<br>出力電流 2:-<br>出力電流 3:-</td></tr>
<tr><td>単相3線</td><td>入力電圧 1:L1-N 間<br>入力電圧 2:L2-N 間<br>入力電圧 3:L1-L2 間</td><td>出力電圧 1:L1-N 間<br>出力電圧 2:L2-N 間<br>出力電圧 3:L1-L2 間<br><br>出力電流 1:L1 相<br>出力電流 2:L2 相<br>出力電流 3:-</td></tr>
<tr><td>3相3線</td><td>入力電圧 1:L1-L2 間<br>入力電圧 2:L2-L3 間<br>入力電圧 3:L3-L1 間</td><td>入力電圧 1:L1-L2 間<br>入力電圧 2:L2-L3 間<br>入力電圧 3:L3-L1 間<br><br>出力電流 1:L1 相<br>出力電流 2:L2 相<br>出力電流 3:L3 相</td></tr>
</table>

表 6-6 UPS相数別メニュー

## 6.3.3. イベントログ

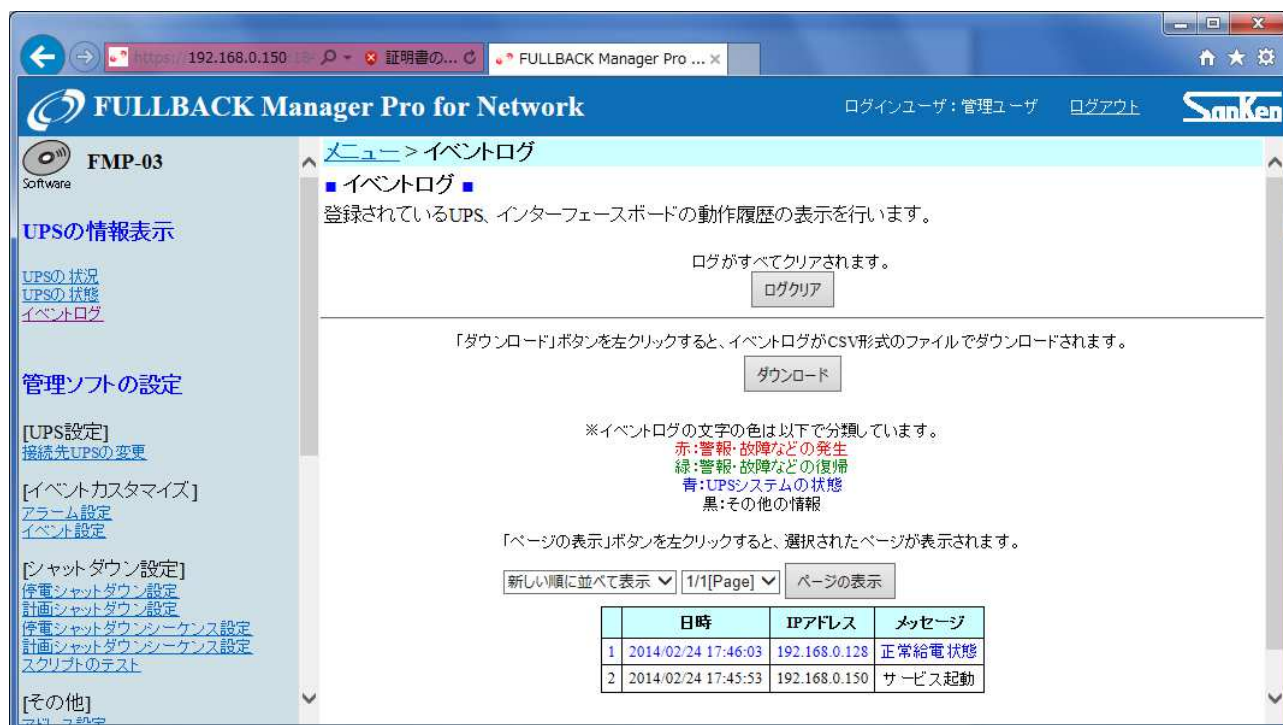
メインメニュー画面から[イベントログ]を左クリックするとイベントログ画面に切り替わります。

| メニュー | 説明 |
|---|---|
| ログクリア | イベントログがクリアされます。 |
| ダウンロード | イベントログをページ単位でファイルとしてダウンロードできます。 |
| ページの表示 | ページを選択後に表示を左クリックすると選択したページの内容が表示されます。 |

表 6-7 ボタン

**注意！**

一般ユーザ権限ではログのクリアはできません。ログをクリアする場合は管理者権限で再ログインしてください。

Check

[ダウンロード]メニューから取得したファイルは、
改行コードが Windows では CR+LF、Linux/AIX では LF になります。

# 6.4. 管理ソフトの設定

## 6.4.1. UPS登録

### 6.4.1.1. 接続先UPS（インターフェースボード）の変更

メインメニュー画面から[接続先UPS（インターフェース）の変更]を左クリックすると接続先UPSの変更画面に切り替わります。

| メニュー | | 表示値 | 説明 |
|---|---|---|---|
| タイプ | | FNA-03/13/23<br>FNA-03S/13S<br>FNA-03SV/13SV | 接続先のタイプを選択します。<br>FNA-03/13/23 は SNMPv1 で、<br>FNA-03S/13S/03SV/13SV は SNMPv3 で接続します。 |
| IPv4 アドレス | | – | インターフェースボードの IPv4 アドレスを入力します。 |
| ポート番号 | | 161 | 161 に設定してください。 |
| SNMPv1 | コミュニティ | – | コミュニティの入力をします。(public) |
| SNMPv3 | ユーザ名 | – | ユーザ名の入力をします。(username) |
| | 認証種別 | 未使用<br>MD5<br>SHA | 認証種別の選択をします。(SHA) |
| | 認証パスワード | – | 認証パスワードの入力をします。<br>(authpassword) |
| | 暗号化種別 | 未使用<br>DES<br>AES | 暗号化種別の選択をします。(AES) |
| | 暗号化パスワード | – | 暗号化パスワードの入力をします。(privpassword) |

表 6-8　メニュー

| メニュー | 説明 |
|---|---|
| 変更 | 接続先UPS設定の変更が反映されます。 |

表 6-9 ボタン

**注意！**

FNA-03S/13S/03SV/13SV が搭載されている UPS では SNMPv3 が使用できます。

**注意！**

設定後、FMP-03 は再起動します。しらばくお待ちください。

## 6.4.2. イベントのカスタマイズ

### 6.4.2.1. アラーム設定

メインメニュー画面から[アラーム設定]を左クリックするとアラーム設定画面に切り替わります。

| メニュー | | 表示値 | 説明 |
| --- | --- | --- | --- |
| 発生 | コマンド | 有効 | アラーム発生時のコマンドの有効か無効かを設定ができます。 |
| | | – | アラーム発生時のコマンドを設定ができます。コマンドは『テスト実行』ボタンによりテストができます。 |
| | | 対話型／バックグラウンド／任意ユーザ | コマンドを実行するユーザ権限を切換えます。詳しくは次ページの『Point』をご覧ください。 |
| | | ユーザ名 | コマンド実行するユーザ名を入力します。※任意ユーザ選択時のみ有効です。 |
| | | パスワード | コマンド実行するユーザのパスワードを入力します。※任意ユーザ選択時のみ有効です。 |
| | ポップアップ機能/コンソールへの出力有効／無効 | ポップアップ/コンソールへの出力 | アラーム発生時のポップアップ/コンソールへの出力機能を有効にするか無効にするか設定ができます。 |
| | メール有効／無効 | メール | アラーム発生時のメール送信機能を有効にするか無効にするか設定ができます。 |
| | 予備有効／無効 | 予備 | 予備に設けてあり、何も動作しません。 |
| 復帰 | コマンド | 有効 | アラーム復帰時のコマンドの有効か無効かを設定ができます。 |
| | | – | アラーム復帰時のコマンドを設定ができます。コマンドは『テスト実行』ボタンによりテストができます。 |
| | | 対話型／バックグラウンド／任意ユーザ | コマンドを実行するユーザ権限を切換えます。詳しくは次ページの『Point』をご覧ください。 |
| | | ユーザ名 | コマンド実行するユーザ名を入力します。※任意ユーザ選択時のみ有効です。 |
| | | パスワード | コマンド実行するユーザのパスワードを入力します。※任意ユーザ選択時のみ有効です。 |
| | ポップアップ機能/コンソールへの出力有効／無効 | ポップアップ/コンソールへの出力 | アラーム復帰時のポップアップ/コンソールへの出力機能を有効にするか無効にするか設定ができます。 |
| | メール有効／無効 | メール | アラーム復帰時のメール送信機能を有効にするか無効にするか設定ができます。 |
| | 予備有効／無効 | 予備 | 予備に設けてあり、何も動作しません。 |

表 6-10　イベントメニュー

| メニュー | 説明 |
| --- | --- |
| 設定 | 設定が反映されます。 |
| テスト実行 | 入力したコマンドのテストが行えます。 |

表 6-11　ボタン

**注意！**

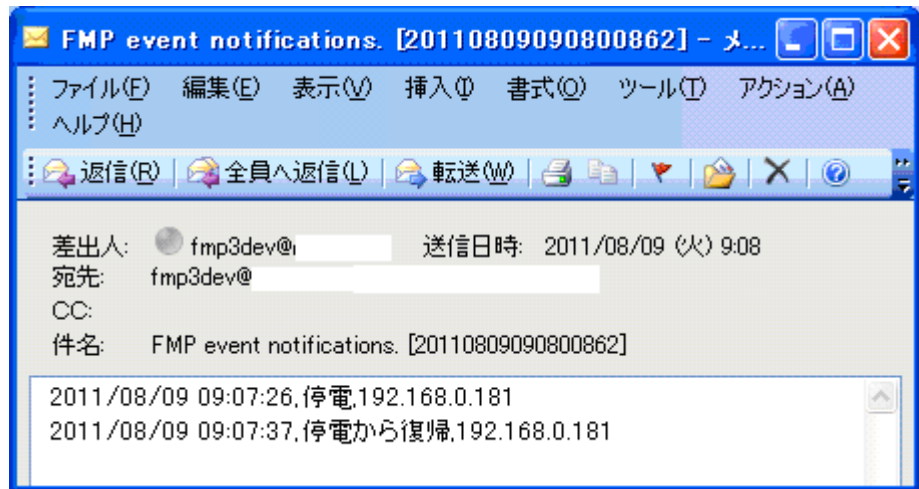
メール機能のチェックを入れる前にメールサーバの設定を行ってください。

コマンド実行において対話型／バックグラウンド／任意ユーザは以下の権限でコマンドが実行されます。
ただし、Windows Server 2003(R2)では対話型や任意ユーザに設定してもSYSTEM ユーザから実行されます。

| コマンド権限項目 | 権限 | |
|---|---|---|
| | Windows | Linux/AIX/VMware |
| 対話型 | ログインユーザ（ログオフ状態時：SYSTEM ユーザ） | root ユーザ |
| バックグラウンド | SYSTEM ユーザ | root ユーザ |
| 任意ユーザ | 任意ユーザ（認証失敗時：SYSTEM ユーザ） | 任意ユーザ（認証失敗時：root ユーザ） |

Point

Windows ではバックグラウンドでコマンドを実行した場合、SYSTEM ユーザから実行されます。
SYSTEM ユーザから外部コマンドを実行した場合、ユーザがログオンしているデスクトップに画面が表示されず、下記の画面が出力されることがあります。

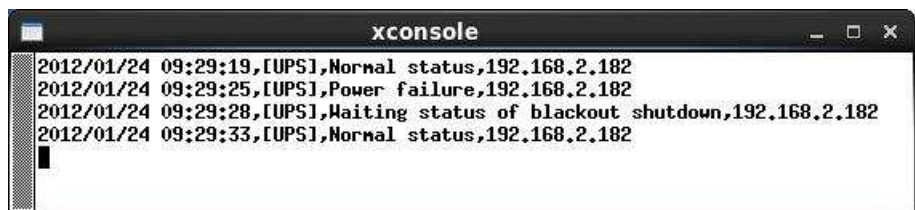
メール機能で発信すると以下のようなメールが
宛先メールアドレスに送信されます。

**注意！**

ユーザコマンドは絶対パス0～256[バイト]のダブルクォーテーションで囲って下さい。

ポップアップ/コンソールへの出力を有効にすると
以下のようなポップアップ(Windows)、コンソール（Linux/AIX/VMware）が FMP-03をインストールしたコンピュータに出力されます。
ポップアップは一定時間が経過すると自動で消去されます。

ポップアップ

コンソール

**注意！**

一般ユーザ権限では設定参照はできますが変更できません。設定を変更する場合は管理者権限で再ログインしてください。

**注意！**

アラーム設定とイベント設定のメールサーバの設定は同じ設定になります。

## 6.4.2.2. イベント設定

メインメニュー画面から[イベント設定]を左クリックするとイベント設定画面に切り替わります。

| メニュー | | 表示値 | 説明 |
|---|---|---|---|
| 発生 | コマンド | 有効 | イベント発生時のコマンドの有効か無効かを設定ができます。 |
| | | － | イベント発生時のコマンドを設定ができます。<br>コマンドは『テスト実行』ボタンによりテストができます。 |
| | | 対話型／<br>バックグラウンド／<br>任意ユーザ | コマンドを実行するユーザ権限を切換えます。<br>詳しくは次ページの『Point』をご覧ください。 |
| | | ユーザ名 | コマンド実行するユーザ名を入力します。<br>※任意ユーザ選択時のみ有効です。 |
| | | パスワード | コマンド実行するユーザのパスワードを入力します。<br>※任意ユーザ選択時のみ有効です。 |
| | ポップアップ機能/コンソールへの出力<br>有効／無効 | ポップアップ/コンソールへの出力 | イベント発生時のポップアップ/コンソールへの出力機能を有効にするか無効にするか設定ができます。 |
| | メール<br>有効／無効 | メール | イベント発生時のメール送信機能を有効にするか無効にするか設定ができます。 |
| | 予備<br>有効／無効 | 予備 | 予備に設けてあり、何も動作しません。 |

表 6-12　イベントメニュー

| メニュー | 説明 |
|---|---|
| 設定 | 設定が反映されます。 |
| テスト実行 | 入力したコマンドのテストが行えます。 |
| 戻る | メニューへ戻ります。 |

表 6-13　ボタン

コマンド実行において対話型／バックグラウンド／任意ユーザは以下の権限でコマンドが実行されます。
ただし、Windows Server 2003(R2)では対話型や任意ユーザに設定してもSYSTEM ユーザから実行されます。

| コマンド権限項目 | 権限 | |
|---|---|---|
| | Windows | Linux/AIX/VMware |
| 対話型 | ログインユーザ（ログオフ状態時：SYSTEM ユーザ） | root ユーザ |
| バックグラウンド | SYSTEM ユーザ | root ユーザ |
| 任意ユーザ | 任意ユーザ（認証失敗時：SYSTEM ユーザ） | 任意ユーザ（認証失敗時：root ユーザ） |

Windows ではバックグラウンドでコマンドを実行した場合、SYSTEM ユーザから実行されます。
SYSTEM ユーザから外部コマンドを実行した場合、ユーザがログオンしているデスクトップに画面が表示されず、下記の画面が出力されることがあります。

画面を表示するユーザコマンドを登録した場合、画面は表示されませんが、バックグランドで実行されます。

Check

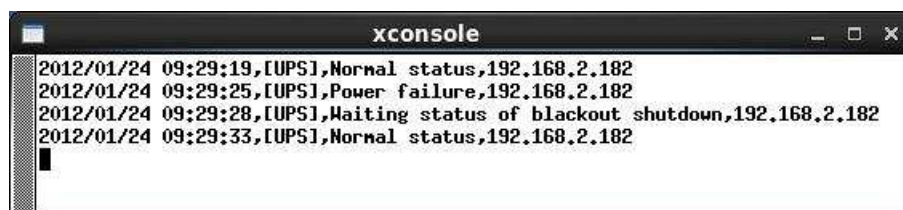
メール機能で発信すると以下のようなメールが
宛先メールアドレスに送信されます。

**注意！**

ユーザコマンドは絶対パス0～256[バイト]のダブルクォーテーションで囲って下さい。

ポップアップ/コンソールへの出力を有効にすると
以下のようなポップアップ(Windows)、コンソール（Linux/AIX/VMware）が FMP-03をインストールしたコンピュータに出力されます。
ポップアップは一定時間が経過すると自動で消去されます。

ポップアップ

コンソール

**注意！**

VMware ESXi のシャットダウンが実行されない場合は、イベント設定画面の番号 8(OS シャットダウン実行状態)を確認してください。
FMP-03 のインストール時に設定した「ESXi ホストの IP アドレス」、「ESXi ホストの root パスワード」、「vMA の vi-admin パスワード」はイベント設定画面の番号 8(OS シャットダウン実行状態)に設定されています。設定値を変更する場合は下図の下線の項目を変更してください。

”インストールパス/stopESXi.sh ESXi ホスト IP root ESXi ホストの root パスワード”

| 8 | OSシャットダウン実行状態<br>OsShutdownStatus | ☑有効 "/usr/fmpn/stopESXi.sh 192.168.2.24 root password" テスト実行<br>○ 対話型（Windowsの場合は画面表示されます）<br>○ バックグラウンド<br>◉ 任意ユーザ（ユーザ名 vi-admin パスワード ●●●●●●●●●●） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | ☑ログ | ☐ポップアップ/コンソールへの出力 | ☐メール | ☐予備 |

vMA の vi-admin ユーザのパスワード

## 6.4.3. シャットダウン設定

### 6.4.3.1. 停電シャットダウン設定

メインメニュー画面から[停電シャットダウン設定]を左クリックすると停電シャットダウン設定画面に切り替わります。

| メニュー | 表示値 | 説明 |
|---|---|---|
| 停電ユーザコマンド実行時間 | － | 停電ユーザコマンド、停電シャットダウンシーケンスの実行時間を設定します。 |
| 停電ユーザコマンド（有効／無効） | 有効 | 停電ユーザコマンドの有効／無効を設定します。 |
| 停電ユーザコマンド | － | 停電ユーザコマンドを設定します。 |
| 対話型／バックグラウンド／任意ユーザ | バックグラウンド | コマンドを実行するユーザ権限を切換えます。詳しくは次ページの『Point』をご覧ください。 |
| ユーザ名 | － | コマンド実行するユーザ名を入力します。※任意ユーザ選択時のみ有効です。 |
| パスワード | － | コマンド実行するユーザのパスワードを入力します。※任意ユーザ選択時のみ有効です。 |
| オートリスタート（有効／無効） | 有効 | オートリスタートの有効／無効を設定します。 |

表 6-14 メニュー

| メニュー | 説明 |
|---|---|
| UPS データの取得 | UPS データが更新されます。 |
| テスト実行 | コマンドをテスト実行します。 |
| 設定 | 設定が反映されます。 |

表 6-15 ボタン

**注意！**

停電ユーザコマンドはアラーム設定画面の停電シャットダウン開始と同一の設定です。

**注意！**

一般ユーザ権限では設定参照はできますが変更できません。設定を変更する場合は管理者権限で再ログインしてください。

**注意！**

停電ユーザコマンドは絶対パス0～256[バイト]のダブルクォーテーションで囲って下さい。

**注意！**

オートリスタートの設定は UPS(インターフェースボード)に保存されています。同じ UPS(インターフェースボード)に接続している FMP-03 では共通の設定になります。

コマンド実行において対話型／バックグラウンド／任意ユーザは以下の権限でコマンドが実行されます。
ただし、Windows Server 2003(R2)ではバックグラウンドのみとなります。
（Windows Server 2003(R2)では対話型や任意ユーザに設定してもバックグラウンドとして実行されます。）

| コマンド権限項目 | 権限 | |
|---|---|---|
| | Windows | Linux/AIX/VMware |
| 対話型 | ログインユーザ<br>（ログオフ状態時：SYSTEM ユーザ） | root ユーザ |
| バックグラウンド | SYSTEM ユーザ | root ユーザ |
| 任意ユーザ | 任意ユーザ<br>（認証失敗時：SYSTEM ユーザ） | 任意ユーザ<br>（認証失敗時：root ユーザ） |

Windows ではバックグラウンドでコマンドを実行した場合、SYSTEM ユーザから実行されます。
SYSTEM ユーザから外部コマンドを実行した場合、ユーザがログオンしているデスクトップに画面が表示されず、下記の画面が出力されることがあります。

### 6.4.3.2. 計画シャットダウン設定

メインメニュー画面から[計画シャットダウン設定]を左クリックすると計画シャットダウン設定画面に切り替わります。

| メニュー | 表示値 | 説明 |
|---|---|---|
| 計画ユーザコマンド実行時間 | − | 計画ユーザコマンド、計画シャットダウンシーケンスの実行時間を設定します。 |
| 計画ユーザコマンド（有効／無効） | 有効 | 計画ユーザコマンドの有効／無効を設定します。 |
| 計画ユーザコマンド | − | 計画ユーザコマンドを設定します。 |
| 対話型／バックグラウンド／任意ユーザ | バックグラウンド | コマンドを実行するユーザ権限を切換えます。詳しくは次ページの『Point』をご覧ください。 |
| ユーザ名 | − | コマンド実行するユーザ名を入力します。※任意ユーザ選択時のみ有効です。 |
| パスワード | − | コマンド実行するユーザのパスワードを入力します。※任意ユーザ選択時のみ有効です。 |

表 6-16　メニュー

| メニュー | 説明 |
|---|---|
| UPS データの取得 | UPS データが更新されます。 |
| テスト実行 | コマンドをテスト実行します。 |
| 設定 | 設定が反映されます。 |

表 6-17　ボタン

**注意！**

計画ユーザコマンドはアラーム設定画面の計画シャットダウン開始と同一の設定です。

**注意！**

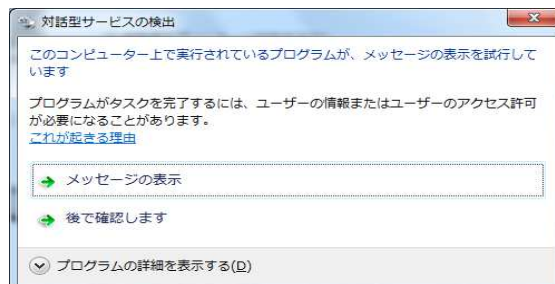
一般ユーザ権限では設定参照はできますが変更できません。設定を変更する場合は管理者権限で再ログインしてください。

**注意！**

計画ユーザコマンドは絶対パス0～256[バイト]のダブルクォーテーションで囲って下さい。

コマンド実行において対話型／バックグラウンド／任意ユーザは以下の権限でコマンドが実行されます。
ただし、Windows Server 2003(R2)ではバックグラウンドのみとなります。
(Windows Server 2003(R2)では対話型や任意ユーザに設定してもバックグラウンドとして実行されます。)

| コマンド権限項目 | 権限 | |
|---|---|---|
| | Windows | Linux/AIX/VMware |
| 対話型 | ログインユーザ<br>(ログオフユーザ時:<br>SYSTEM ユーザ) | root |
| バックグラウンド | SYSTEM ユーザ | root |
| 任意ユーザ | 任意ユーザ<br>(認証失敗時:<br>SYSTEM ユーザ) | 任意ユーザ<br>(認証失敗時:<br>root ユーザ) |

Windows ではバックグラウンドでコマンドを実行した場合、
SYSTEM ユーザから実行されます。
SYSTEM ユーザから外部コマンドを実行した場合、ユーザがログオンしているデスクトップに画面が表示されず、下記の画面が出力されることがあります。

### 6.4.3.3. 停電シャットダウンシーケンス設定

メインメニュー画面から[停電シャットダウンシーケンス設定]を左クリックすると停電シャットダウンシーケンス設定画面に切り替わります。

**停電シャットダウンシーケンス設定**

| メニュー | 表示値 | 説明 |
|---|---|---|
| 有効／無効 | 有効 | 停電シャットダウンシーケンスを実行するかの有／無を選択します。 |
| IP アドレス | － | 停電シャットダウンシーケンスを実行する IPv4 アドレスを入力します。 |
| シャットダウン開始遅延時間 | 0～800[秒] | スクリプト実行を開始する時間を遅らせ、コンピュータのシャットダウンタイミングを調整することができます。 |
| シャットダウンコマンド | スクリプト | UNIX／Linux マシンをシャットダウンするためのコマンドシーケンスを登録します。<br>スクリプトをクリックすると設定用の画面に移動します。 |
| 計画シャットダウンシーケンスから停電シャットダウンシーケンスへスクリプトをコピー | コピー | 計画シャットダウンシーケンスから停電シャットダウンシーケンスへスクリプトのコピーを行います。 |

表 6-18　メニュー

| メニュー | 説明 |
|---|---|
| 設定 | 設定が反映されます。 |

表 6-19　ボタン

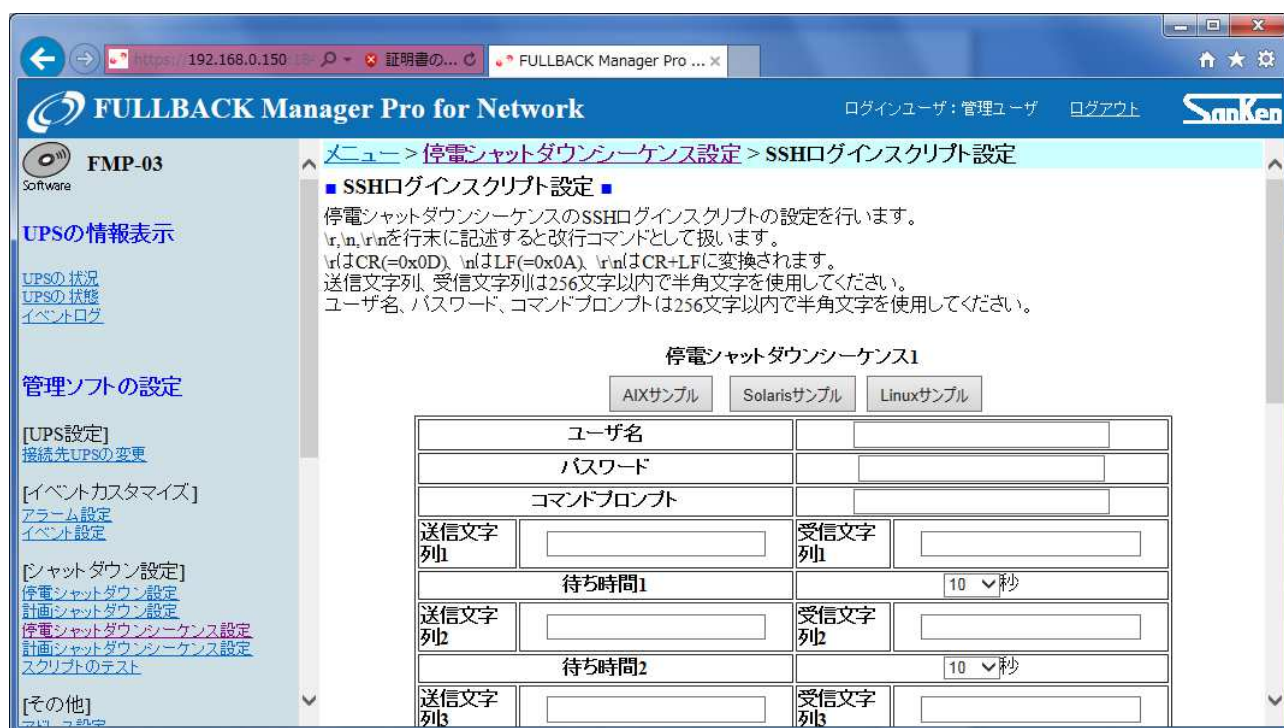
## SSH ログインスクリプト設定

| メニュー | 表示値 | 説明 |
|---|---|---|
| ユーザ名 | – | サーバにログインするためのユーザ名を入力します。 |
| パスワード | – | サーバにログインするためのパスワードを入力します。 |
| コマンドプロンプト | – | サーバにログイン後、出力されるコマンドプロンプトを入力します |
| 送信文字列　1～10 | – | FMP-03 からサーバに送信する文字列を設定します。 |
| 受信文字列　1～10 | – | サーバから FMP-03 に送信する文字列を設定します。 |
| 待ち時間　1～10 | 0～800[秒] | サーバから FMP-03 へ文字列が送信されてくるまでの待ち時間を設定します。 |

表 6-20　メニュー

| メニュー | 説明 |
|---|---|
| AIX サンプル | AIX をシャットダウンするスクリプトの設定サンプルを呼び出すことが出来ます。 |
| Solaris サンプル | Solaris をシャットダウンするスクリプトの設定サンプルを呼び出すことが出来ます。 |
| Linux サンプル | Linux をシャットダウンするスクリプトの設定サンプルを呼び出すことが出来ます。 |
| 設定 | 設定が反映されます。 |

表 6-21　ボタン

**注意！**

停電シャットダウンシーケンスの実行に要する時間を[停電シャットダウン設定]の停電ユーザコマンド実行時間に設定します。
停電ユーザコマンド実行時間に処理に要する時間を設定しない場合、正常に停電シャットダウンシーケンスが実行されない場合があります。

Check

送信文字列の行末に¥r,¥n,¥r¥n を記述すると改行コマンドとして扱います。

Point

シャットダウンコマンド（shutdown -F 等）に対するサーバの応答がない場合は、受信文字列を省略します。

### 6.4.3.4. 計画シャットダウンシーケンス設定

メインメニュー画面から[計画シャットダウンシーケンス設定]を左クリックすると計画シャットダウンシーケンス設定画面に切り替わります。

**計画シャットダウンシーケンス設定**

| メニュー | 表示値 | 説明 |
|---|---|---|
| 有効／無効 | 有効 | 計画シャットダウンシーケンスを実行するかの有／無を選択します。 |
| IP アドレス | − | 計画シャットダウンシーケンスを実行する IPv4 アドレスを入力します。 |
| シャットダウン開始遅延時間 | 0～800[秒] | スクリプト実行を開始する時間を遅らせ、コンピュータのシャットダウンタイミングを調整することができます。 |
| シャットダウンコマンド | スクリプト | UNIX／Linux マシンをシャットダウンするためのコマンドシーケンスを登録します。<br>スクリプトをクリックすると設定用の画面に移動します。 |
| 停電シャットダウンシーケンスから計画シャットダウンシーケンスへスクリプトをコピー | コピー | 停電シャットダウンシーケンスから計画シャットダウンシーケンスへスクリプトのコピーを行います。 |

表 6-22 メニュー

| メニュー | 説明 |
|---|---|
| 設定 | 設定が反映されます。 |

表 6-23 ボタン

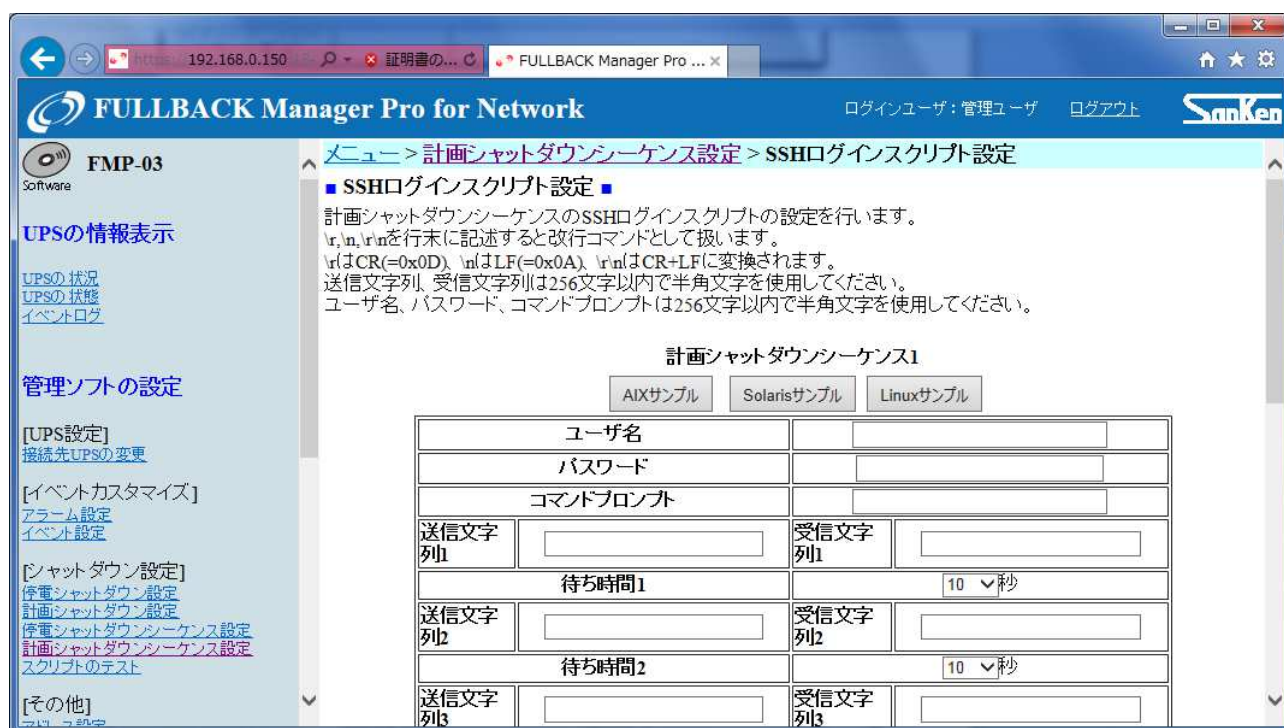
SSH ログインスクリプト設定

| メニュー | 表示値 | 説明 |
|---|---|---|
| ユーザ名 | － | コンピュータにログインするためのユーザ名を入力します。 |
| パスワード | － | コンピュータにログインするためのパスワードを入力します。 |
| コマンドプロンプト | － | コンピュータにログイン後、出力されるコマンドプロンプトを入力します |
| 送信文字列　1～10 | － | FMP-03 からコンピュータに送信する文字列を設定します。 |
| 受信文字列　1～10 | － | コンピュータから FMP-03 に送信する文字列を設定します。 |
| 待ち時間　　1～10 | 0～800[秒] | コンピュータから FMP-03 へ文字列が送信されてくるまでの待ち時間を設定します。 |

表 6-24　メニュー

| メニュー | 説明 |
|---|---|
| AIX サンプル | AIX をシャットダウンするスクリプトの設定サンプルを呼び出すことが出来ます。 |
| Solaris サンプル | Solaris をシャットダウンするスクリプトの設定サンプルを呼び出すことが出来ます。 |
| Linux サンプル | Linux をシャットダウンするスクリプトの設定サンプルを呼び出すことが出来ます。 |
| 設定 | 設定が反映されます。 |

表 6-25　ボタン

計画シャットダウンシーケンスの実行に要する時間を[計画シャットダウン設定]の計画ユーザコマンド実行時間に設定します。
計画ユーザコマンド実行時間に処理に要する時間を設定しない場合、
正常に計画シャットダウンシーケンスが実行されない場合があります。

送信文字列の行末に¥r,¥n,¥r¥n を記述すると改行コマンドとして扱います。

シャットダウンコマンド(shutdown -F 等)に対するサーバの応答がない場合は、受信文字列を省略します。

### 6.4.3.5. スクリプトのテスト

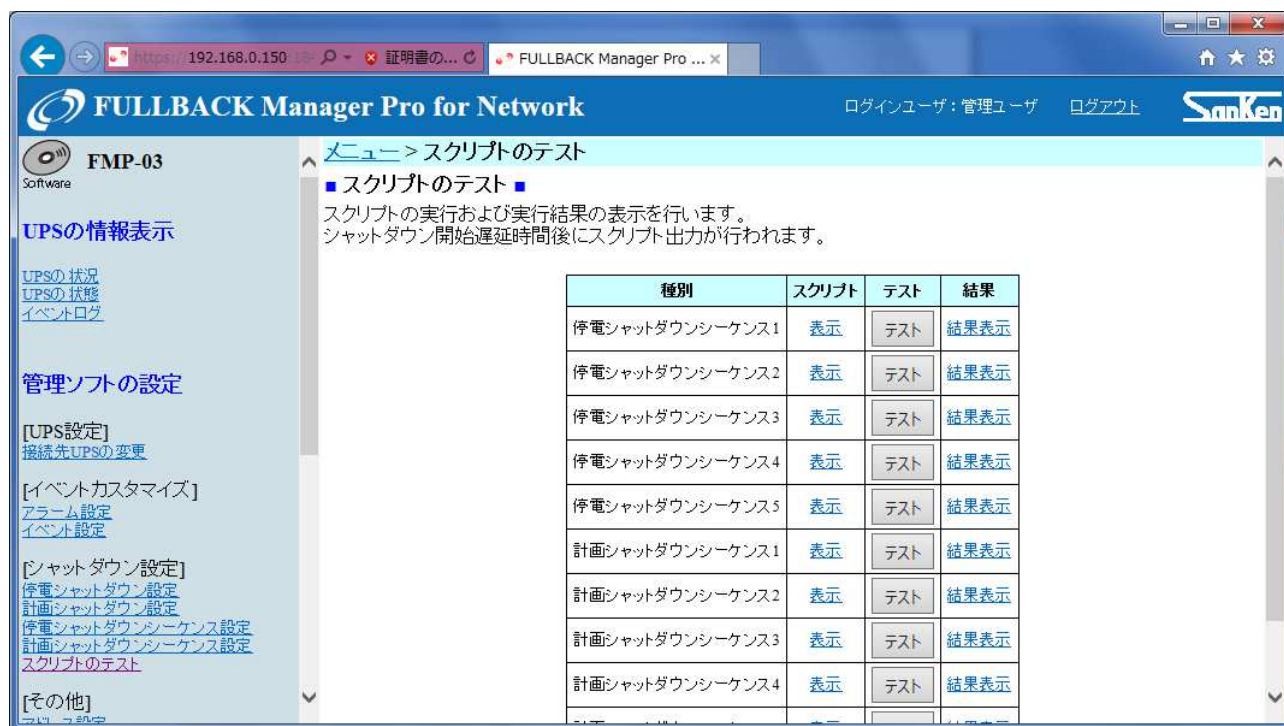
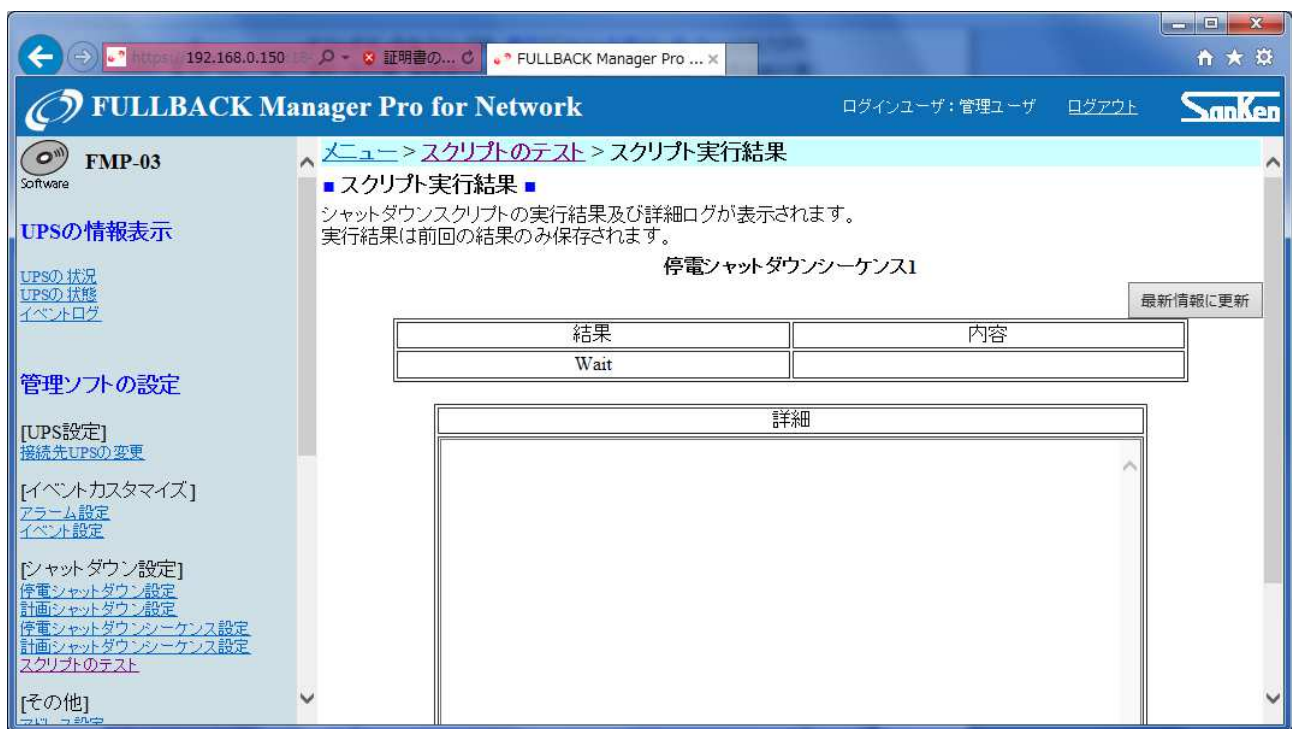
メインメニュー画面から[スクリプトのテスト]をマウスで左クリックするとスクリプトのテスト画面に切り替わります。

| メニュー | 表示値 | 説明 |
|---|---|---|
| スクリプト | 表示 | 停電／停電シャットダウンシーケンスの SSH ログインスクリプト設定画面に切り替わります。 |
| 結果 | 表示結果 | 停電／計画シャットダウンシーケンスの実行結果画面が表示されます。(テスト実行した結果も表示されます。) |

表 6-26　メニュー

| メニュー | 説明 |
|---|---|
| テスト | 停電／計画シャットダウンシーケンスがテスト実行されます。 |

表 6-27　ボタン

テストボタンを左クリック後、青字で「テストを実行しました。」と出力されます。その後、結果表示を左クリックするとスクリプト実行結果画面が表示されます。

実行結果の表示は下記になります。

| 表示 | 説明 |
|---|---|
| Execution success | スクリプト成功です。 |
| Error Retry over | リトライ回数 4 回を行って失敗しています。 |
| Error Connect Close | コネクションが切断されています。 |

表 6-28 実行結果

内容の表示は下記になります。

| 表示 | 説明 |
|---|---|
| connect Error | サーバとの接続エラーです。 |
| ***Retry Over NoX Send Data | X 番目のスクリプト送受信にて失敗しています。 |

表 6-29 内容

## 6.4.4. その他

### 6.4.4.1. アドレス設定

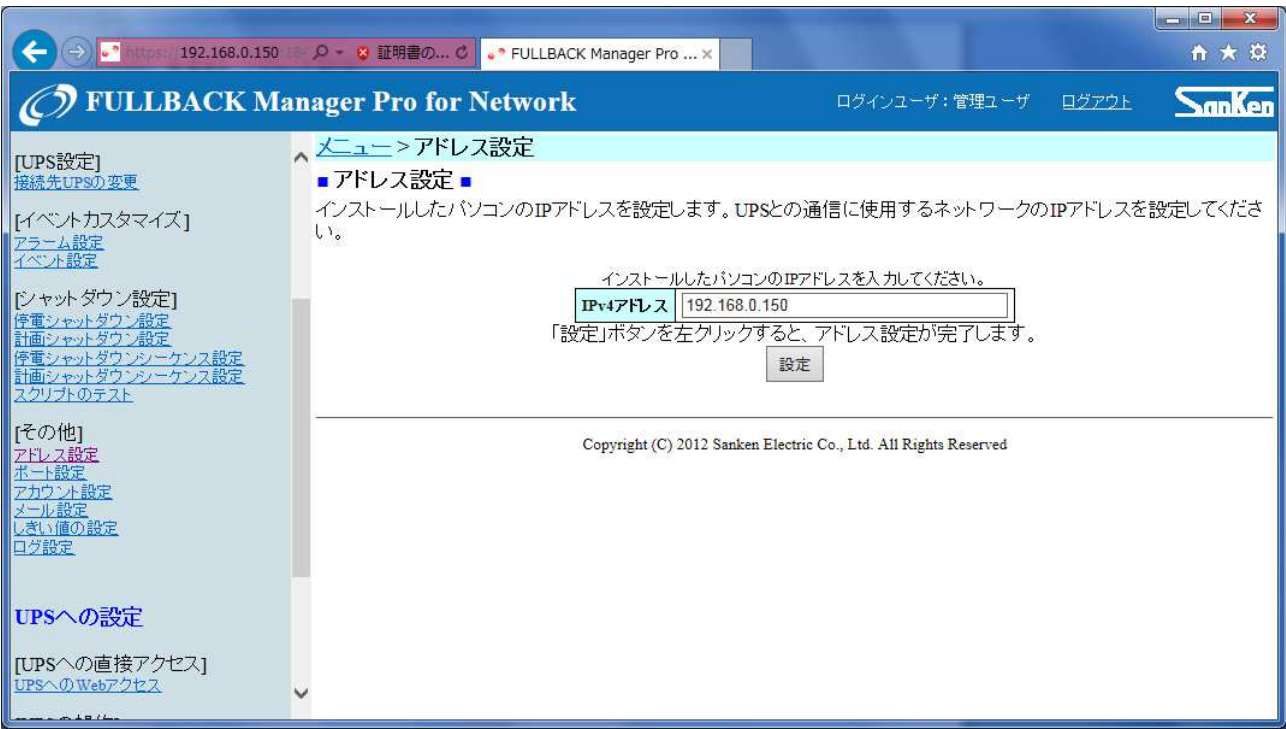
メインメニュー画面から[アドレス設定]をマウスで左クリックするとアドレス設定画面に切り替わります。

| メニュー | 表示値 | 説明 |
|---|---|---|
| IPv4 アドレス | − | IPv4 アドレスを入力します。 |

表 6-30 メニュー

| メニュー | 説明 |
|---|---|
| 設定 | 設定が反映されます。 |

表 6-31 ボタン

### 6.4.4.2. ポート設定

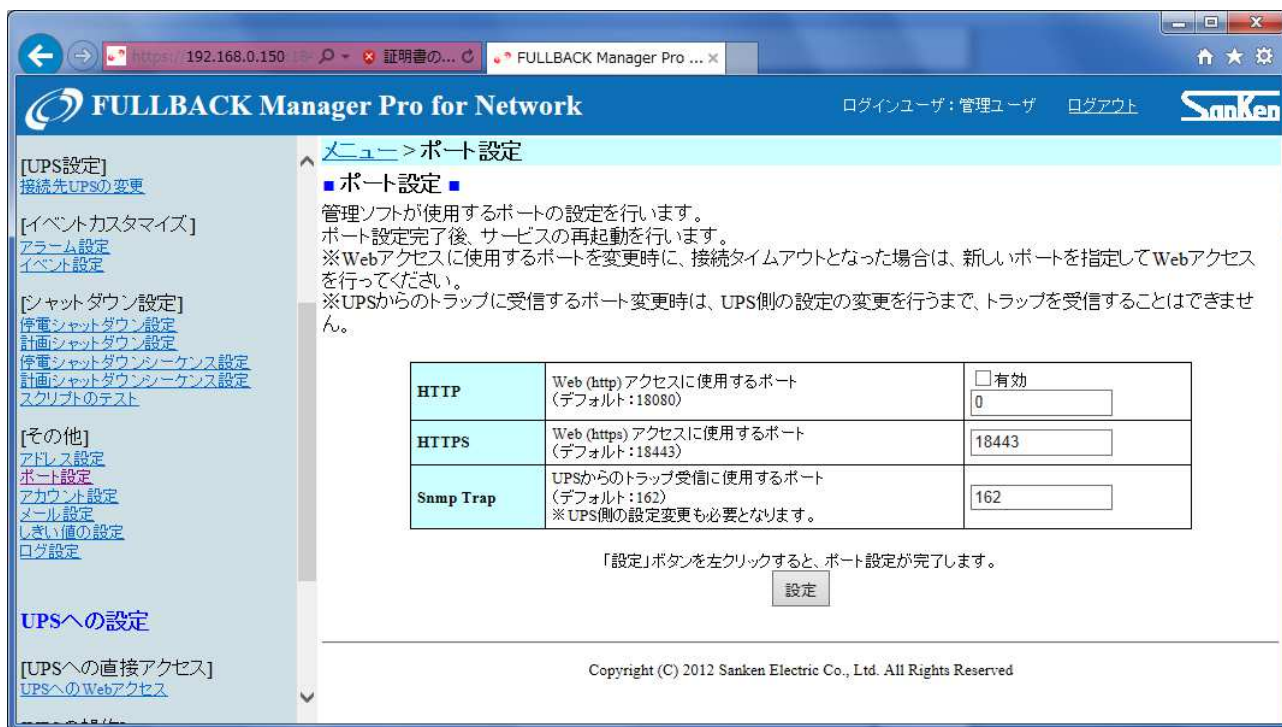
メインメニュー画面から[ポート設定]を左クリックするとポート設定画面に切り替わります。

| メニュー | 説明 |
|---|---|
| HTTP | Web(http)アクセスに使用するポートを設定します。 |
| HTTPS | Web(https)アクセスに使用するポートを設定します。 |
| Snmp Trap | UPS からのトラップ受信に使用するポートを設定します。 |

表 6-32 メニュー

| メニュー | 説明 |
|---|---|
| 設定 | 設定が反映されます。 |

表 6-33 ボタン

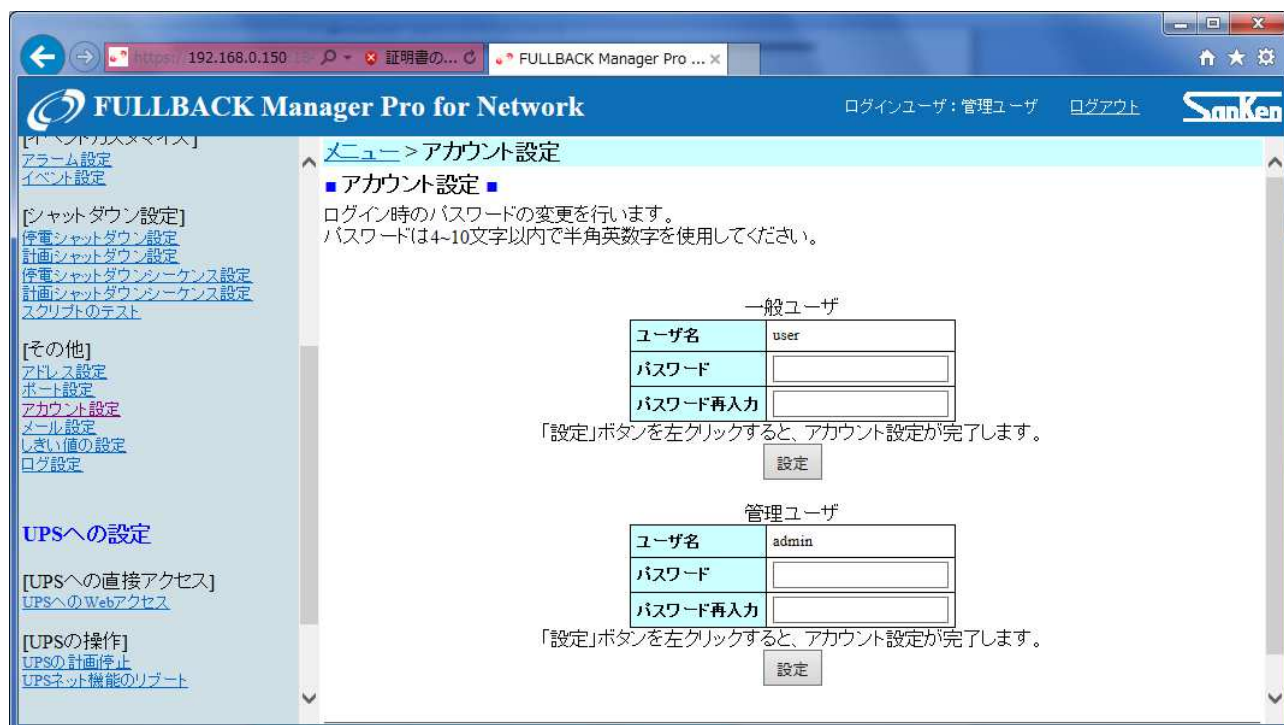
**注意！**

Web アクセスに使用するポートを変更時、新しいポートでアクセスできない場合はタスクトレイからサービスの再起動をお願いします。

**注意！**

UPS のアラーム監視で使用する SNMP Trap ポート番号は、インターフェースボードタイプ FNA-03S/13S/03SV/13SV の場合、変更可能です。
その際、FNA-03S/13S/03SV/13SV 側も変更する必要があります。
詳しくはインターフェースボードのユーザーズマニュアルをご覧ください。
FNA-03/13/23 の場合、SNMP Trap ポート番号を変更するとUPS アラーム監視機能が使用できなくなります。

### 6.4.4.3. アカウント設定

メインメニュー画面から[アカウント設定]を左クリックするとアカウント設定画面に切り替わります。

①一般ユーザ

| メニュー | 説明 |
|---|---|
| パスワード | 一般ユーザのパスワードを設定します。 |
| パスワード再入力 | 一般ユーザのパスワードを再入力します。 |

表 6-34 メニュー

②管理ユーザ

| メニュー | 説明 |
|---|---|
| パスワード | 管理ユーザのパスワードを設定します。 |
| パスワード再入力 | 管理ユーザのパスワードを再入力します。 |

表 6-35 メニュー

| メニュー | 説明 |
|---|---|
| 設定 | 設定が反映されます。 |

表 6-36 ボタン

### 6.4.4.4. メール設定

メインメニュー画面から[メール設定]を左クリックするとメール設定画面に切り替わります。
メール設定はアラーム設定とイベント設定で設定した、メール機能の使用するために設定を行います。

| メニュー | | 表示値 | 説明 |
|---|---|---|---|
| メールサーバ | | － | メールサーバのアドレスを入力してください。 |
| ポート | | 25<br>465<br>587 | 送信メールサーバのポート番号を選択してください。 |
| 暗号化 | | 未使用<br>SSL/TLS<br>Start TLS | 暗号化を選択してください。 |
| 認証 | 有効／無効 | 有効 | SMTP 認証を有効にするか無効にするかを選択してください。 |
| | ユーザ名 | － | SMTP 認証のユーザ名を入力してください。 |
| | パスワード | － | SMTP 認証のパスワードを入力してください。 |
| 差出人名 | | － | 差出人名を入力してください。 |
| 差出人メールアドレス | | － | 差出人メールアドレスを入力してください。 |
| 宛先メールアドレス1 | | － | 宛先メールアドレス 1 を入力してください。 |
| 宛先メールアドレス2 | | － | 宛先メールアドレス 2 を入力してください。 |
| 宛先メールアドレス3 | | － | 宛先メールアドレス 3 を入力してください。 |

表 6-37 メニュー

| メニュー | 説明 |
|---|---|
| テスト | FMP-03 からテストメールを送信します。 |
| 設定 | 設定が反映されます。 |

表 6-38 ボタン

### 6.4.4.5. しきい値の設定

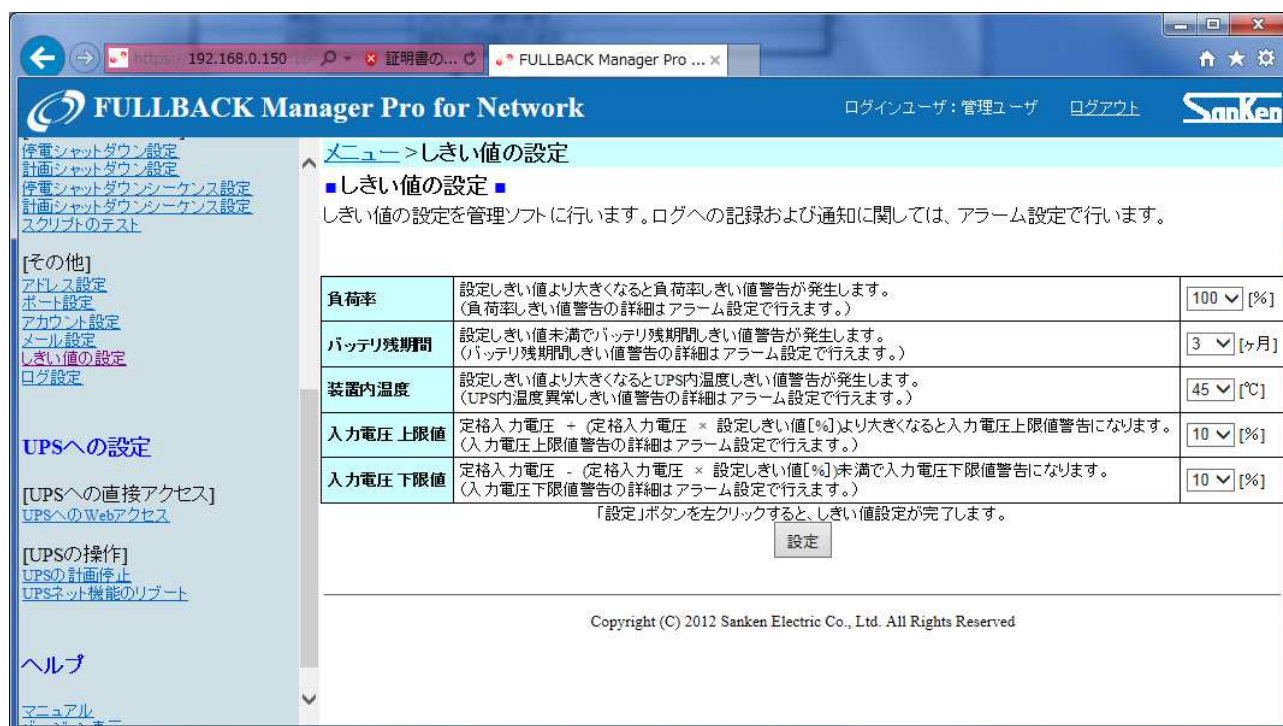
メインメニュー画面から[しきい値の設定]を左クリックするとしきい値の設定画面に切り替わります。

| メニュー | 範囲 | 説明 |
|---|---|---|
| 負荷率 | 10～100[%] | 設定しきい値より大きい場合、負荷率しきい値警告が発生します。(負荷率しきい値警告の詳細はアラーム設定で行ってください。) |
| バッテリ残期間 | 3～10[ヶ月] | 設定しきい値未満の場合、バッテリ残期間しきい値警告のが発生します。(バッテリ残期間しきい値警告の詳細はアラーム設定で行ってください。) |
| 装置内温度 | 25～50[℃] | 設定しきい値より大きい場合、UPS内温度しきい値警告が発生します。(UPS内温度しきい値警告の詳細はアラーム設定で行ってください。) |
| 入力電圧　上限値 | 10～55[%] | 定格入力電圧　＋（定格入力電圧　×　設定しきい値[%])より大きくなると入力電圧上限値警告になります。<br>(入力電圧上限値警告の詳細はアラーム設定で行えます。) |
| 入力電圧　下限値 | 10～55[%] | 定格入力電圧　－（定格入力電圧　×　設定しきい値[%])未満で入力電圧下限値警告になります。<br>(入力電圧下限値警告の詳細はアラーム設定で行えます。) |

表 6-39　メニュー

| メニュー | 説明 |
|---|---|
| 設定 | 設定が反映されます。 |

表 6-40　ボタン

**注意！**

しきい値の設定はヒステリシス値を設けております。

※ヒステリシス説明

しきい値ではヒステリシス値を設けております。

ヒステリシス値としきい値の関係を以下に示します。

| メニュー | ヒステリシス値（警告復帰値） |
|---|---|
| 負荷率 | しきい値から 5[%]減少したとき |
| 装置内温度 | しきい値から 1[℃]減少したとき |
| 入力電圧　上限値 | 入力電圧上限値−5[V]より小さくなったとき |
| 入力電圧　下限値 | 入力電圧下限値+5[V]より大きくなったとき |

表 6-41 ヒステリシス値

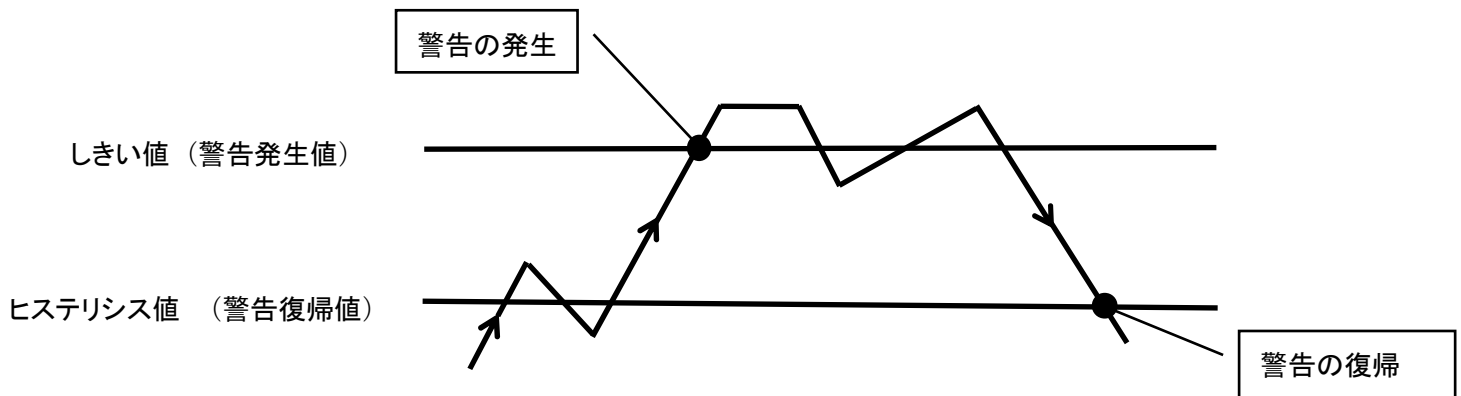



図 6-1 しきい値とヒステリシス値の説明

**注意！**

一般ユーザ権限では設定参照はできますが変更できません。設定を変更する場合は管理者権限で再ログインしてください。

### 6.4.4.6. ログ設定

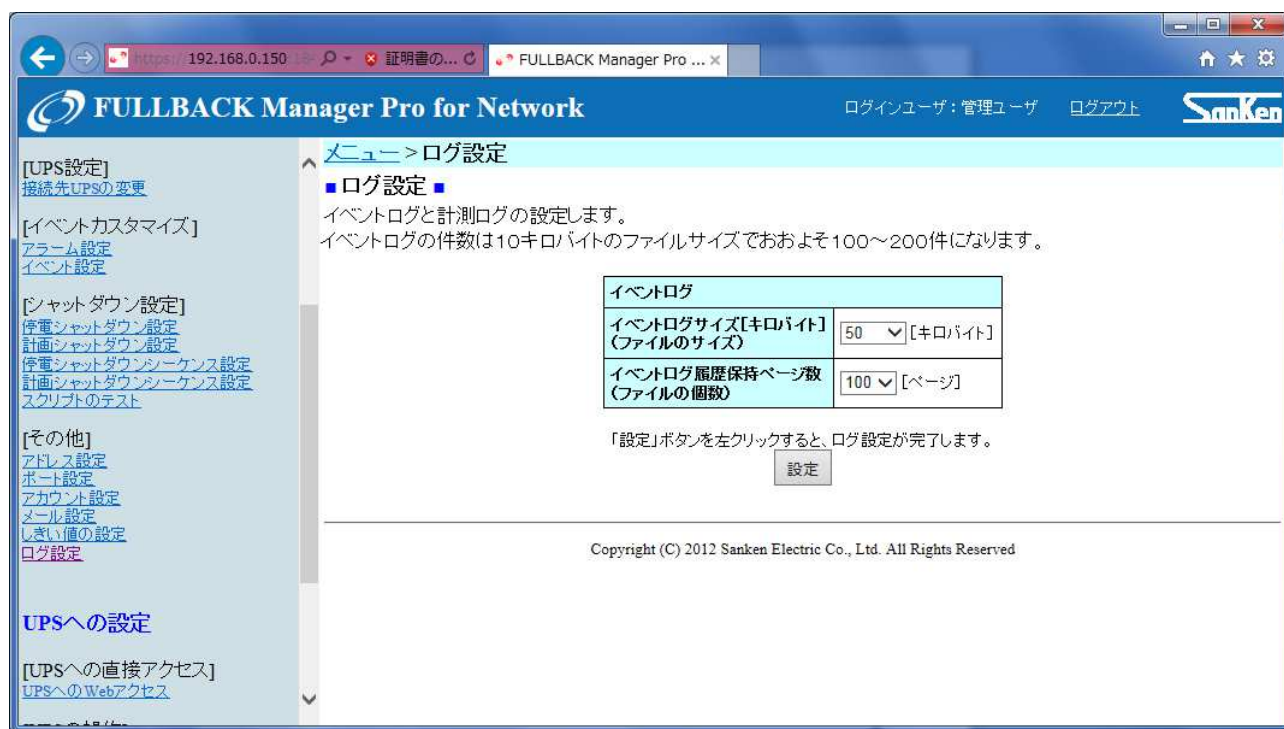
メインメニュー画面から[ログ設定]を左クリックするとログ設定画面に切り替わります。

| メニュー | 範囲 | 初期値 | 説明 |
|---|---|---|---|
| イベントログサイズ | 10～1000<br>[キロバイト] | 50[キロバイト] | イベントログサイズを設定します。 |
| イベントログ履歴保持ページ数<br>（ファイルの個数） | 100～<br>999[件] | 100[件] | イベントログ履歴保持数を設定します。 |

表 6-42　メニュー

| メニュー | 説明 |
|---|---|
| 設定 | 設定が反映されます。 |

表 6-43　ボタン

**注意！**　イベントログサイズは、イベントログの1ページ毎の件数も変更されます。

**注意！**　一般ユーザ権限では設定参照はできますが変更できません。設定を変更する場合は管理者権限で再ログインしてください。

# 6.5. UPSへの設定

## 6.5.1. UPSへの直接アクセス

### 6.5.1.1. UPSへのWebアクセス

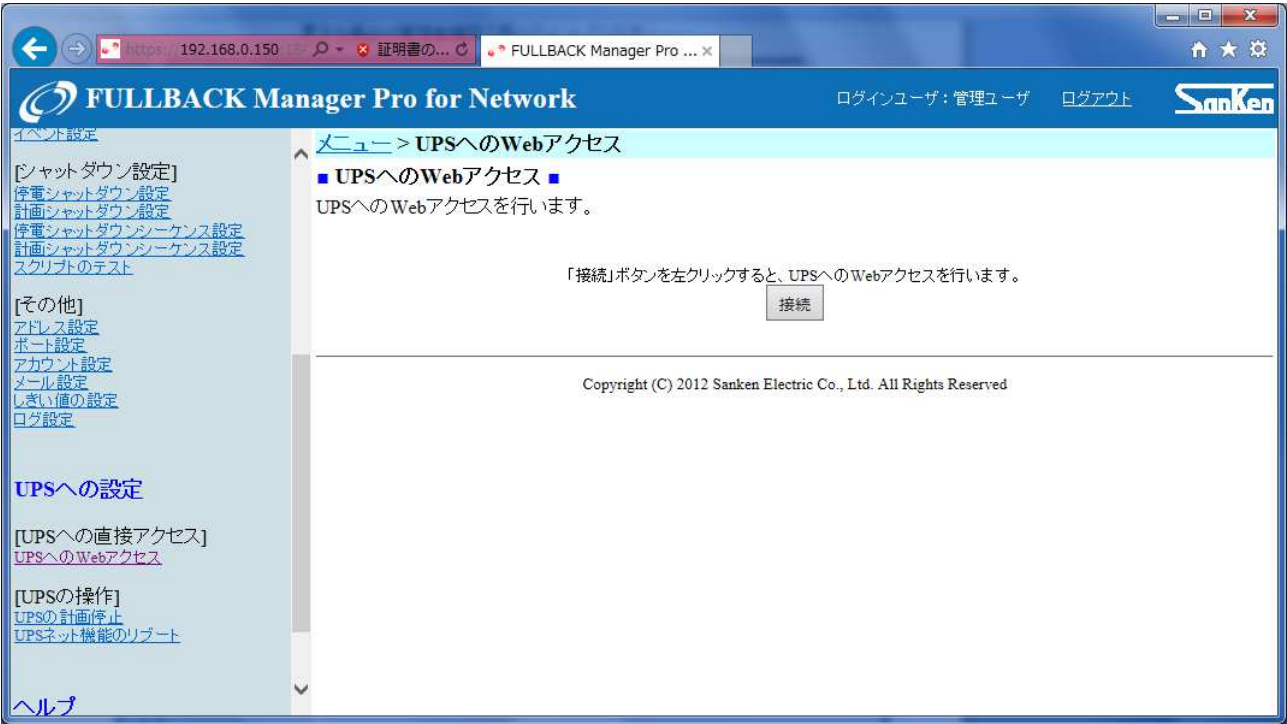
メインメニュー画面から[UPSへの Web アクセス]を左クリックするとUPSへの Web アクセス画面に切り替わります。

| メニュー | 説明 |
| --- | --- |
| 接続 | Web から UPS(インターフェースボード)に接続します。 |

表 6-44 ボタン

## 6.5.2. UPSの計画停止

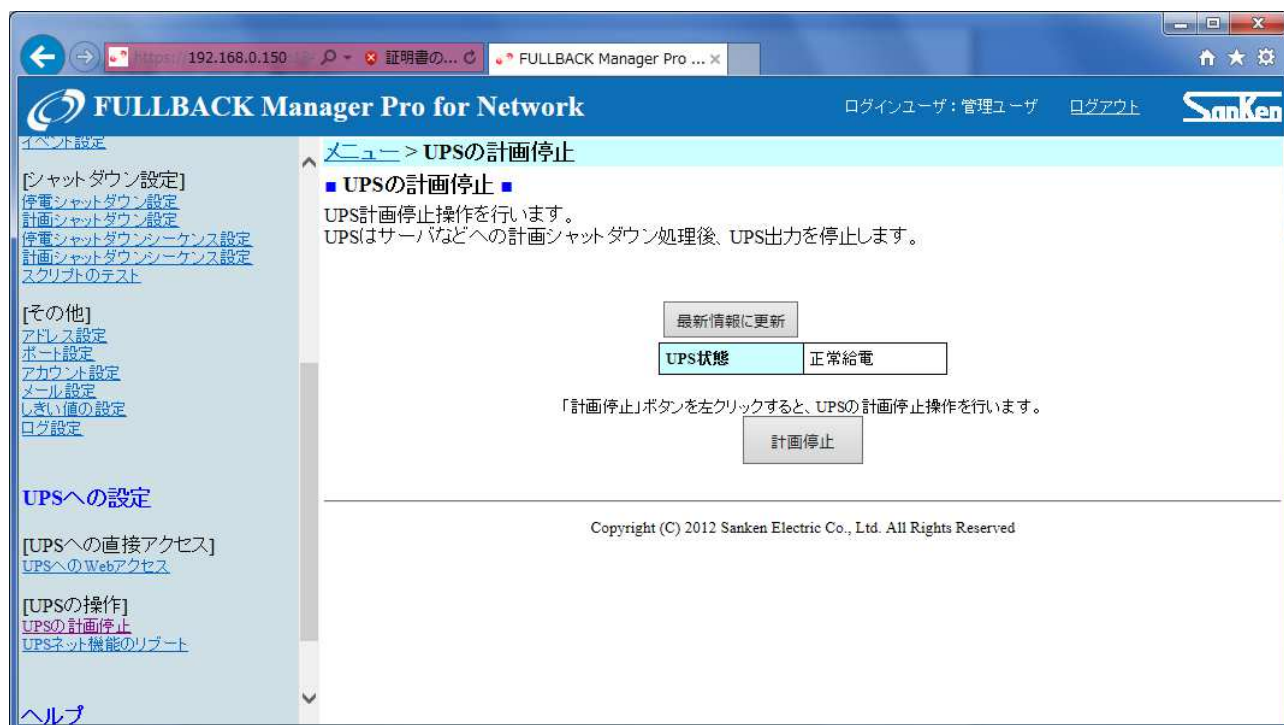
メインメニュー画面から[UPSの計画停止]を左クリックするとUPSの計画停止画面に切り替わります。

| メニュー | 説明 |
|---|---|
| 最新情報に更新 | UPSの状態が更新されます。 |
| 計画停止 | UPSの計画停止が行えます。 |

表 6-45 ボタン

### 6.5.3. UPSネット機能のリブート

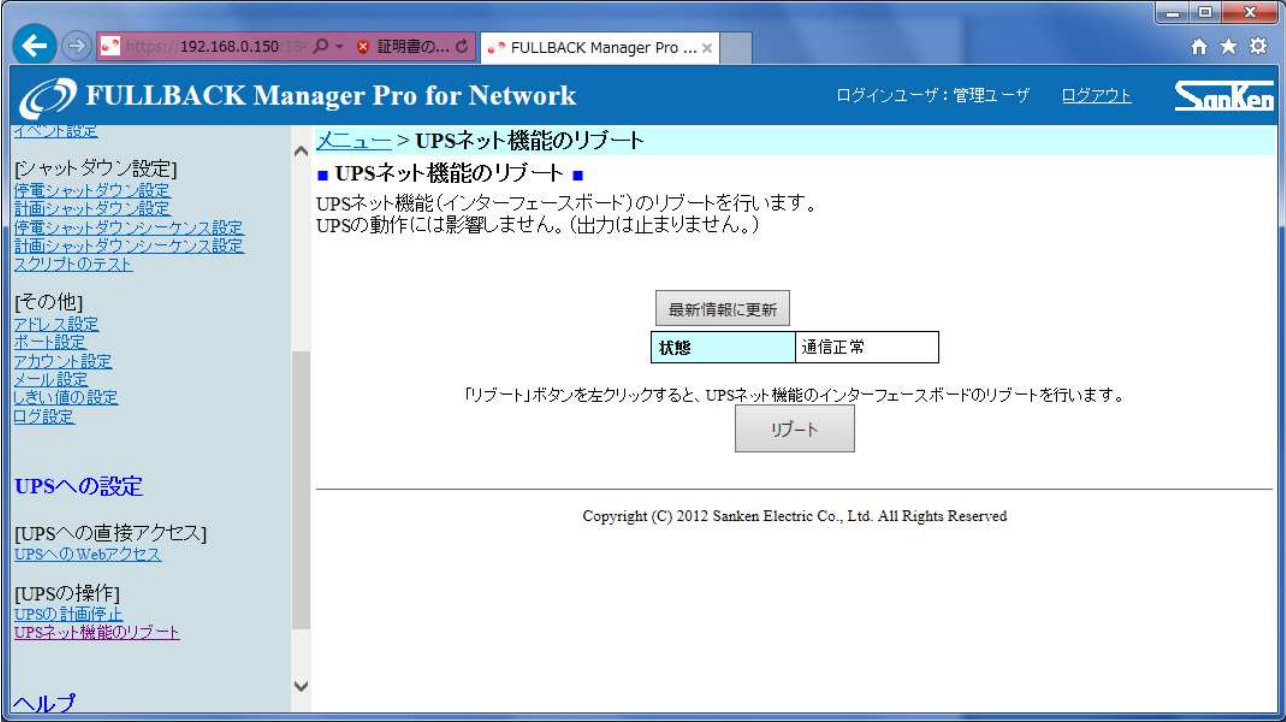
メインメニュー画面から[UPSネット機能のリブート]を左クリックするとUPSネット機能のリセット画面に切り替わります。

| メニュー | 説明 |
|---|---|
| 最新情報に更新 | ネットワークの通信状態が更新されます。 |
| リブート | UPSのインターフェースボードがリブートされます。 |

表 6-46 ボタン

**注意！**

UPS本体には影響しません。(出力は止まりません。)

## 6.6. ヘルプ

### 6.6.1. マニュアル

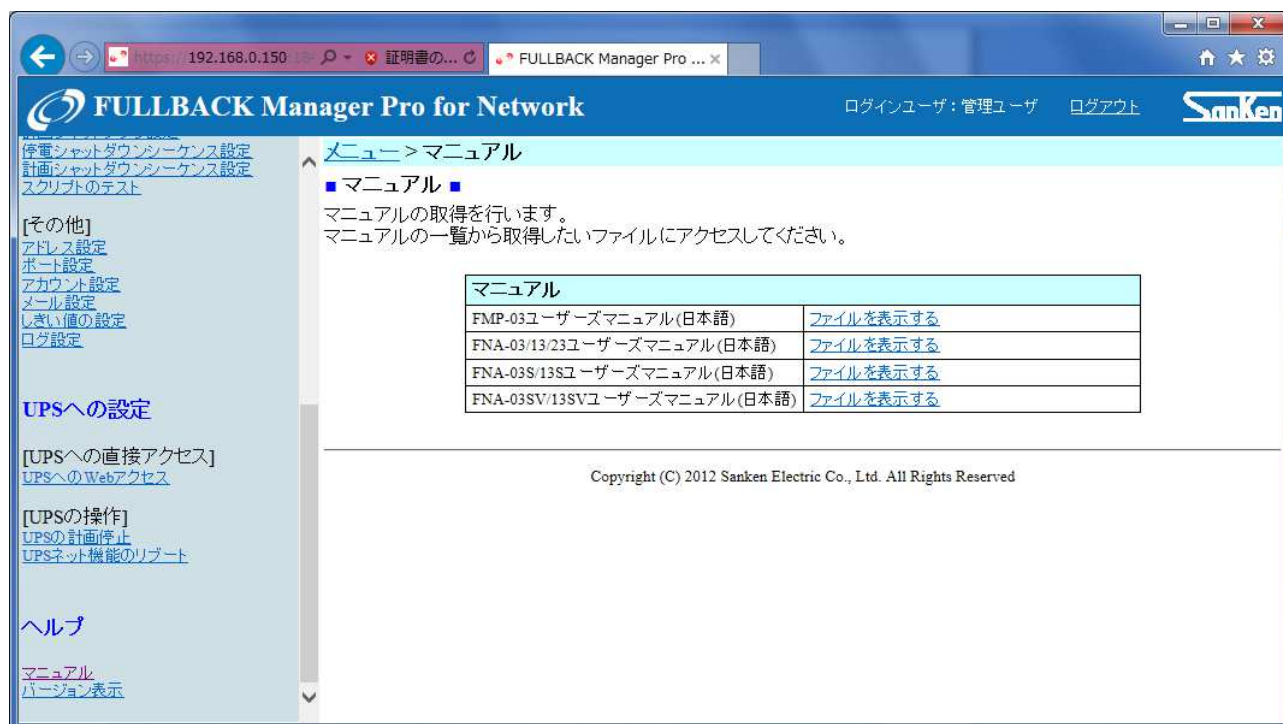
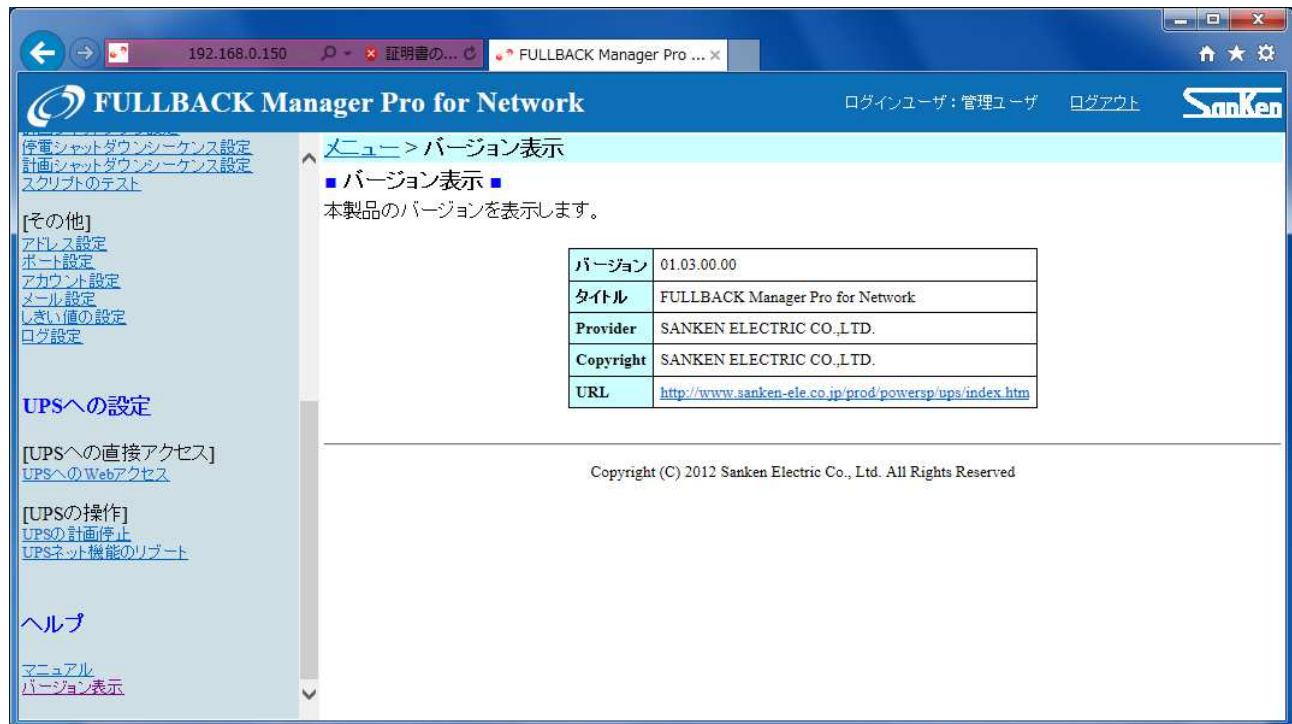
メインメニュー画面から[マニュアル]を左クリックするとUPSへのマニュアル画面に切り替わります。

| メニュー | 説明 |
|---|---|
| FMP-03 ユーザーズマニュアル（日本語） | FMP-03 のユーザーズマニュアルが取得できます。 |
| FNA-03/13/23 ユーザーズマニュアル（日本語） | FNA-03/13/23 のユーザーズマニュアルが取得できます。 |
| FNA-03S/13S ユーザーズマニュアル（日本語） | FNA-03S/13S のユーザーズマニュアルが取得できます。 |
| FNA-03SV/13SV ユーザーズマニュアル（日本語） | FNA-03SV/13SV のユーザーズマニュアルが取得できます。 |

表 6-47 メニュー

## 6.6.2. バージョン表示

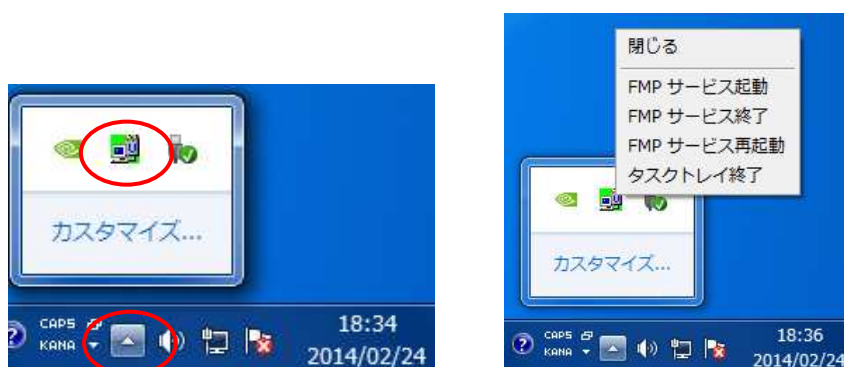
メインメニュー画面から[バージョン表示]を左クリックするとUPSへのバージョン表示画面に切り替わります。

# 7. FMP-03 のアップグレード

FMP-03 のアップグレード手順について説明します。アップグレードは FMP-03 がすでにインストールされている場合に実行できます。

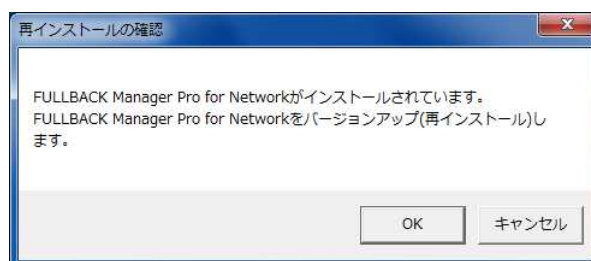
## 7.1. Windows OS

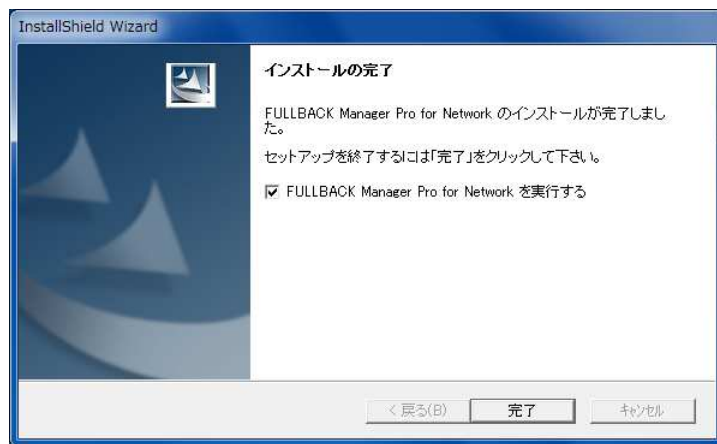
①タスクトレイにある電源モニタアイコンを右クリックし、[FMP サービス 終了]選択してください。

②タスクトレイにある電源モニタアイコンを右クリックし、[タスクトレイ終了]を選択して、FMP-03 を終了させて下さい。

③FMP-03 の DVD-ROM をドライブにセットします。

④FMP-03 のセットアッププログラムを起動します。
ご使用の OS に合わせて、下記に指定されたフォルダのセットアッププログラムを起動してください。

| ディレクトリ | ファイル名 | 説明 |
|---|---|---|
| Win32 | setup.exe | Windows 32bit OS 用インストールプログラム |
| Win64 | setup.exe | Windows 64bit OS 用インストールプログラム |

⑤画面で、[OK]ボタンをマウスで左クリックします。

「OK」ボタンを左クリック後、⑥の「インストールの完了」画面が表示されるまでには時間が掛かります。

⑥画面で[完了]ボタンをマウスで左クリックします。

以上でアップグレードは完了です。

## 7.2. Linux/AIX OS 又は VMware ESX/ ESXi

①FMP-03 を停止します。

root 権限で次の操作をおこなってください。

# cd インストール先(デフォルト:/usr/fmpn/)

# ./fmpnstop.sh　　　　　　本製品を停止します。

②FMP-03 の DVD-ROM をドライブにマウントします。

③インストールスクリプトを起動します。

root権限で次の操作をおこなってください。

# cd　ドライブマウントポイント　マウントポイントに移動します。

# ./install.sh　　　　　　インストールスクリプトを実行します。

④FULLBACK Manager Pro for Network install start

Install start? (y/n):[y]

FMP-03のインストーラが実行されます。

Enter キー(Return キー)または「y」を押してください。

⑤The default install path for this software is /usr/fmpn

Do you want to change the install path? (y/n):[n]

FMP-03をインストールしたpath名を指定します。

デフォルトでは[/usr/fmpn]が設定されています。

変更がない場合はEnter キー(Return キー)または「n」を押してください。

変更する場合は「y」を押します。

⑥FULLBACK Manager Pro for Network is installed.

Version upgrade/reinstall start? (y/n):[y]

FMP-03のアップグレードを開始します。

Enter キー(Return キー)または「y」を押してください。

⑦Start daemon by now ? (y/n):[y]

今すぐ起動するかどうかを選択します。

⑧-----------------------------------------------------------------------------------

FULLBACK Manager Pro for Network was succesully installed on your system.

-----------------------------------------------------------------------------------

正常にインストールが終了すると上記のメッセージが表示されます。

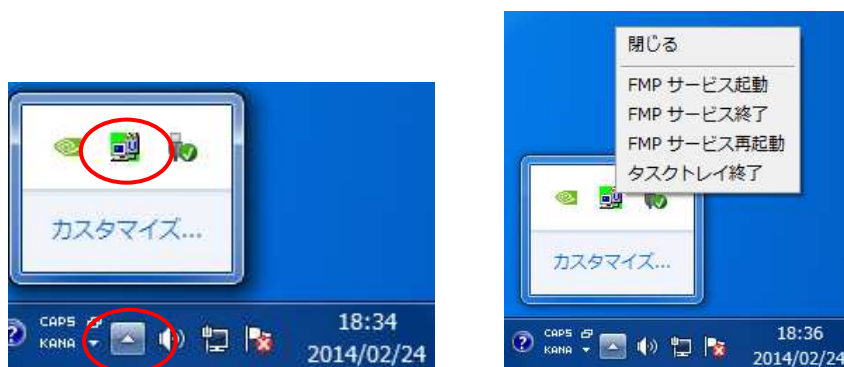
以上でアップグレードは完了です。

# 8. FMP-03 のアンインストール

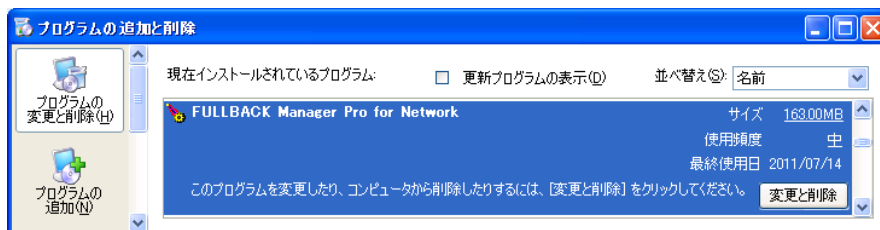
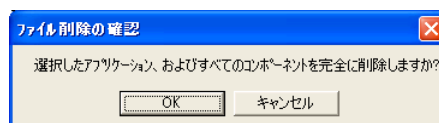
FMP-03 のアンインストール手順について説明します。

## 8.1. Windows OS

①タスクトレイにある電源モニタアイコンを右クリックし、[FMP サービス 終了]選択してください。

②タスクトレイにある電源モニタアイコンを右クリックし、[タスクトレイ終了]を選択して、FMP-03 を終了させて下さい。

③Windows のスタートメニューから[設定(S)]を選択して、[コントロールパネル(C)]を左クリックします。

④[アプリケーションの追加と削除]アイコンを左クリックします。

⑤[インストールと削除]タブで FULLBACK Manager Pro for Network を選択し、[変更と削除]ボタンを左クリックすると、確認メッセージが表示されます。[はい(Y)]ボタンを左クリックして削除します。

⑥アンインストーラが起動されたら、次の画面が表示されますので「OK」ボタンを左クリックします。

⑦インストール時にインストール先の選択画面で指定したフォルダを全て削除してください。
デフォルトでは「C:¥Program Files¥SANKEN¥FULLBACK Manager Pro for Network」
（64bit OS: 「C:¥Program Files(x86)¥SANKEN¥FULLBACK Manager Pro for Network」）
フォルダ以下になります。

**注意！**

上記の手順でアンインストールをおこなわなかった場合は、正常にアンインストールされません。

**注意！**

「FULLBACK Manager Pro for Network」フォルダが削除できない場合は Windows を再起動してください。

以上でアンインストールは完了です。

## 8.2. Linux/AIX OS 又は VMware ESX/ ESXi

①FMP-03 を停止します。

root 権限で次の操作をおこなってください。

```
# cd インストール先(デフォルト:/usr/fmpn/)
# ./fmpnstop.sh                本製品を停止します。
```

②アンインストールスクリプトを起動します。

```
# ./uninstall.sh               アンインストールスクリプトを実行します。
   Stop uninstall program's   ... DONE
   Listuped delete files      ... DONE
   Delete files               ... DONE
   Other files delete         ... DONE
#
```

以上でアンインストールは完了です。

**注意！**

VMware ESX Server の場合はアンインストール時に自動的に
フィルタ設定解除をおこなっています。

# 9. APPENDIX

## 9.1. メニュー一覧

| メニュー | | | 管理者権限(admin) | | 一般ユーザ権限(user) | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 表示 | 設定 | 表示 | 設定 |
| UPS の情報表示 | UPS の状況 | | ○ | － | ○ | － |
| | UPS の状態 | | ○ | － | ○ | － |
| | イベントログ | | ○ | － | ○ | － |
| 電源管理 | UPS 登録 | 接続先 UPS(インターフェースボード)の変更 | ○ | ○ | × | × |
| | イベントカスタマイズ | アラーム設定 | ○ | ○ | ○ | × |
| | | イベント設定 | ○ | ○ | ○ | × |
| | シャットダウン設定 | 停電シャットダウン設定 | ○ | ○ | ○ | × |
| | | 計画シャットダウン設定 | ○ | ○ | ○ | × |
| | | 停電シャットダウンシーケンス設定 | ○ | ○ | × | × |
| | | 計画シャットダウンシーケンス設定 | ○ | ○ | × | × |
| | | スクリプトのテスト | ○ | ○ | × | × |
| | その他 | アドレス設定 | ○ | ○ | × | × |
| | | ポート設定 | ○ | ○ | × | × |
| | | アカウント設定 | ○ | ○ | × | × |
| | | しきい値の設定 | ○ | ○ | ○ | × |
| | | ログ設定 | ○ | ○ | ○ | × |
| UPS への設定 | UPS への直接アクセス | UPS へのWebアクセス | ○ | － | ○ | － |
| | UPS の操作 | UPS の計画停止 | ○ | － | × | － |
| | | UPS ネット機能のリブート | ○ | － | × | － |
| ヘルプ | マニュアル | | ○ | － | ○ | － |
| | バージョン表示 | | ○ | － | ○ | － |

○:使用できます。

×:使用できません。

－ :使用できません。

表 9-1　ユーザ別メニュー

## 9.2. 配布メディアのファイル構成

| 項目 | ファイル名 | 説明 |
|---|---|---|
| Win32 | setup.exe など | Windows 32bit OS 用インストールプログラム |
| Win64 | setup.exe など | Windows 64bit OS 用インストールプログラム |
| Linux32 | uninstall.sh など | Linux 32bit OS 用インストールプログラム |
| Linux64 | uninstall.sh など | Linux 64bit OS 用インストールプログラム |
| AIX32 | uninstall.sh など | AIX 32bit OS 用インストールプログラム |
| AIX64 | uninstall.sh など | AIX 64bit OS 用インストールプログラム |
| Manual | FMP-03_USERS_MANUAL_ja.pdf | ユーザーズマニュアル(日本語) |
| | install.sh | Linux/AIX 用インストール実行ファイル |

表 9-2 ファイル構成

## 9.3. イベント設定一覧

| 番号 | 項目 | コマンド | ログ | ポップアップ | ポップアップ時間 | メール |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | UPS 認証エラー | × | ○ | × | 45 秒 | × |
| 2 | 正常給電 | × | ○ | ○ | 45 秒 | × |
| 3 | 出力停止 | × | ○ | × | 45 秒 | × |
| 4 | バイパス運転 | × | ○ | ○ | 45 秒 | × |
| 5 | 停電シャットダウン待機状態 | × | ○ | ○ | 45 秒 | × |
| 6 | 停電ユーザコマンド実行 | × | ○ | ○ | 45 秒 | × |
| 7 | 停電ユーザコマンド実行状態 | × | ○ | × | 45 秒 | × |
| 8 | OS シャットダウン実行状態 | ○ | ○ | × | 45 秒 | × |
| 9 | 計画ユーザコマンド実行 | × | ○ | ○ | 45 秒 | × |
| 10 | 計画ユーザコマンド実行状態 | × | ○ | × | 45 秒 | × |
| 11 | ネットワーク応答なし | × | ○ | ○ | 45 秒 | × |
| 12 | ネットワーク環境問題あり | × | ○ | ○ | 24 時間 | × |
| 13 | 不明アラーム発生 | × | ○ | × | 45 秒 | × |
| 14 | 不明トラップ発生 | × | ○ | × | 45 秒 | × |
| 15 | (ローカル) サービス起動 | × | ○ | × | 45 秒 | × |
| 16 | (ローカル) サービス終了 | × | ○ | × | 45 秒 | × |
| 17 | (ローカル) サービス起動失敗 | × | ○ | ○ | 24 時間 | × |
| 18 | (ローカル) 不明エージェントでアラーム発生 | × | ○ | × | 45 秒 | × |
| 19 | (ローカル) 不明エージェントでトラップ発生 | × | ○ | × | 45 秒 | × |
| 20 | (ローカル) 不明エージェントからの受信 | × | ○ | × | 45 秒 | × |
| 21 | (ローカル) ネットワーク環境問題あり | × | ○ | ○ | 45 秒 | × |

○:有効 ×:無効

表 9-3 イベント一覧(初期設定)

## 9.4. アラーム設定一覧

| 番号 | 項目 | コマンド | ログ | ポップアップ | ポップアップ時間 | メール |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | バッテリ交換必要の発生 | × | ○ | ○ | 24 時間 | × |
| | バッテリ交換必要の復帰 | × | ○ | ○ | 45 秒 | × |
| 2 | バッテリ充電異常の発生 | × | ○ | ○ | 24 時間 | × |
| | バッテリ充電異常の復帰 | × | ○ | ○ | 45 秒 | × |
| 3 | ヒューズ断の発生 | × | ○ | ○ | 24 時間 | × |
| | ヒューズ断の復帰 | × | ○ | ○ | 45 秒 | × |
| 4 | 出力電圧異常の発生 | × | ○ | ○ | 24 時間 | × |
| | 出力電圧異常の復帰 | × | ○ | ○ | 45 秒 | × |
| 5 | 直流電圧異常の発生 | × | ○ | ○ | 24 時間 | × |
| | 直流電圧異常の復帰 | × | ○ | ○ | 45 秒 | × |
| 6 | 初期充電異常の発生 | × | ○ | ○ | 24 時間 | × |
| | 初期充電異常の復帰 | × | ○ | ○ | 45 秒 | × |
| 7 | 温度異常の発生 | × | ○ | ○ | 24 時間 | × |
| | 温度異常の復帰 | × | ○ | ○ | 45 秒 | × |
| 8 | その他の故障の発生 | × | ○ | ○ | 24 時間 | × |
| | その他の故障の復帰 | × | ○ | ○ | 45 秒 | × |
| 9 | 停電の発生 | × | × | ○ | 45 秒 | × |
| | 停電の復帰 | × | × | × | 45 秒 | × |
| 10 | バッテリ電圧低下の発生 | × | ○ | ○ | 45 秒 | × |
| | バッテリ電圧低下の復帰 | × | ○ | ○ | 45 秒 | × |
| 11 | 入力電圧異常の発生 | × | ○ | × | 45 秒 | × |
| | 入力電圧異常の復帰 | × | ○ | × | 45 秒 | × |
| 12 | 出力過負荷の発生 | × | ○ | ○ | 45 秒 | × |
| | 出力過負荷の復帰 | × | ○ | ○ | 45 秒 | × |
| 13 | UPSーエージェント間通信異常の発生 | × | ○ | ○ | 45 秒 | × |
| | UPSーエージェント間通信異常の復帰 | × | ○ | ○ | 45 秒 | × |
| 14 | 同期異常の発生 | × | ○ | ○ | 45 秒 | × |
| | 同期異常の復帰 | × | ○ | ○ | 45 秒 | × |
| 15 | オーバヒートの発生 | × | ○ | ○ | 45 秒 | × |
| | オーバヒートの復帰 | × | ○ | ○ | 45 秒 | × |
| 16 | カレンダ電池交換の発生 | × | ○ | ○ | 45 秒 | × |
| | カレンダ電池交換の復帰 | × | ○ | ○ | 45 秒 | × |
| 17 | その他のアラームの発生 | × | ○ | ○ | 45 秒 | × |
| | その他のアラームの復帰 | × | ○ | ○ | 45 秒 | × |
| 18 | 負荷率しきい値警告の発生 | × | ○ | ○ | 45 秒 | × |
| | 負荷率しきい値警告の復帰 | × | ○ | ○ | 45 秒 | × |
| 19 | バッテリ残期間しきい値警告の発生 | × | × | × | 45 秒 | × |
| | バッテリ残期間しきい値警告の復帰 | × | × | × | 45 秒 | × |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 20 | UPS 内温度しきい値警告の発生 | × | ○ | ○ | 45 秒 | × |
| | UPS 内温度しきい値警告の復帰 | × | ○ | ○ | 45 秒 | × |
| 21 | 入力電圧しきい値の警告(上限値)の発生 | × | × | × | 45 秒 | × |
| | 入力電圧しきい値の警告(上限値)の復帰 | × | × | × | 45 秒 | × |
| 22 | 入力電圧しきい値の警告(下限値)の発生 | × | × | × | 45 秒 | × |
| | 入力電圧しきい値の警告(下限値)の復帰 | × | × | × | 45 秒 | × |

○:有効　×:無効

表 9-4 アラーム一覧(初期設定)

## 9.5. 用語の説明

### 9.5.1. 停電シャットダウンのタイミングチャート

### 9.5.2. 計画シャットダウンのタイミングチャート

### 9.5.3. 停電シャットダウン

停電時におこなわれるシャットダウンです。

### 9.5.4. 計画シャットダウン

スケジュールや手動停止の時におこなわれるシャットダウンです。

### 9.5.5. ユーザコマンド時間

ユーザコマンドの実行が開始されてから OS シャットダウンの実行が開始されるまでの時間です。

### 9.5.6. OS シャットダウン時間

OS のシャットダウンを開始してから、UPS の給電を停止するまでの時間です。

### 9.5.7. オートリスタート

停電により UPS の停止がおこなわれた場合、復電により UPS を自動起動することをオートリスタートと呼びます。

### 9.5.8. オートリブート

シャットダウン中に復電した場合、シャットダウンを完了してから UPS の停止と起動を自動的におこない、OS の再起動をおこないます。このことをオートリブートと呼びます。

# 9.6. よくある質問

## 9.6.1. ネットワーク通信で使用するポート番号は･･･

本製品は下記のポート番号を使用しています。

| FMP-03 をインストールしたコンピュータで使用するポート番号 | 通信相手 | 相手先のポート番号 | 用途 |
|---|---|---|---|
| UDP　9003～9009<br>UDP　9018～9023<br>UDP　9027～9031 | インターフェースボード | UDP　161 | UPS 管理通信 |
| UDP　162(デフォルト) | | UDP　ANY | |
| UDP　9100～9105 | | UDP　7050 | |
| TCP　18080(デフォルト) | ブラウザ端末 | TCP　ANY | WEB アクセス(HTTP) |
| TCP　18443(デフォルト) | | | WEB アクセス(HTTPS) |
| TCP　ANY | メールサーバ | TCP　25 | 平文メール |
| | | TCP　467 | SSL/TLS メール |
| | | TCP　587 | StartTLSメール |
| TCP　7401～7405 | SSH サーバ | TCP　22 | SSH シャットダウン |
| UDP　7050～7051 | － | － | UPS 管理通信 |
| TCP　18005 | | | |
| TCP　ANY(ループバック通信) | | | |

## 9.6.2. ファイアウォールの設定をしたいのですが･･･

ファイアウォールについては、下記表を参照して、ネットワーク管理者に相談してパケットのフィルタ設定をおこなってください。

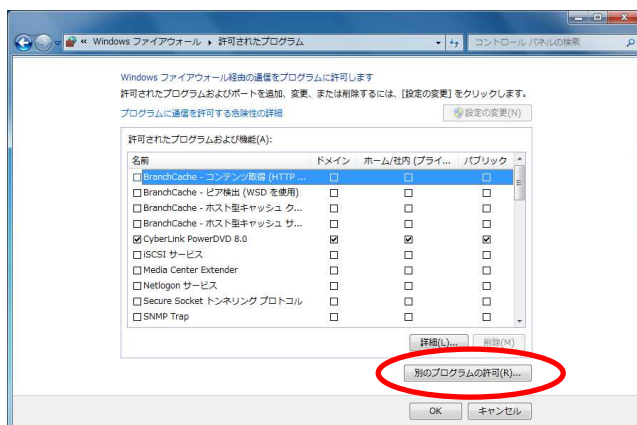
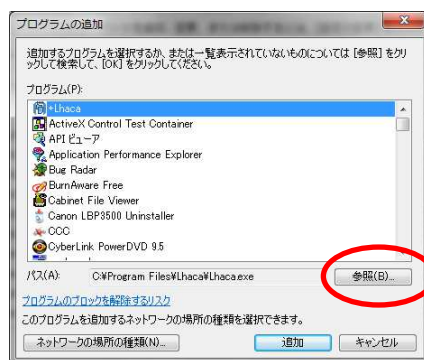
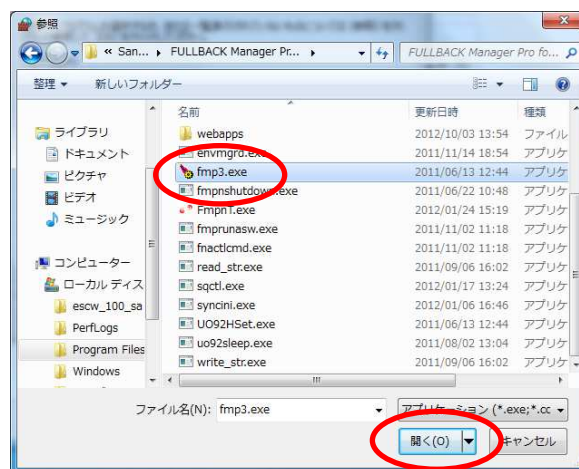
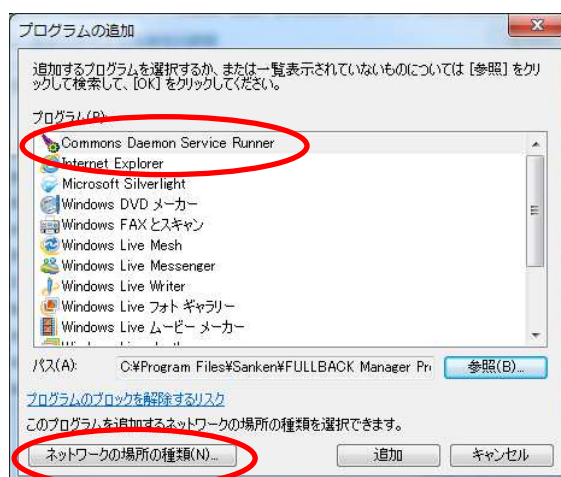
| FMP-03 をインストールしたコンピュータで使用するポート番号 | 通信相手 | 相手先のポート番号 | 用途 |
|---|---|---|---|
| UDP　9003～9009<br>UDP　9018～9023<br>UDP　9027～9031 | インターフェースボード | UDP　161 | UPS 管理通信 |
| UDP　162(デフォルト) | | UDP　ANY | |
| UDP　9100～9105 | | UDP　7050 | |
| TCP　18080(デフォルト) | ブラウザ端末 | TCP　ANY | WEB アクセス(HTTP) |
| TCP　18443(デフォルト) | | | WEB アクセス(HTTPS) |
| TCP　ANY | メールサーバ | TCP　25 | 平文メール |
| | | TCP　467 | SSL/TLS メール |
| | | TCP　587 | StartTLSメール |
| TCP　7401～7405 | SSH サーバ | TCP　22 | SSH シャットダウン |
| UDP　7050～7051 | － | － | UPS 管理通信 |
| TCP　18005 | | | |
| TCP　ANY(ループバック通信) | | | |

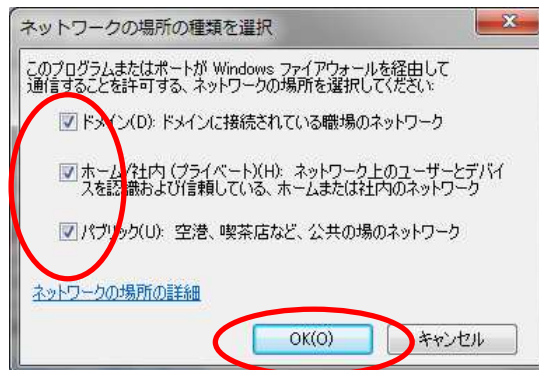
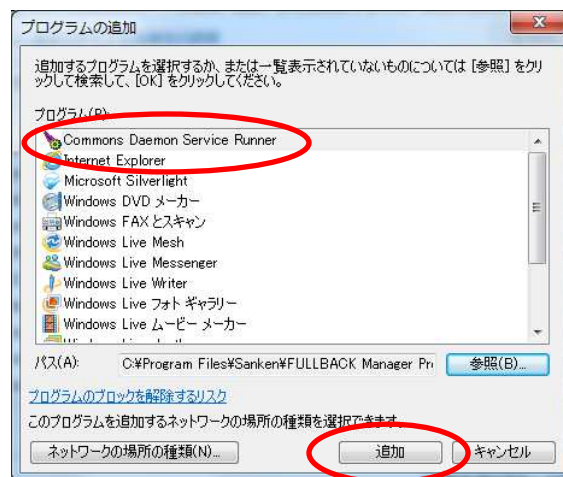
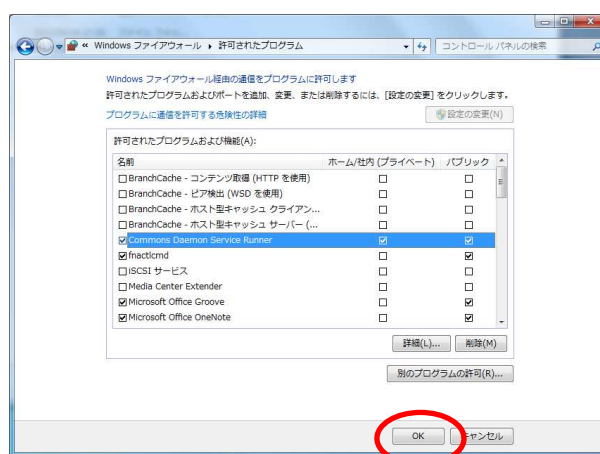
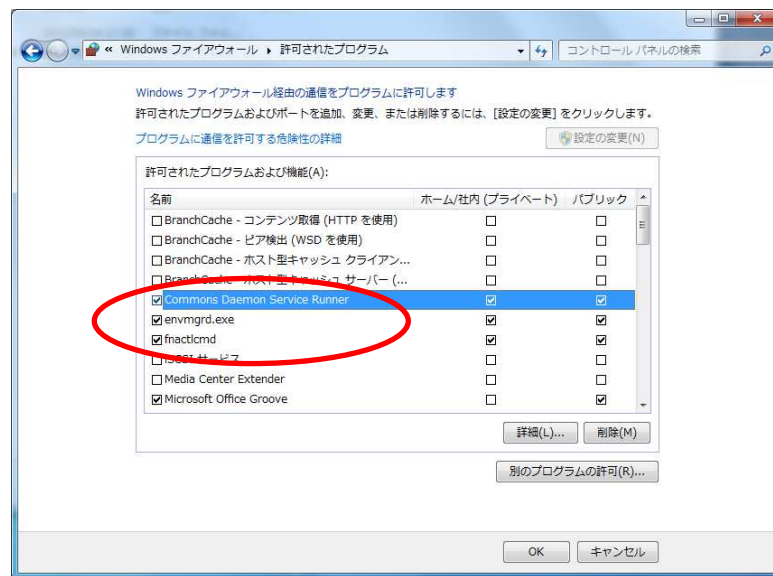
### 9.6.3. Windows のファイアウォールの設定をしたいのですが･･･

Windows ファイアウォール経由で通信できるように本製品のプログラムを例外(許可)として設定する必要があります。例外(許可)として設定するのは fmp3.exe、envmgrd.exe、fnactlcmd.exe の 3 つです。

【Windows 7、Windows Server 2008 R2、Windows 8、Windows Server 2012、Windows 8.1 の場合】
①[コントロールパネル]-[システムとセキュリティ]で[Windows ファイアウォール]を左クリックしてください。

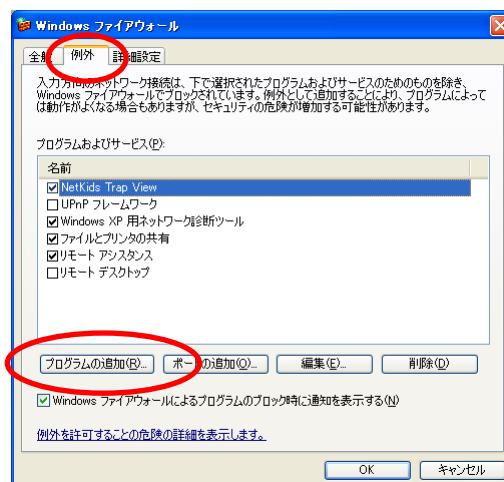
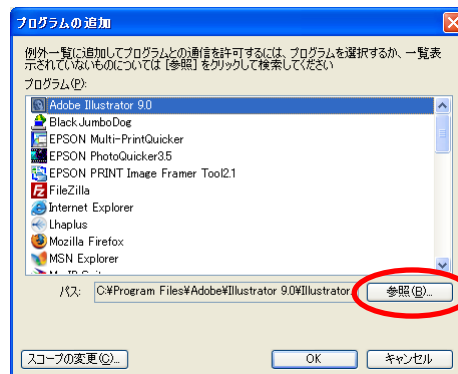
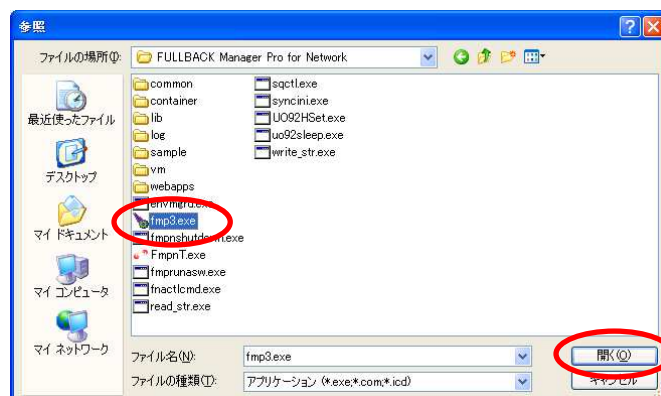
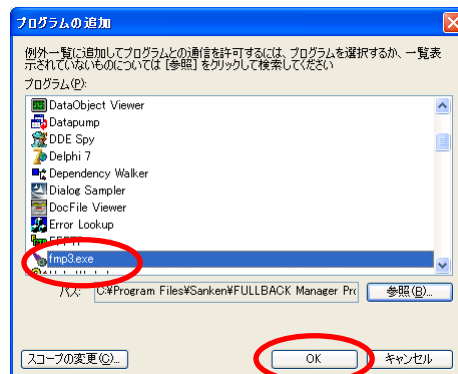
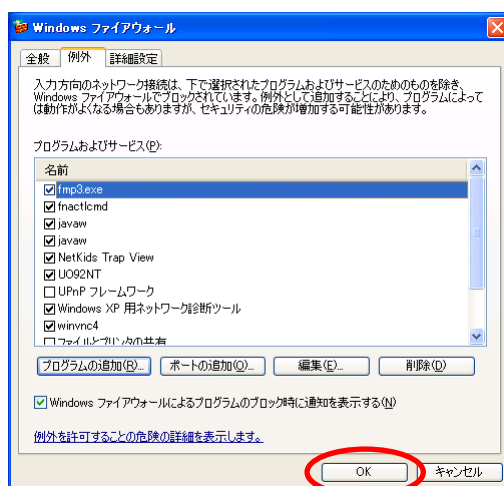
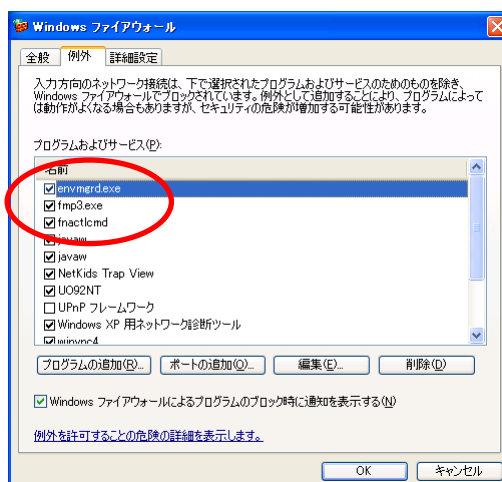
②画面の左メニューの[Windows ファイアウォールを介したプログラムまたは機能を許可する] を左クリックしてください。

③[別のプログラムの許可]ボタンを左クリックしてください。

④[参照]ボタンを左クリックしてください。

⑤本製品のインストール先の「fmp3.exe」を選択して、[開く]ボタンを左クリックしてください。

⑥「Commons Daemon Service Runner(fmp3.exe)」を選択して、[ネットワークの場所の種 類]ボタンを左クリックしてください。

⑦[ドメイン]、[ホーム/社内(プライベート)]、[パブリック]にチェックを入れ、[OK]ボタンを左クリックしてください。

ただし、ドメインに参加していない環境の場合は[ドメイン]は表示されませんので、[ホーム/社内(プライベート)]と[パブリック]の二つにチェックを入れてください。

⑧「Commons Daemon Service Runner(fmp3.exe)」を選択して、[追加]ボタンを左クリックしてください。

⑨[OK]ボタンを左クリックしてください。

⑩以上で「fmp3.exe」を Windows ファイアウォール経由で通信できるようにする設定は完了です。同様に「envmgrd.exe」、「fnactlcmd.exe」についても設定を行ってください。

以上で、Windows ファイアウォールの設定は完了です。

【Windows Vista、Windows Server 2008 の場合】

①[コントロール パネル]で[Windows ファイアウォール]を左クリックしてください。

②[例外]タブを選択し、[プログラムの追加]ボタンを左クリックしてください。

③[参照]ボタンを左クリックしてください。

④本製品のインストール先の「fmp3.exe」を選択して、[開く]ボタンを左クリックしてください。

⑤「fmp3.exe」を選択して、[OK]ボタンを左クリックしてください。

⑥[OK]ボタンを左クリックしてください。

⑦以上で「fmp3.exe」を Windows ファイアウォール経由で通信できるようにする設定は完了です。
同様に「envmgrd.exe」、「fnactlcmd.exe」についても設定を行ってください。

以上で、Windows ファイアウォールの設定は完了です。

## 9.6.4. HTTP/HTTPS でアクセスするときのブラウザの種類を教えて下さい

Internet Explorer を推奨ブラウザにしています。バージョンに関しては使用条件を参照ください。
また、Linux/AIX では Fire Fox で動作確認しています。
インストール時に HTTP/HTTPS で使うポート番号も変更できます。

## 9.6.5. SNMP のバージョンを知りたいのですが？

SNMPv1 と SNMPv3 が使用できます。
（SNMPv3 は FNA-03S/13S/03SV/13SV 搭載の UPS との組み合わせで使用できます。）

### 9.6.6. 他のソフトウェアとポート番号(162)が重複するのですが・・・

FMP-03 の SNMP トラップ受信のポート番号はデフォルト 162 番ですが、「6.4.4.2. ポート設定」で 162 番から変更できます。また、FNA-03S/13S/03SV/13SV も変更する必要がありますので、FNA-03S/13S/03SV/13SV の「計画／停電シャットダウンシーケンス設定」、「SNMPv1 設定」、「SNMPv3 トラップ設定」でポート番号の変更をお願いします。詳しくはインターフェースボードのユーザーズマニュアルをご覧ください。

※Snmp Trap のポート番号変更機能はインターフェースボードタイプが FNA-03S/13S/03SV/13SV のときに使用が可能です。

### 9.6.7. 不明エージェントからのトラップ通知が来るのですが？

不明エージェントからのトラップ通知メッセージは SNMPv1 のコミュニティ設定が間違っている時や SNMP のトラップや Inform の送り側が設定されていない時にメッセージが出ます。

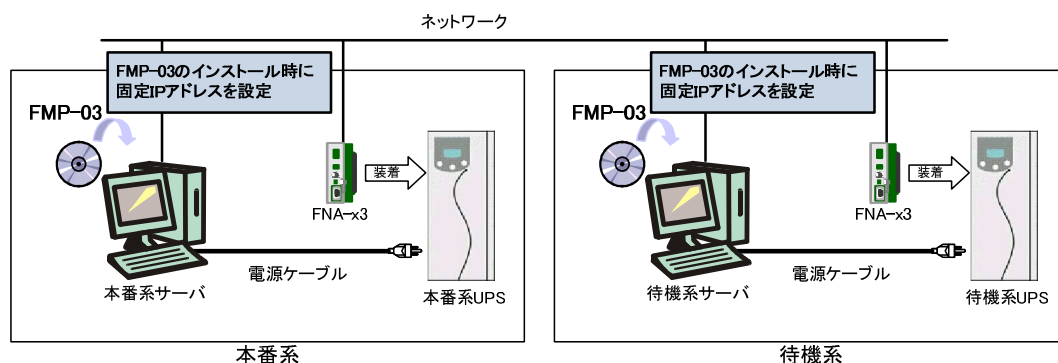
### 9.6.8. ネットワーク環境を持たないマシンで使いたいのですが？

本ソフトはネットワークが使用できないとご使用になれません。

### 9.6.9. 複数のネットワークカードを持ったコンピュータで使えますか？

インストール時に使用したいネットワークカードの IP アドレスを設定してください。

### 9.6.10. クラスタで使いたいのですが？

クラスタ構成でご使用の場合は、FMP-03 のインストール時にサーバの固定 IP アドレス(動的に変化しない IP アドレス)を設定してください。

### 9.6.11. DHCP クライアントにインストールできますか？

固定の IP アドレスが DHCP クライアントに割り当たるようにしてください。

### 9.6.12. トークンリング、FDDI の環境で使いたいのですが？

本製品はイーサネットでなくても TCP/IP プロトコルが設定されていれば使用できます。

### 9.6.13. データベース停止後にシャットダウンさせたい場合は？

イベント設定で「停電ユーザコマンド実行」、「計画ユーザコマンド実行」のコマンドにデータベースを停止させるコマンドを登録してください。

### 9.6.14. スケジュール運転はできますか？

インターフェースボードのスケジュール機能で可能となります。

### 9.6.15. ポップアップ表示は手動で消さなければいけませんか？

ポップアップ表示は一定時間が経過すると自動で閉じますが、基本的には手動でお願いいたします。一定時間は「イベント設定一覧」、「アラーム設定一覧」をご参照ください。

### 9.6.16. メディアがマウントできないのですが・・・

最近の商用 UNIX ではボリューム管理機能などで配布メディアが自動的にマウントされますが、オートマウントを無効にしている場合は手動でマウントを実行する必要があります。次に一般的な使用例を示します。詳細につきましては、OS のマニュアルを参照してください。

| OS | mount コマンドの例 |
|---|---|
| AIX | mount　−v　cdrfs　−r　/dev/cd0 /mnt |
| Linux | mount −r　−o　check=r　/dev/cdrom　/mnt |

### 9.6.17. UPS を停止状態から運転状態に変えたときに、UPS の出力は出ているが、コンピュータが自動起動しないのですが・・・

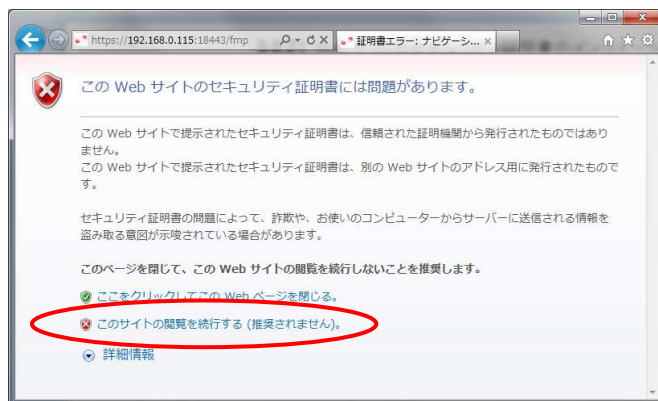
コンピュータ側の BIOS 設定などの必要になる時があります。詳細はコンピュータメーカーにお問い合わせください。

### 9.6.18. 電源異常を離れた場所にいる管理者に通知したい・・・

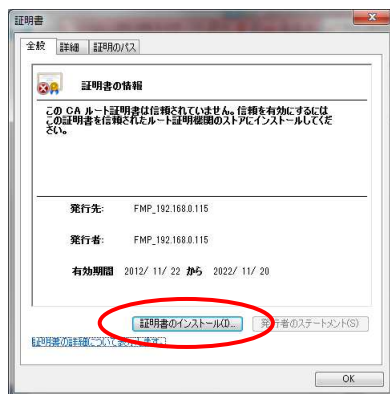
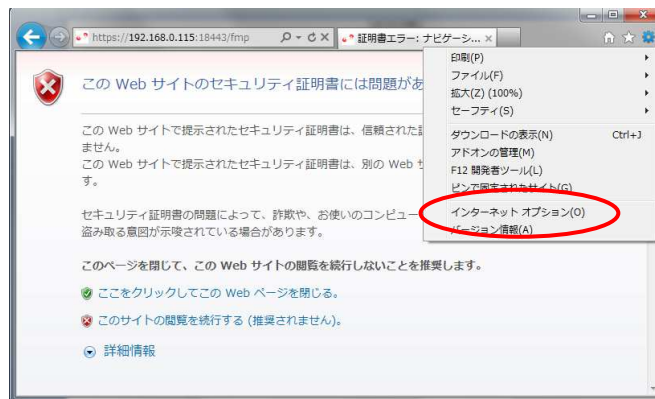
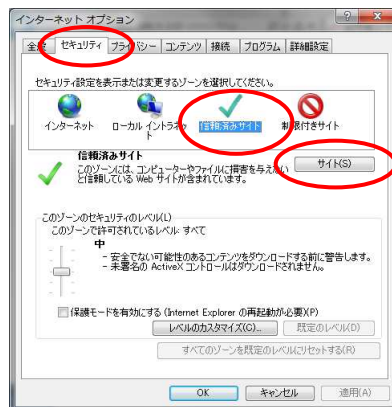
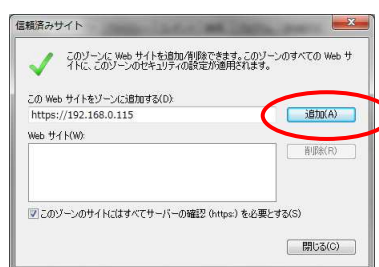
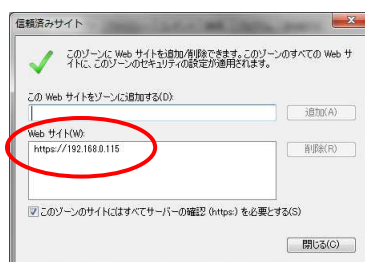
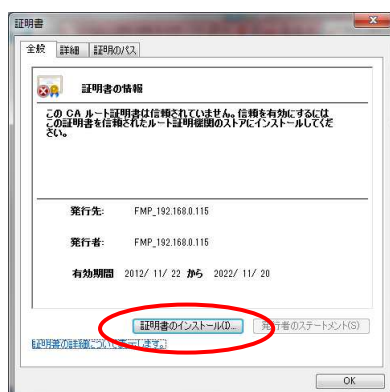
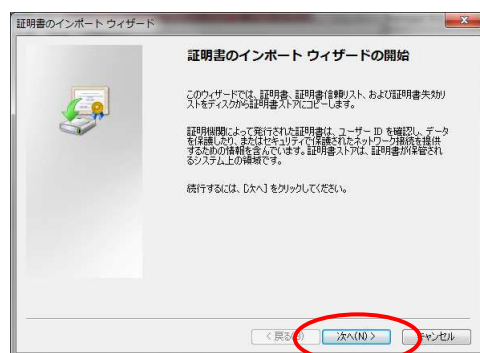
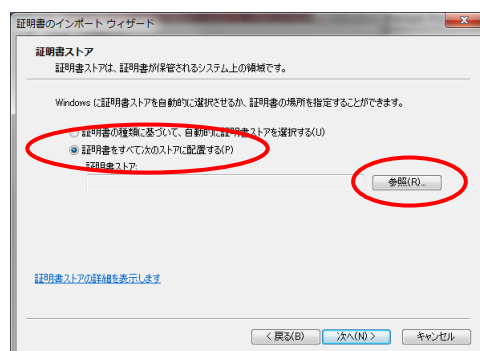
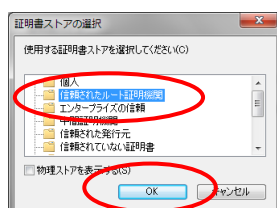
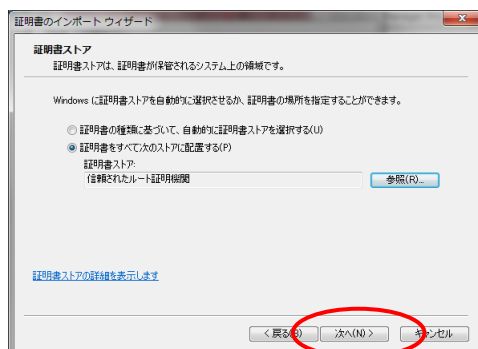
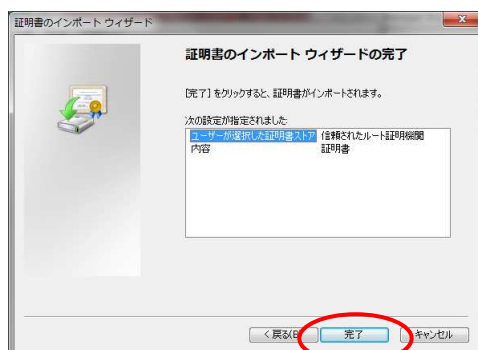
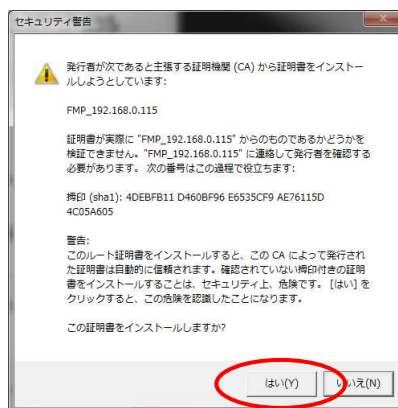
停電や故障といった『警報とイベント』が発生したことを離れた場所にいる管理者に通知するには本製品の「アラーム設定」、「イベント設定」項目の『メール』機能が有効です。

## 9.6.19. Web サイトのセキュリティ証明書のインストール方法は・・・

Internet Explorer 9 でのセキュリティ証明書のインストール方法を記載します。

①FULLBACK Mananger Por for Network に Web アクセスして、「このサイトの閲覧を続行する（推奨されません)。」を左クリックしてください。

②アドレスバーの右にある証明書のエラーを左クリックし、「証明書の表示」を左クリックしてください。

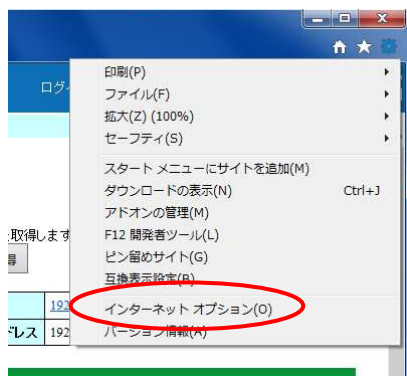
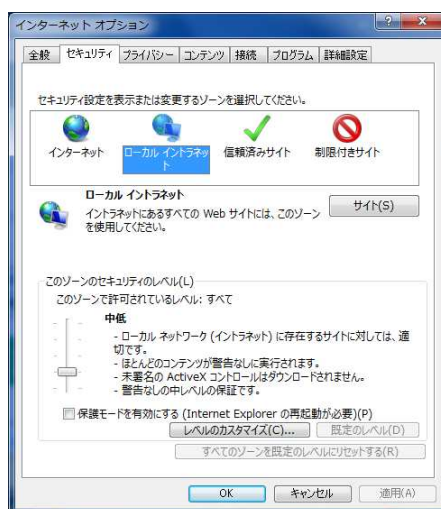
③「証明書のインストール」ボタンが表示される場合は、手順⑧へ進んで下さい。

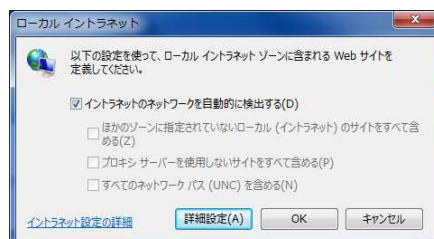
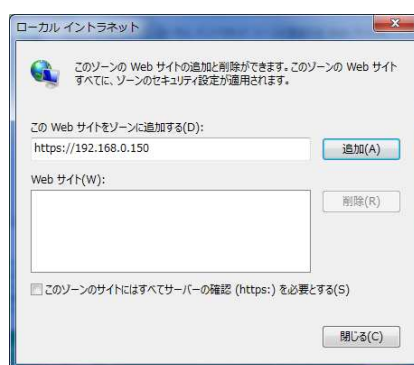
「証明書のインストール」ボタンが表示されない場合は、手順④へ進んでください。

④「証明書」画面を閉じ、ブラウザ右上のツールアイコンから「インターネットオプション」を左クリックしてください。

⑤「セキュリティ」タブを選択し、「信頼済みサイト」を選択して「サイト」ボタンを左クリックしてください。

⑥「追加」ボタンを左クリックしてください。

⑦「Web サイト」に⑥で追加したアドレスが表示されたのを確認して、「閉じる」ボタンを左クリックしてください。次に、「インターネットオプション」画面の「OK」ボタンを左クリックしてください。

⑧[証明書のインストール(I)]ボタンを左クリックしてください。

⑨[次へ(N)>]ボタンを左クリックしてください。

⑩証明書をすべて次のストアに配置する(P)を選択し、[参照(R)]ボタンを左クリックしてください。

⑪「信頼されたルート証明機関」を選択し、[OK]ボタンを左クリックしてください。

⑫[次へ(N)>]ボタンを左クリックしてください。

⑬証明書のインポートウイザードの完了画面が表示されます。[完了]ボタンを左クリックしてください。

⑭セキュリティ警告ダイアログが表示されます。[はい(Y)]ボタンを左クリックしてください。

⑮[OK]ボタンを左クリックしてください。

⑯Internet Expoler を再起動して FULLBACK Mananger Por for Network にアクセスしてください。

## 9.6.20. Windows からアラーム設定やイベント設定のユーザコマンドのテスト実行を行うと「エラーが発生しました」と出力され、テストを実行ができないのですが・・・

ローカルイントラネットで動作させる必要があります。以下の方法で Web サイトのゾーンを追加してください。

①Internet Expoler 右上のツールアイコン(または「ツール」)から「インターネットオプション」を左クリックしてください。

②「セキュリティ」タブを選択し、「ローカルイントラネット」を選択して「サイト」ボタンを左クリックしてください。

③「詳細設定」ボタンを左クリックしてください。

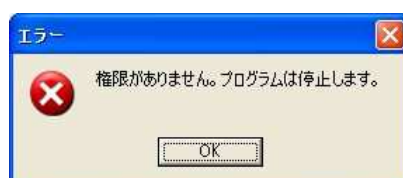
ただし、この画面は表示されない場合があります。

④「追加」ボタンを左クリックしてください。

⑤Internet Expoler を再起動して FULLBACK Mananger Por for Network にアクセスしてください。

## 9.6.21. Windows で「UPS の計画停止」、「UPS ネット機能のリブート」、「マニュアル」「接続先UPS（インターフェース）の変更」の機能が実行できないのですが・・・

9.6.20.と同じ設定を行ってください。

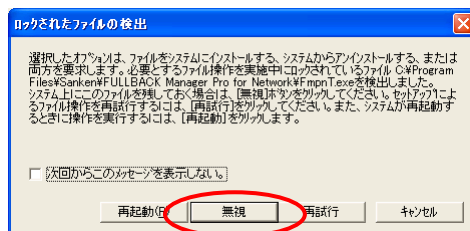
## 9.6.22. Windows で「イベントログ」が表示されないのですが・・・

9.6.20.と同じ設定を行ってください。

## 9.6.23. 以下のようなエラーが出力され、停止してしまいます。

Windows に Administrator 権限がないユーザでログインすると上図のエラーダイアログが出力される場合があります。このエラーが出た場合、タスクトレイは実行できませんが、FMP-03 は動作しており、停電やスケジュールなどのシャットダウンシーケンス等は正常に動作します。
タスクトレイを表示させた時は、Administrator 権限のあるユーザでログインしてください。

## 9.6.24. FMP-02W をアンインストールせず FMP-03 をインストールしてしまったのですが・・・

FMP-02W と FMP-03 の両方をアンインストールした後に、FMP-03 を再インストールしてください。

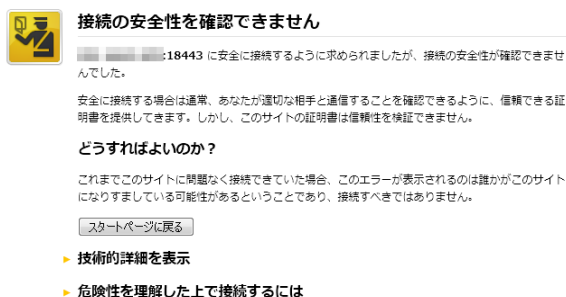
## 9.6.25. Windows でアンインストール中にエラーが出力されます。

「無視」ボタンを左クリックしてアンインストールを継続してください。

OS を再起動後、インストール先フォルダを削除してください。

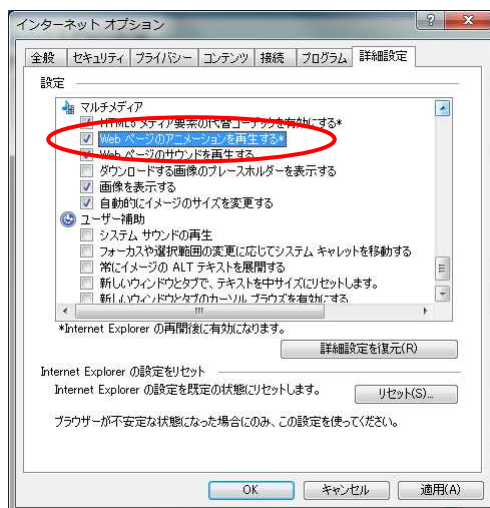
## 9.6.26. アップグレード後、次の画面が表示されるのですが・・・

FMP-03 は正しくアップグレードされております。「このプログラムは正しくインストールされました」を選択して、ご使用ください。

## 9.6.27. 「接続の安全性を確認できません」と表示されるのですが・・・

ブラウザで HTTPS アクセスした時に、「この Web サイトのセキュリティ照明には問題があります」という警告メッセージが表示することがあります。この警告メッセージは、認証局 CA から入手したサーバ証明書をコンピュータに登録したら、セキュリティ警告は出なくなります。このサーバ証明書はコンピュータ別に CA から入手する必要がありますので、例外を追加することで対応することが多いようです。FMP-03 のようなアプリケーションに対する証明書は存在しません。

## 9.6.28. UPS の状況画面で、電流のアニメーションが動作しないのですが・・・

①Internet Expoler の「ツール」から「インターネットオプション」を左クリックしてください。

②「詳細設定」タブを選択して「Web ページのアニメーションを再生する」にチェックを付け、「OK」ボタンを左クリックしてください。

③Internet Expoler を再起動して FULLBACK Mananger Por for Network にアクセスしてください。

## 9.6.29. 対話型コマンド実行やポップアップが画面表示されないのですが・・・

リモートデスクトップでアクセスしているコンピュータでは、対話型コマンド実行やポップアップが画面表示されません。

## 9.6.30. Linux のファイアウォールの iptables 設定をしたいのですが・・・

インストールディレクトリにある「fmpopenfw_iptabeles.sh」を実行してください。以下のポートのフィルタ設定が行われます。 フィルタ解除は「fmpclosefw_iptabeles.sh」を実行してください。

| フィルタ設定するポート番号 | 用途 |
| --- | --- |
| UDP　9003～9009 | UPS 管理通信 |
| UDP　9018～9023 | |
| UDP　9027～9031 | |
| UDP　162(デフォルト) | |
| UDP　9100～9105 | |
| TCP　18080(デフォルト) | WEB アクセス(HTTP) |
| TCP　18443(デフォルト) | WEB アクセス(HTTPS) |
| TCP　7401～7405 | SSH シャットダウン |
| UDP　7050～7051 | UPS 管理通信 |
| TCP　18005 | |
| TCP　ANY(ループバック通信) | |

## 9.6.31. VMware ESX Server のファイアウォールの設定をしたいのですが・・・

VMware ESX Server の場合はインストール時に下記ポート番号のフィルタ設定を行っています。
（アンインストール時は自動的に下記ポート番号をフィルタ解除しています。）

| フィルタ設定するポート番号 | 用途 |
|---|---|
| UDP 9003～9009<br>UDP 9018～9023<br>UDP 9027～9031 | UPS 管理通信 |
| UDP 162(デフォルト) | |
| UDP 9100～9105 | |
| TCP 18080(デフォルト) | WEB アクセス（HTTP） |
| TCP 18443(デフォルト) | WEB アクセス（HTTPS） |
| TCP 7401～7405 | SSH シャットダウン |
| UDP 7050～7051 | UPS 管理通信 |
| TCP 18005 | |

FULLBACK Manager Pro for Network ユーザーズマニュアル　2014 年 6 月 E 版

販売元

**サンケン電気株式会社**
東京都豊島区西池袋(メトロポリタンプラザビル１4F)〒171-0021
東京事務所
電話:03-3986-6157
FAX:03-3986-2650
URL: http://www.sanken-ele.co.jp

技術問い合わせ先

**サンケン電源機器コールセンター　宛て**
埼玉県川越市下赤坂大野原 677 〒350-1155
電話:049-266-8528
FAX:049-266-8530
E-mail: upssoft@sanken-ele.co.jp

**サービス時間 9:00-17:00(土日・祝日・年末年始を除く)**
但し、保守サービスなどのご契約をして頂いている場合は
その契約条項に基づき対応させて頂きます。

TEX48203-816E